



バルコニー編

INDEX

■スタンダードデッキ形材について	4
■各機種代表納まり例	5
■各部名称図	7
■標準姿図（屋根置き式）	8
■標準姿図（柱建て式）	9
■基本断面図	10
■設計基準について	12
■施工前の調査と打ち合わせ	13
■形材一覧表	14
■金具部品一覧表	18
■デッキボード一覧表	23
■使用ねじ一覧表	24
■取付け順序（屋根置き式）	25
■取付け順序（柱建て式）	27
■形材切断寸法計算方式	29
■強度表及び根太の間隔について	30
■根太がけ・根太・連結根太の加工と組立て・取付け	31
■柱の加工組立て・取付け	33
■調整脚の加工と取付け	35
■雨樋と火打ちの取付け	36
■格子部の加工	37
■けた・妻ばり、けた・妻ばりカバーの加工	38
■格子部の組立てと取付け	39
■デッキボードの加工	40
■連結根太カバーと控え棒の取付け	41
■バラエティー格子使用時の上下胴縁の加工	42
■戸袋のある場合の加工と取付け	43
■窓下寸法の狭い場合	45
■物干しセットの取付け	47
■単独物干しセットの取付け	48
■躯体直付け物干しセットの取付け	49
■バルコニー特殊納まり（出隅）	51
■バルコニー特殊納まり（入隅）	53
■バルコニー特殊納まり（段床）	55
■バルコニー特殊納まり（出幅連結）	58
■バルコニー特殊納まり（柱移動）	60
■ガーデンタイプ（1階用バルコニー）	61
■材料使用数早見表（屋根置き式）	66
■材料使用数早見表（柱建て式）	68

スタンダードデッキ形材について

JIS規格に基づいたバルコニー形材
住宅の個性に合わせた形材形状
バラエティーに富む格子デザイン！

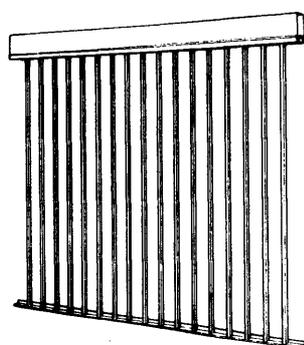
スタンダードデッキ形材は、JIS認定品「スタンダードデッキ」規格品を基本としたバルコニー専用形材です。

当説明書に基づいて設計・加工を行えば、JIS規格品同等の強度が出せ、安心して販売していただけます。

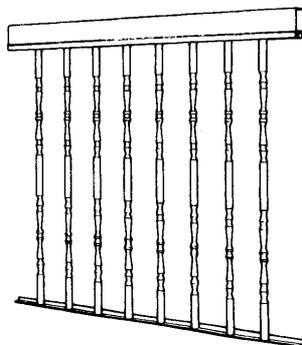
■スタンダードデッキの特長

- 格子デザインは「ストレート40格子」の他に「ストレート10格子」「しぼり格子」「ダイキャスト格子」を揃えています。（P7～9参照）施工現場にふさわしいデザインをお選びください。又、前面と側面を異なる格子デザインで組み合わせることができます。

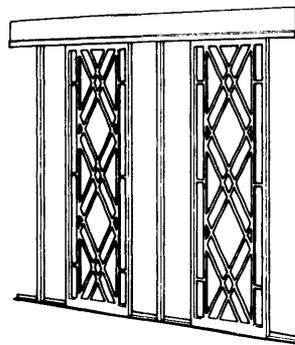
〈ストレート10格子〉



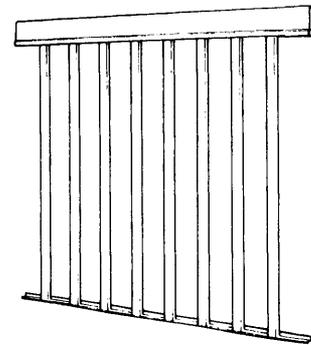
〈しぼり格子〉



〈ダイキャスト格子〉



〈ストレート40格子〉



- 各種特殊形材（P16参照）を用意していますので、入隅・出隅・段床などいろいろな現場に取り付けることができます。
- 扉専用形材（P17参照）を用意していますので、1階用バルコニーとして利用できます。
- 雨仕舞を良くするため、バルコニー本体及び屋根・テラスの雨樋は塩ビ製品を採用しています。
- けた・妻ばり・前枠形状は、住宅にマッチしたデザインで見付けを大きくしてあります。

※ご注意

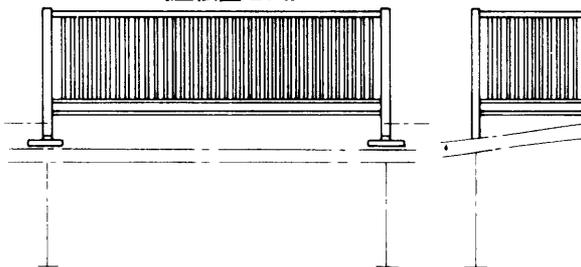
- ①加工・組立て・取付けの際には、部材の強度に注意し当説明書に基づいて行ってください。
- ②現場で奥行や軒幅の調整をする場合、必ず垂木又は側枠の幅詰めで対応してください。

各機種代表納まり例

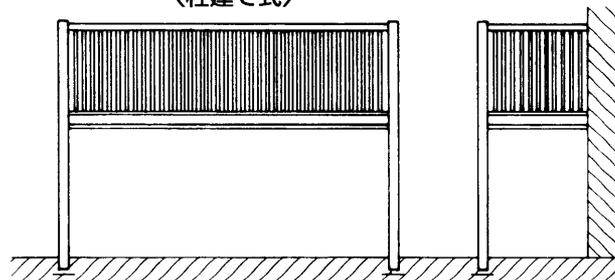
■バルコニー

基本納まり

〈屋根置き式〉

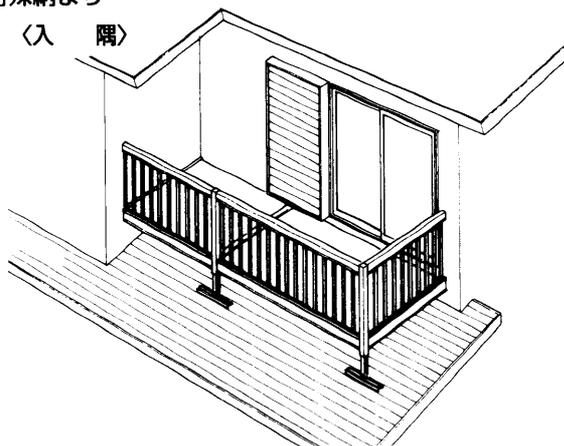


〈柱建て式〉

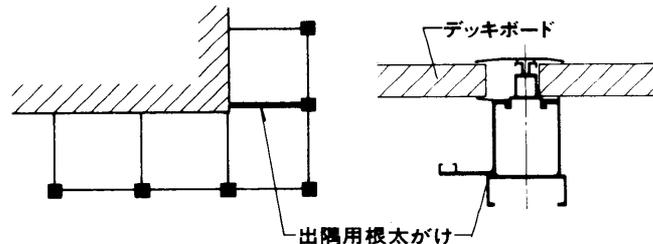
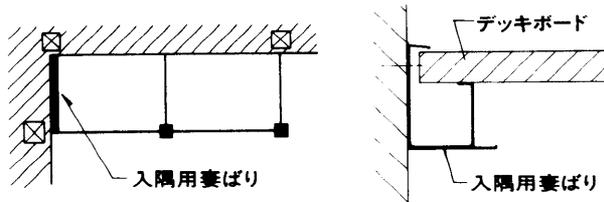
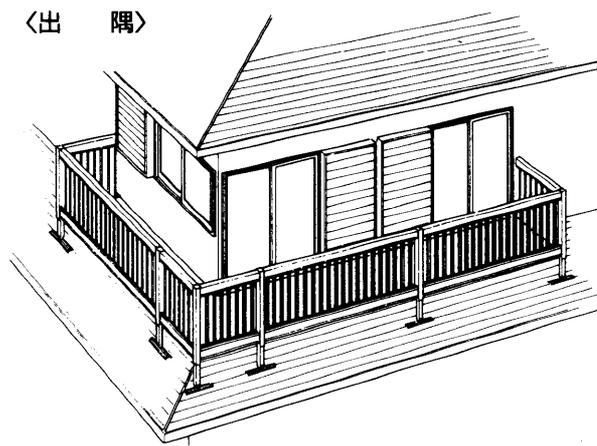


特殊納まり

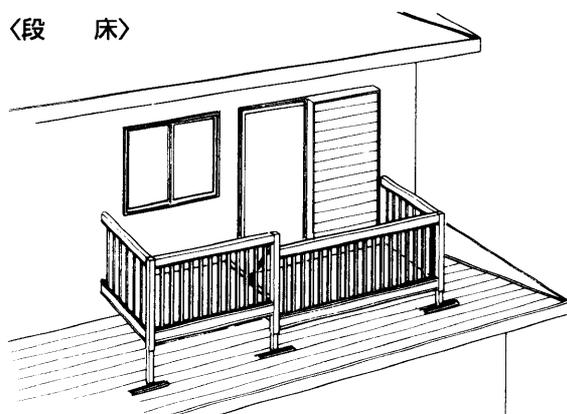
〈入隅〉



〈出隅〉

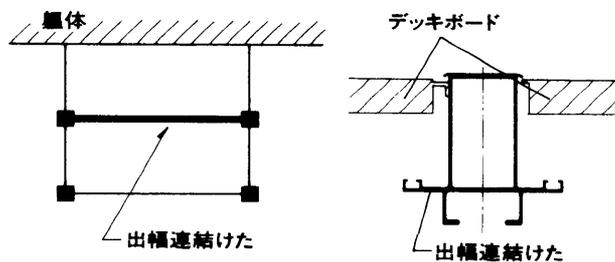
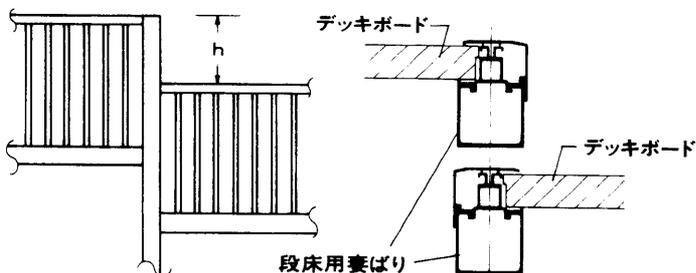
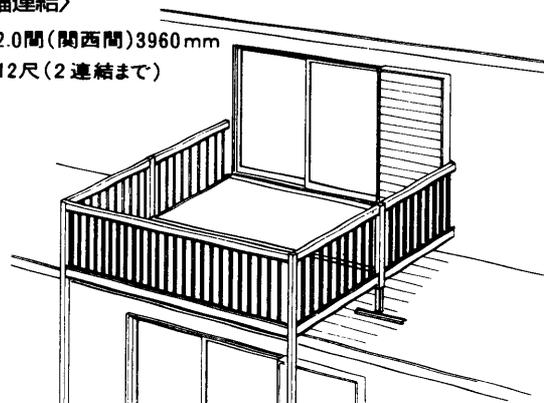


〈段床〉



〈出幅連結〉

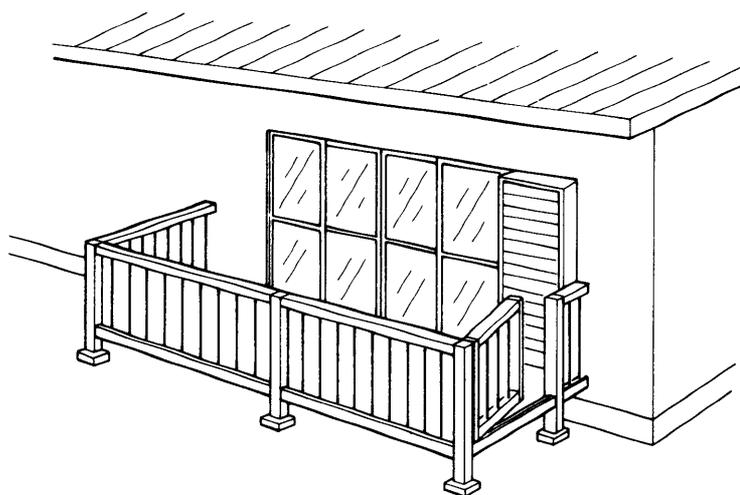
L ≤ 2.0間(間西間)3960mm
D ≤ 12尺(2連結まで)



(95 mm ≤ h ≤ 200 mm)

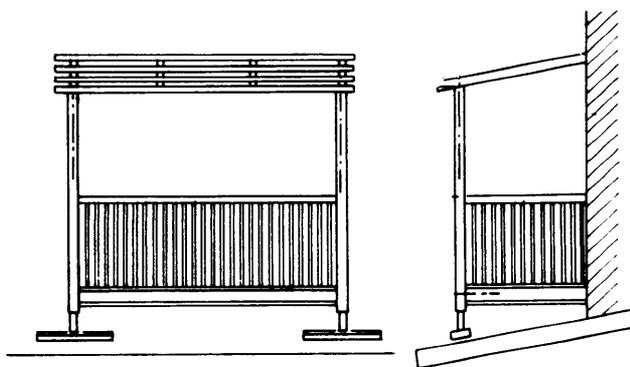
各機種代表納まり例

■ガーデン（1階用バルコニー）

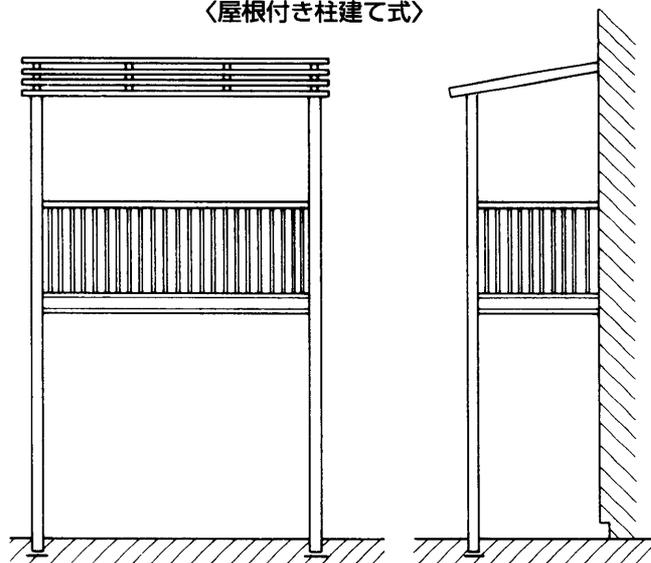


■屋根

〈屋根付き屋根置き式〉



〈屋根付き柱建て式〉

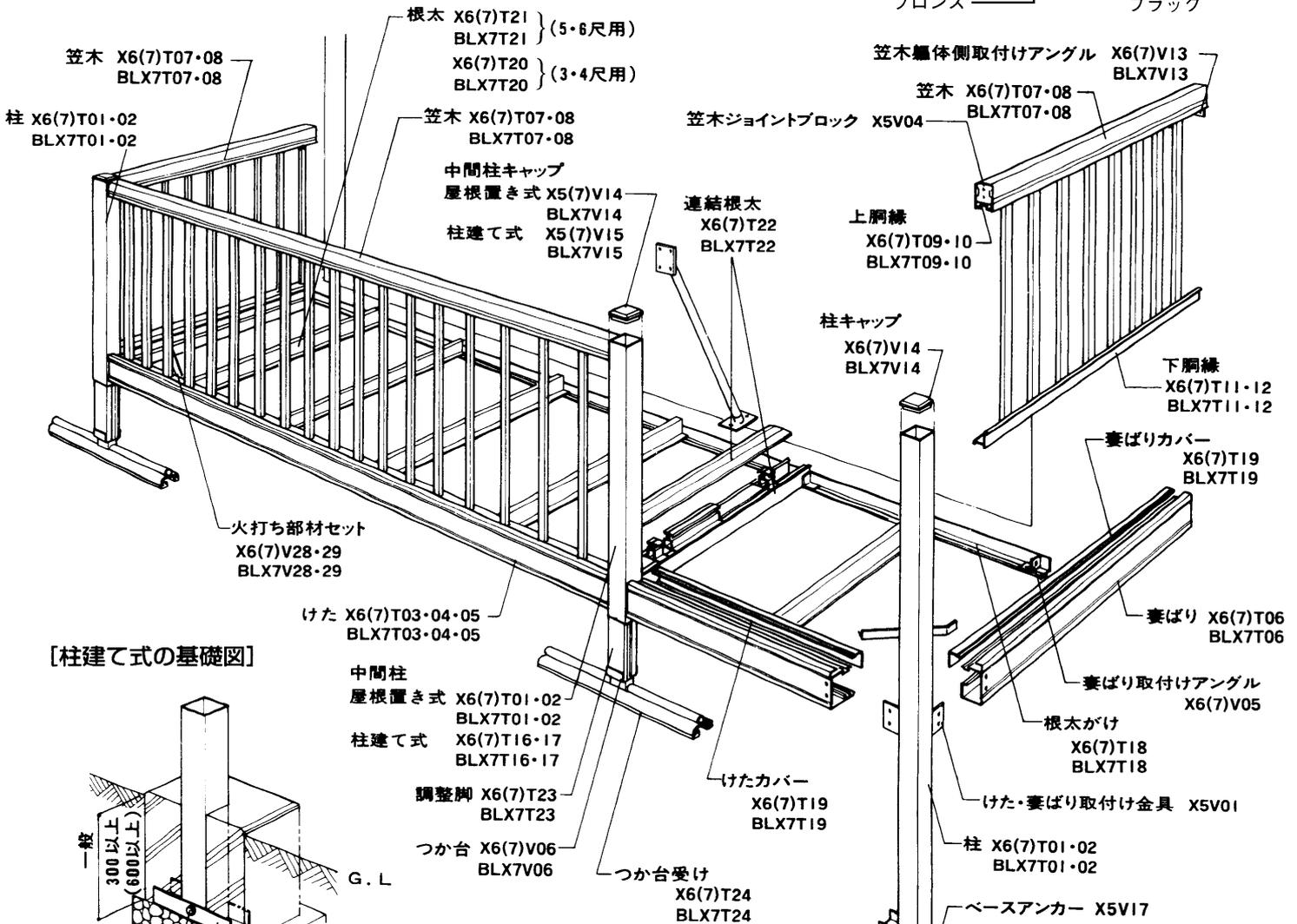


各部名称図

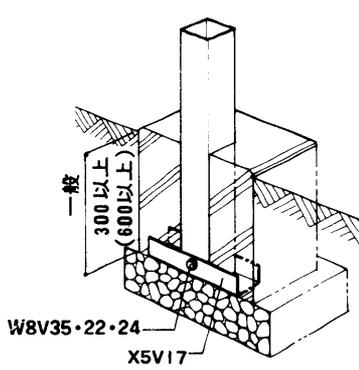
■ 材名及び主要部品を品名とコード番号で表示してあります。
 詳しくは、金具部品一覧表をご覧ください。

コード番号表示例 X6(7)T01 BLX7T01

ホワイト
 ブロンズ
 ブラック

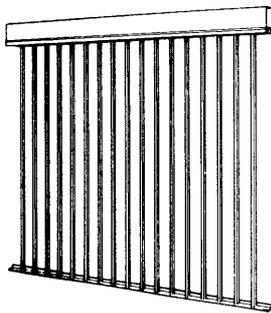


[柱建て式の基礎図]



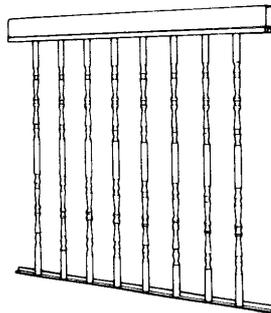
()内は寒冷地の場合

<ストレート10>



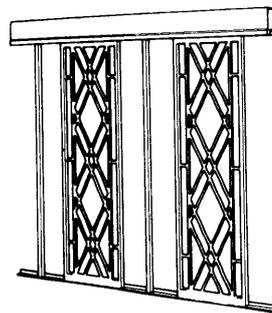
X6(7)T14

<しぼり>



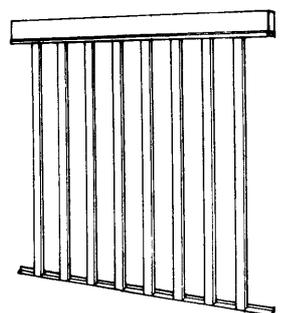
X7V34

<ダイキャスト>



X6(7)V26

<ストレート40>



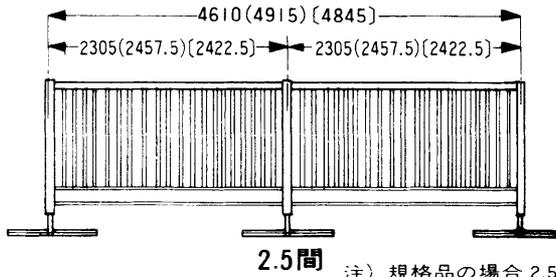
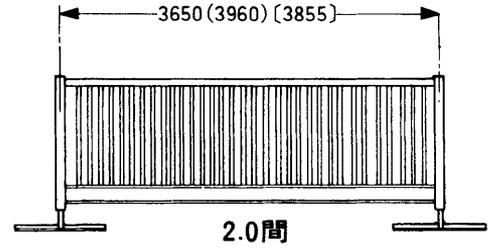
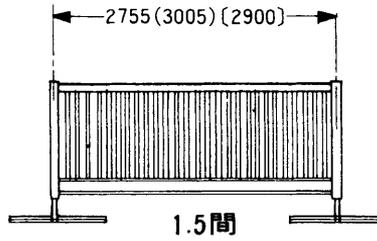
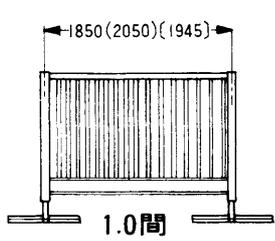
X6(7)T13
 BLX7T13

標準姿図 (屋根置き式)

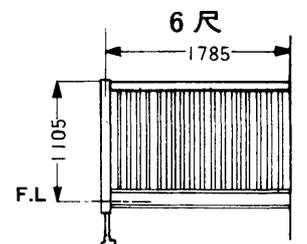
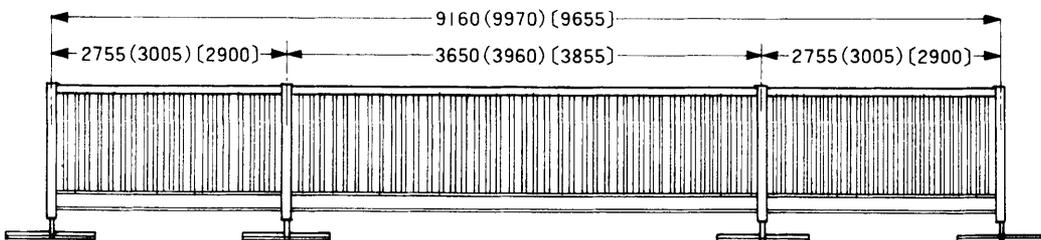
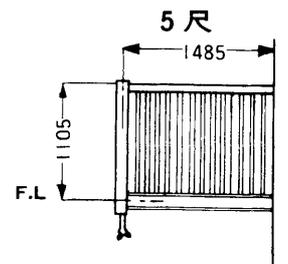
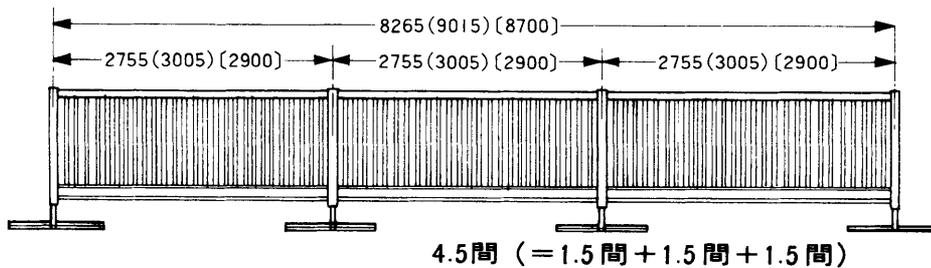
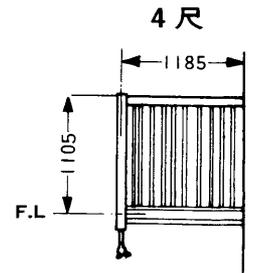
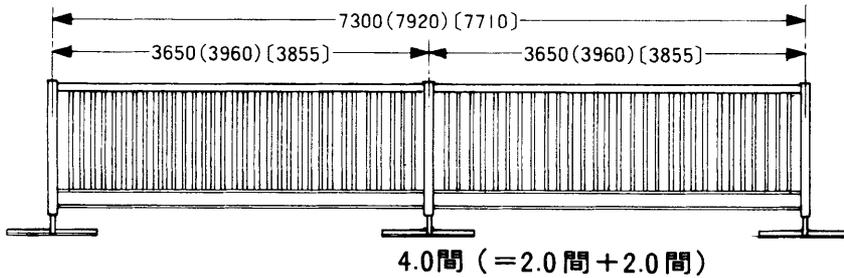
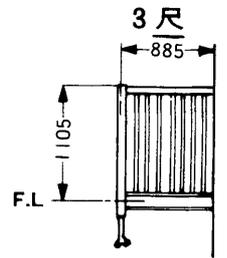
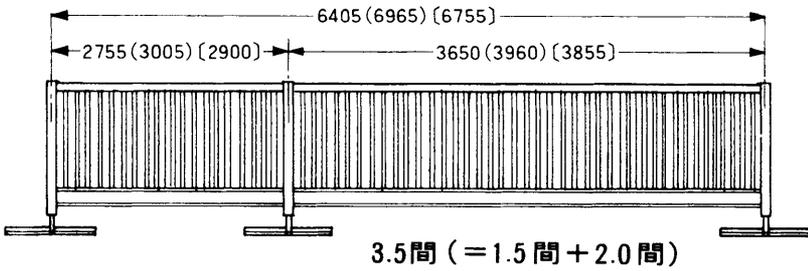
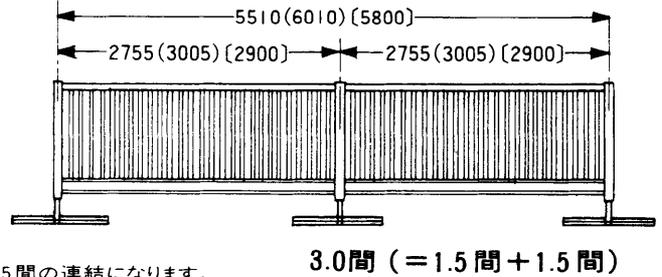
■主構造材 (柱、中間柱) は、下記の標準姿図をもとに選んでください。

() 内寸法は関西間を表わします。

[] 内寸法は九州四国間を表わします。



注) 規格品の場合 2.5間 = 1.0 + 1.5間の連結になります。

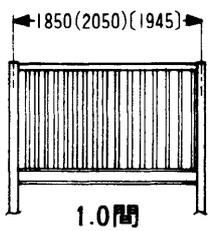


標準姿図 (柱建て式)

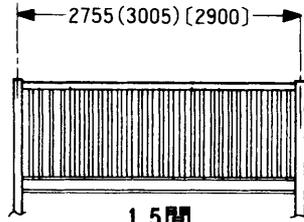
■主構造材 (柱、中間柱) は、下記の標準姿図をもとに選んでください。

() 内寸法は関西間を表わします。

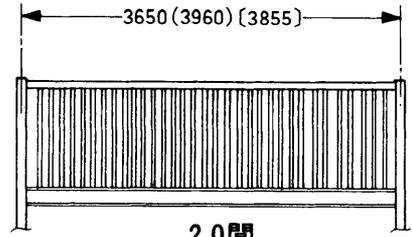
[] 内寸法は九州四国間を表わします。



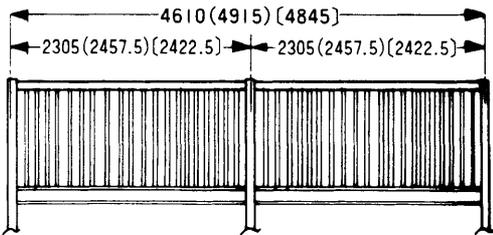
1.0間



1.5間

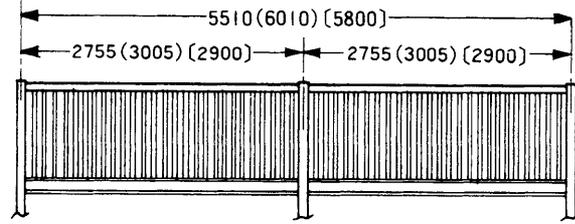


2.0間

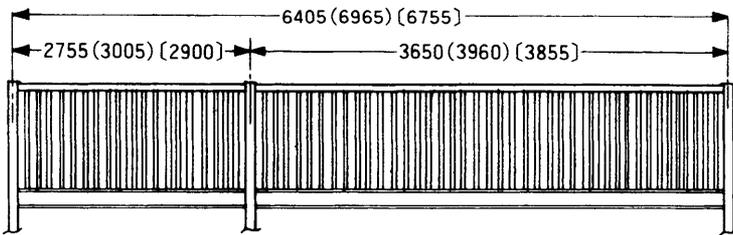


2.5間

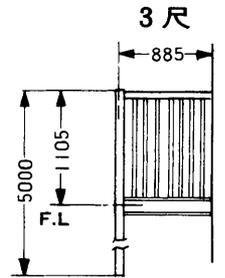
注) 規格品の場合 2.5間 = 1.0 + 1.5間の連結になります。



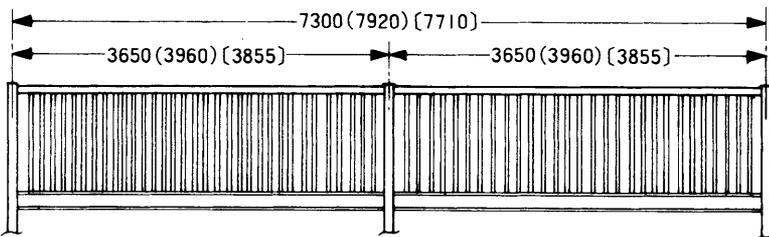
3.0間 (= 1.5間 + 1.5間)



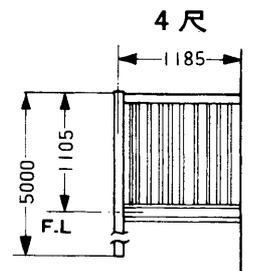
3.5間 (= 1.5間 + 2.0間)



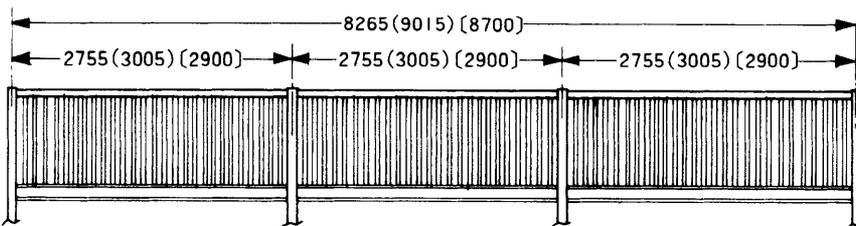
3尺



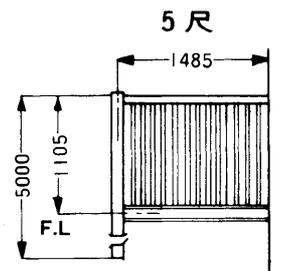
4.0間 (2.0間 + 2.0間)



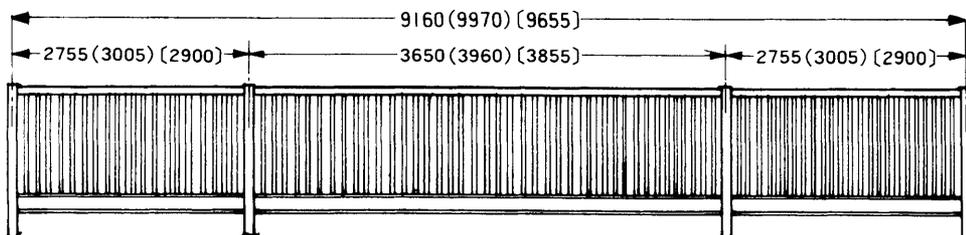
4尺



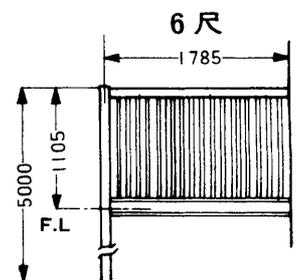
4.5間 (= 1.5間 + 1.5間 + 1.5間)



5尺



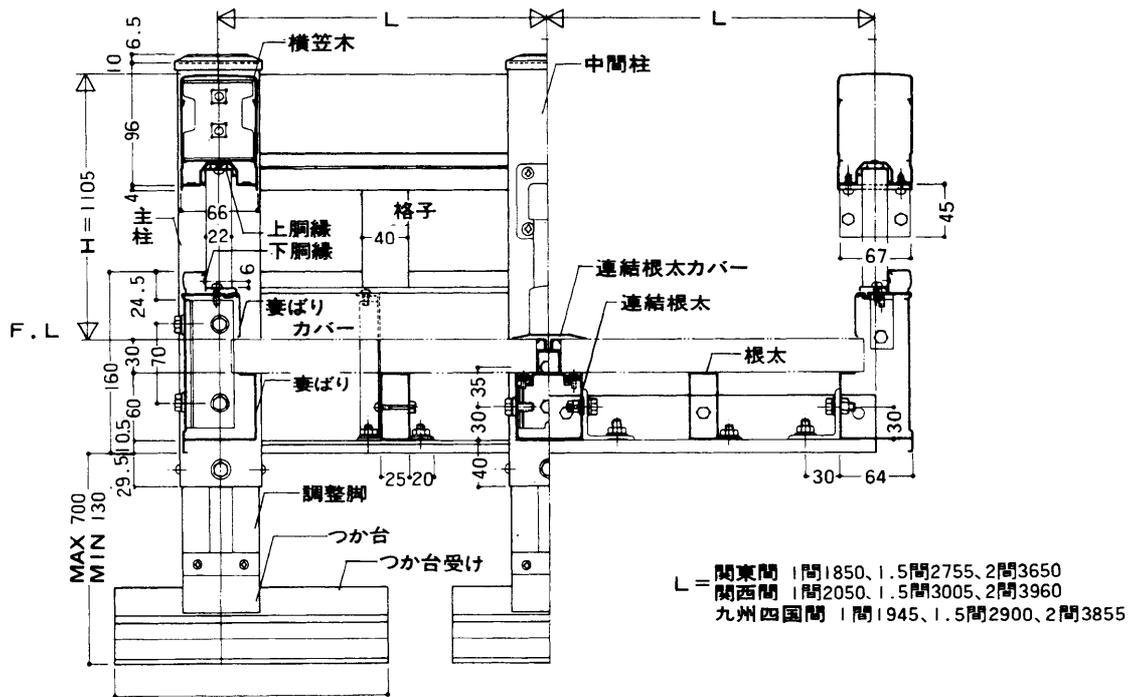
5.0間 (= 1.5間 + 1.5間 + 2.0間)



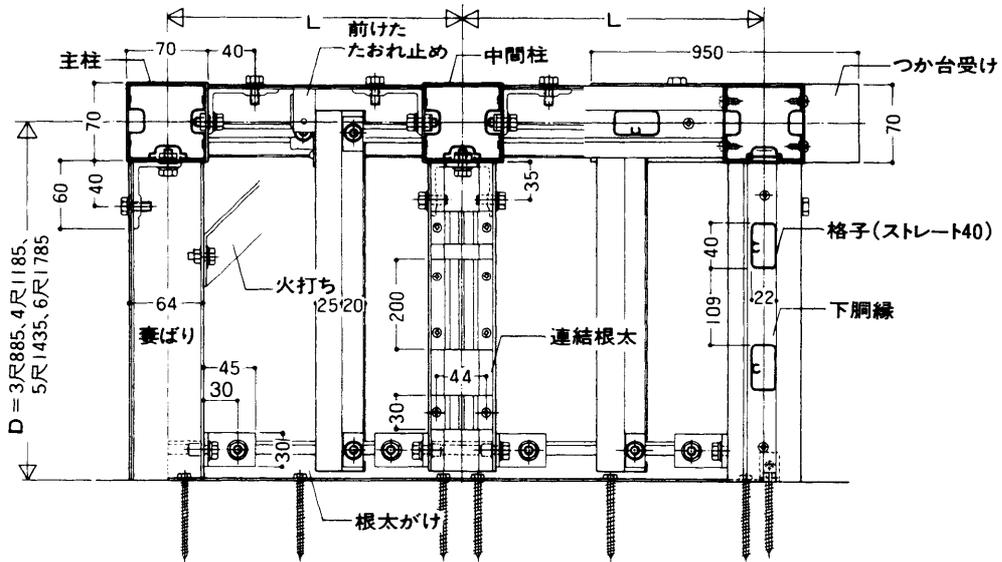
6尺

基本断面図 (屋根置き式)

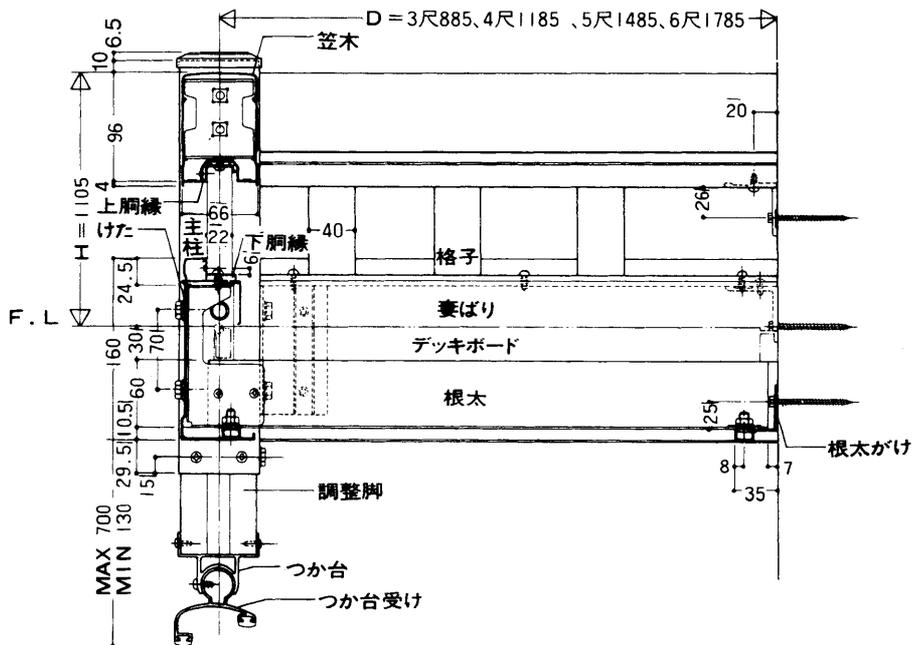
■正面図



■平面図

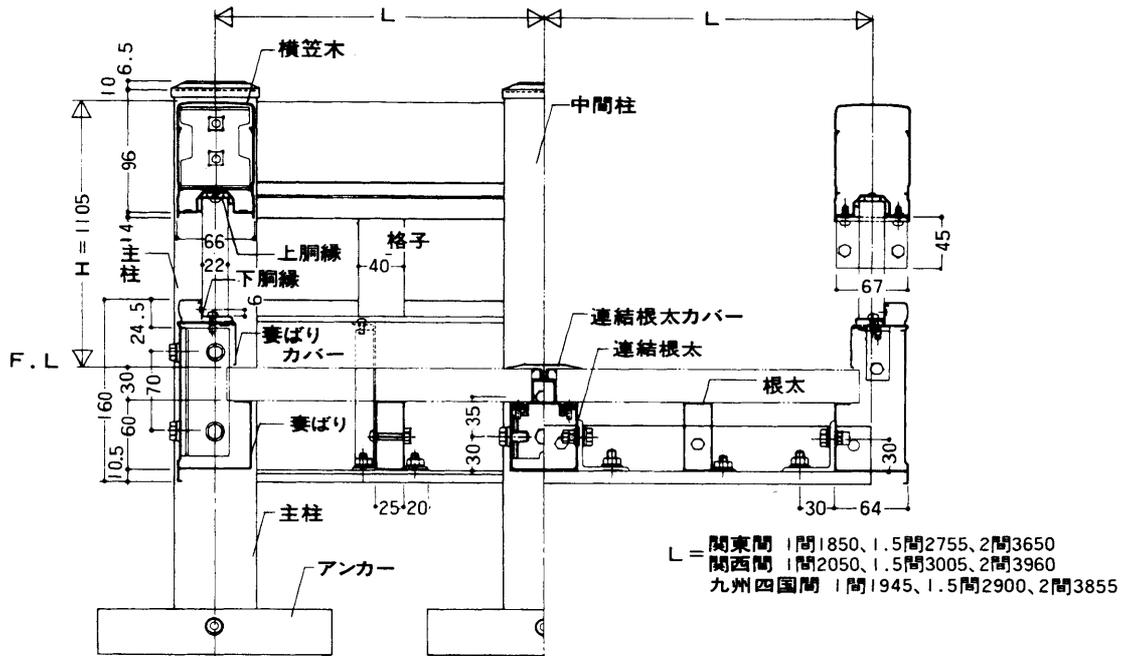


■側面図

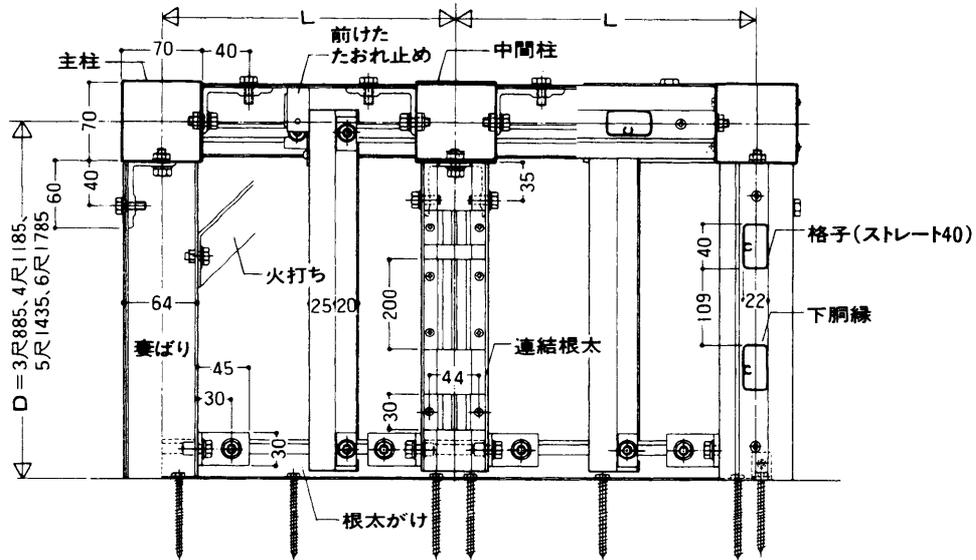


基本断面図 (柱建て式)

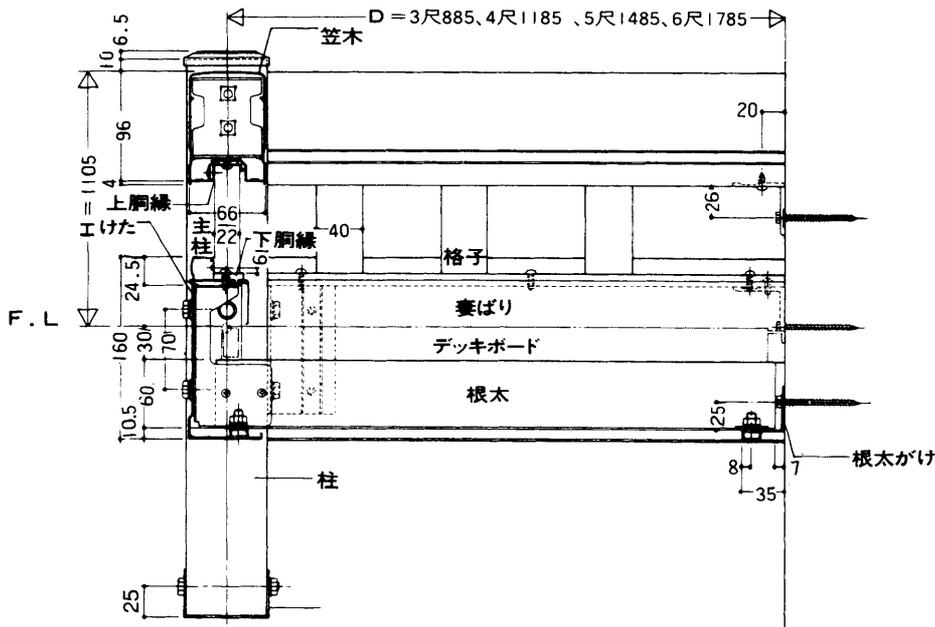
■正面図



■平面図



■側面図



設計基準について

■バルコニーを設計、製作される場合は必ず以下の基準をお守りください。

■法定基準に基づく設計基準

手すりの高さ	1100mmより高くすること	デッキ材床上面より笠木上面までの寸法（建築基準法）
部材の間隔	110mmよりせまくすること	格子の内のり間隔、けたと下銅縁及び壁面と格子の間隔等、あらゆる間隔に適用（ベターリビング認定基準）
床仕上げ面から高さ200～800mmの範囲には、足がかりになるような部材をつけてはならない（建築基準法）		

■スタンダードデッキ形材使用上の設計基準

●当社のスタンダードデッキ形材は、JIS A6601（住宅用金属製バルコニー及び手すり構造材）に基づき設計されています。下記基準を守って施工してください。

屋根置き式・柱建て式、共に標準姿図を参考に下記の基準内で使用してください。

(1) バルコニーの長さ＝開口（L寸法）に対する主構造材の使用数

構造材	L寸法	2.0間未満 L ≤ 3960	2.0～4.0間 L ≤ 7920	4.0～5.0間 L ≤ 9970	適用
柱		2本	3本 (1本)	4本 (2本)	()内数字は柱建て式 中間柱の本数で、専用 の中間柱を使用する。
けた		1本	2本	3本	—————
調整づか（屋根置き式）		2本	3本	4本	柱の個所に必ず使用

(2) バルコニーの奥行（D寸法）に対する根太の使い分けと取付けピッチ

形材	D ≤ 1185 (4.0R)	1185 < D ≤ 1785 (6R)
W ₇ T20	ピッチ ≤ 450	使用不可
W ₇ T21	ピッチ ≤ 450	

※床部材の強度は150kg/m²の静荷重に耐えられるように設計されています。

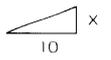
■注意事項（下記の項目は必ずお守りください。）

- バルコニー取付けのポイントは、建築物との接続の仕方です。長期使用に耐えるよう、十分配慮し取り付けてください。
- 1. アルミ形材が電氣的接触のないよう、必ず部品セットのステンレス製（18-8,SUS304）品を使用してください。
- 2. 躯体への取付けの際、タッピンネジはたたき込まず確実にねじ込んでください。プラグ類を使用してモルタル部分だけで固定することは非常に危険ですから絶対に行わないでください。
- 3. 屋根置き式バルコニーの奥行は、柱位置が軒げたより先に出ないように、施工してください。
- 4. 根太がけを躯体に直接取り付けの場合は、水切り（別途）を最初に取り付けてください。
- 5. 根太がけを外壁面より取り付けの場合は、コーキングを下穴に十分つめてからネジ止めしてください。
- 6. 妻ばり・笠木を戸袋に直接固定することは、強度上危険です。必ず戸袋逃げ柱を使用してください。
- 7. 床面のモルタル打ちは、積載荷重が増え危険ですので避けてください。
- 8. 床面や格子に足掛り等、手すりの高さの変更になるようなものは、設置しないでください。
- 9. 雨戸一筋の下端から下の屋根までの寸法（窓下寸法）が70mm以下の場合は、別売り部品（根太がけ持出し金具）をご使用ください。
- 10. 屋根置き式に屋根を取り付ける場合は、必ず補強プレスを ご使用ください。
- 11. 入隅及び両壁に屋根置き式のバルコニーを設置する場合は、必ず躯体の柱に取り付けるようにしてください。

施工前の調査と打合わせ

■取付け作業を始めてから手直しが出ないように、下記のチェックリストをもとに、現場の調査・打ち合わせを十分に行ってください。

※基準寸法のとり方については、(P10)を参照してください。

1	形 式	柱建て式/屋根置き式/変則タイプ		
2	基 準 寸 法	W=	H=	D= 柱建て式の総高さ=
3	色 の 区 別	ホワイト/ブロンズ/ブロック		
4	現 場 の 状 況	新築/既存	外壁仕上げ前取付け 外壁仕上げ後取付け	撤去作業 あり/なし
5	屋 根 の 状 態	こう配 	材 料 瓦/瓦棒/	金 属 板 アスファルトシングル
6	横 笠 木 取 付 け 位 置 の 戸 袋	あり/ 両戸袋 片戸袋 /なし	根太がけ取付け面からの 戸袋出寸法=	
7	横 笠 木 の 壁 面 処 理	モルタルに埋め込む/埋め込まない		
8	根太がけ取付け場所の確認	柱 建 て 式 屋 根 置 き 式	窓寸法 mm/根太がけカット寸法 mm 根太がけ及び、金具の取付け場所 胴差し、間柱 胴差し、柱などの補強金物の取付き状態 良/不良	
9	柱 位 置 確 認	柱 建 て 式 障 害 物	あり/なし	屋 根 置 き 式 けた位置の上に来るか 軒へ出過ぎていないか
10	現 場 状 況			
	オ プ シ ョ ン	屋根セット・物干しセット・戸袋逃げ柱セットの要、不要		
11	見 積 り 姿 図 承 認	提出	月 日	承認 月 日
12	施 工 時 期	月 日 頃	期限	月 日迄

必要工具

- 水 糸
- 下げ振り
- 金切りのコ
- 延長コート
- 木ハンマー (握りのなるべく太いもの)
- ドリル
- スパナ13mm
- 水平器 (500mm前後のもの)
- ボックス・レンチ (8, 13, 14mm)
- 電気ドリル (チャックφ13mm)
- +ドライバー (2号)
- 脚立
- 丸のコ切断機

※あると便利なもの

- 電気ドライバー
- 電気ドライバー (+ビット2号)
- ボックス・ドライバー (8mm)
- 丸ヤスリ (荒目φ8mm)
- ラチェット・スパナ
- シャベル
- ジャッキ
- こて
- 金づち
- 平のみ

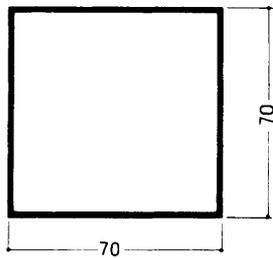
■使用ドリル明細表

径	用 途	
φ3.3	φ4タッピンネジ下穴 (デッキボード固定)	
φ4.3	φ5タッピンネジ下穴	
φ5.0	φ4タッピンネジバカ穴	
φ6.0	φ5タッピンネジバカ穴	
φ6.5	φ6タッピンネジバカ穴	
φ6.5	コーチネジ下穴	コンクリート用
φ4.3	φ6タッピンネジ下穴	
φ10.0	φ8ボルトバカ穴.1/4"シャック小ノス型	

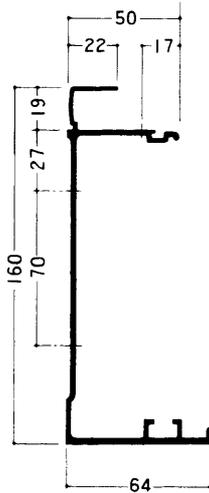
形材一覧表①

※発注寸法……本数発注です。

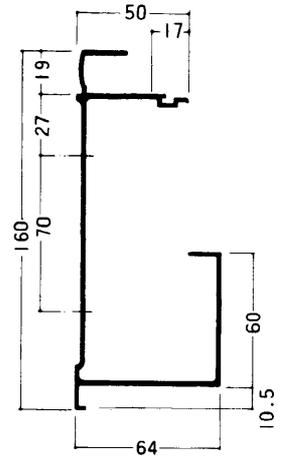
■バルコニー



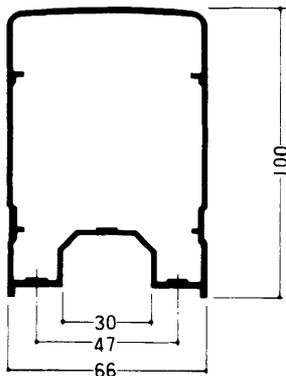
品名	柱
コード番号	X6(7)T01 BLX7T01
有効寸法 mm (入数)	5860(2)
コード番号	X6(7)T02 BLX7T02
有効寸法 mm (入数)	5005(2)



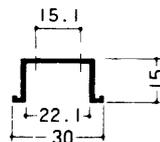
品名	けた
コード番号	X6(7)T03 BLX7T03
有効寸法 mm (入数)	3585(2)
コード番号	X6(7)T04 BLX7T04
有効寸法 mm (入数)	5390(2)
コード番号	X6(7)T05 BLX7T05
有効寸法 mm (入数)	5890(2)



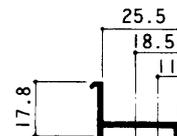
品名	妻ばり
コード番号	X6(7)T06 BLX7T06
有効寸法 mm (入数)	5275(2)



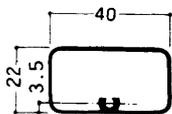
品名	笠木
コード番号	X6(7)T07 BLX7T07
有効寸法 mm (入数)	5920(2)
コード番号	X6(7)T08 BLX7T08
有効寸法 mm (入数)	5390(2)



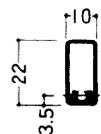
品名	上胴縁
コード番号	X6(7)T09 BLX7T09
有効寸法 mm (入数)	5920(4)
コード番号	X6(7)T10 BLX7T10
有効寸法 mm (入数)	5380(4)



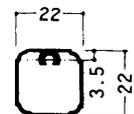
品名	下胴縁
コード番号	X6(7)T11 BLX7T11
有効寸法 mm (入数)	5920(4)
コード番号	X6(7)T12 BLX7T12
有効寸法 mm (入数)	5375(4)



品名	格子(ストレート40)
コード番号	X6(7)T13 BLX7T13
有効寸法 mm (入数)	4905(12)



品名	格子(ストレート10)
コード番号	X6(7)T14
有効寸法 mm (入数)	4905(12)

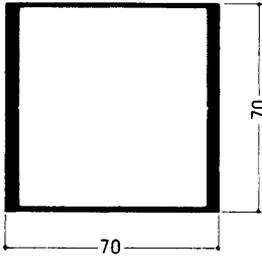


品名	格子(ストレート22)
コード番号	X6(7)T15
有効寸法 mm (入数)	4905(12)

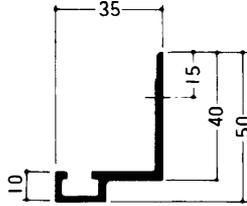
形材一覧表②

コード番号表示例 X6(7)T16 BLX7T16

■バルコニー (特殊現場用)



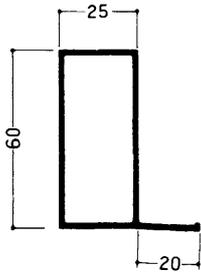
品名	中間柱(柱建て式)
コード番号	X6(7)T16 BLX7T16
有効寸法 mm (入数)	5855(1)
コード番号	X6(7)T17 BLX7T17
有効寸法 mm (入数)	5015(1)



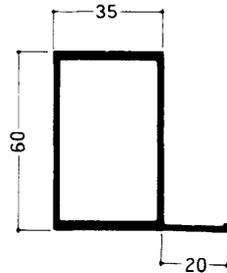
品名	根太がけ
コード番号	X6(7)T18 BLX7T18
有効寸法 mm (入数)	5520(2)



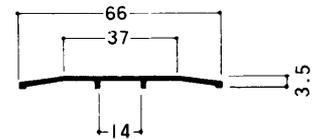
品名	けたカバー
コード番号	X6(7)T19 BLX7T19
有効寸法 mm (入数)	5920(4)



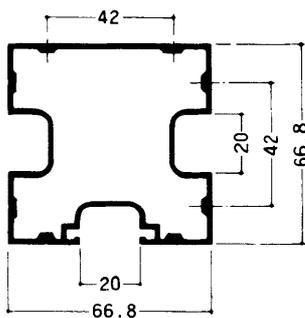
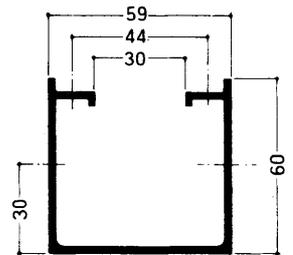
品名	根太(3.4尺用)
コード番号	X6(7)T20 BLX7T20
有効寸法 mm (入数)	4835(8)



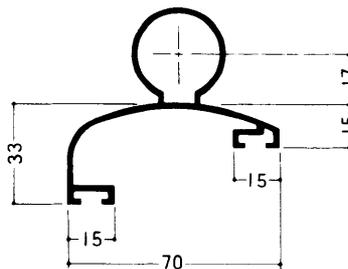
品名	根太(5.6尺用)
コード番号	X6(7)T21 BLX7T21
有効寸法 mm (入数)	5375(4)



品名	連結根太(カバー付)
コード番号	X6(7)T22 BLX7T22
有効寸法 mm (入数)	5255(2)



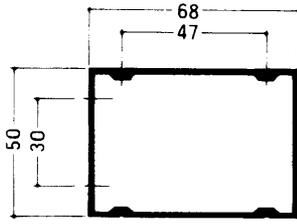
品名	調整脚
コード番号	X6(7)T23 BLX7T23
有効寸法 mm (入数)	5640(2)



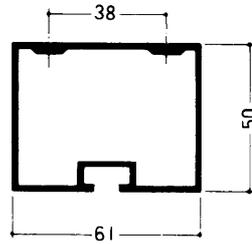
品名	つか台受け
コード番号	X6(7)T24 BLX7T24
有効寸法 mm (入数)	5720(2)

形材一覧表③

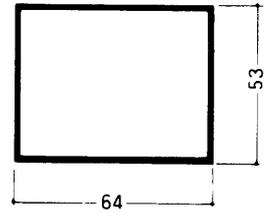
■バルコニー（特殊現場用）



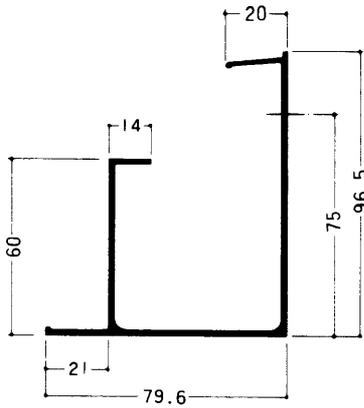
品名	戸袋逃げ柱
コード番号	X6(7)T25 BLX7T25
有効寸法 mm (入数)	4510(2)



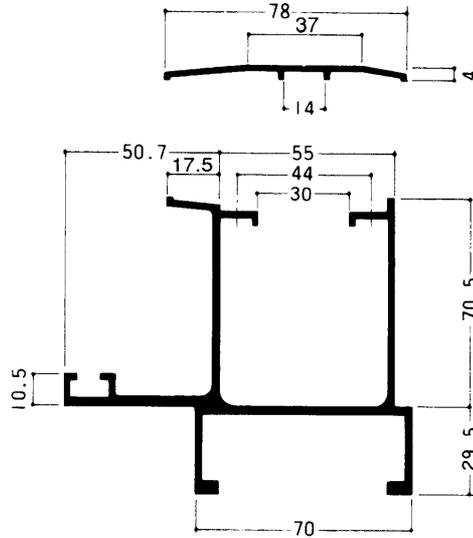
品名	戸袋逃げ調整棧(B)
コード番号	X6(7)T31 BLX7T31
有効寸法 mm (入数)	4775(1)



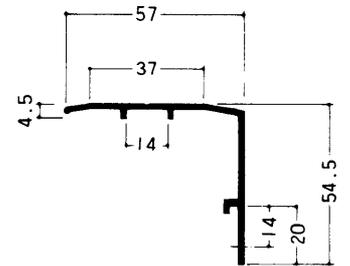
品名	戸袋逃げ調整棧(A)
コード番号	X6(7)T32 BLX7T32
有効寸法 mm (入数)	5080(1)



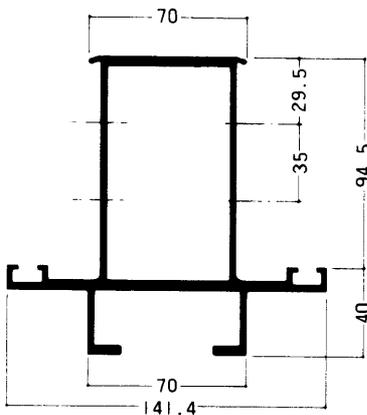
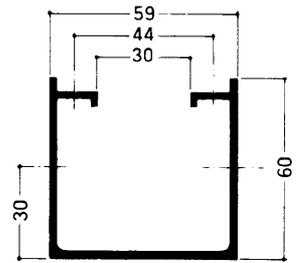
品名	入隅用妻ばり
コード番号	X6(7)T26 BLX7T26
有効寸法 mm (入数)	5375(1)



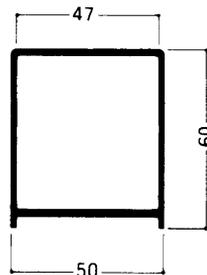
品名	出隅用根太がけ (カバー付)
コード番号	X6(7)T27 BLX7T27
有効寸法 mm (入数)	4625(1)



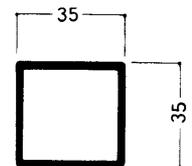
品名	段差用妻ばり (カバー付)
コード番号	X6(7)T28 BLX7T28
有効寸法 mm (入数)	4625(1)



品名	出幅連結けた
コード番号	X6(7)T29 BLX7T29
有効寸法 mm (入数)	5390(1)

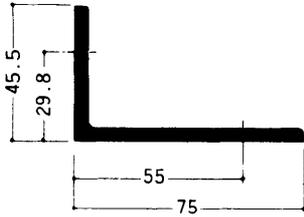


品名	物干し用横棧
コード番号	X6(7)T30 BLX7T30
有効寸法 mm (入数)	5465(1)

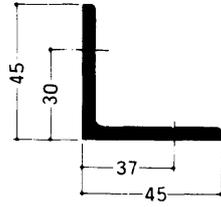


品名	物干しポール
コード番号	X6(7)T36 BLX7T36
有効寸法 mm (入数)	4950(1)

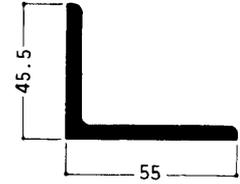
形材一覧表④



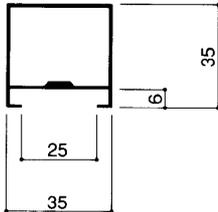
品名	アングルA
コード番号	X6(7)T33 BLX7T33
有効寸法 mm (入数)	4690(1)



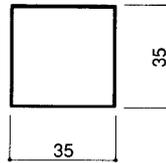
品名	アングルB
コード番号	X6(7)T34 BLX7T34
有効寸法 mm (入数)	4600(1)



品名	アングルC
コード番号	X6(7)T35 BLX7T35
有効寸法 mm (入数)	4690(1)

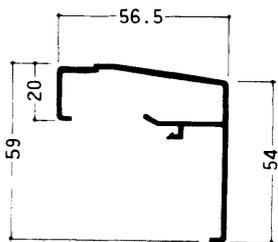


有効寸法mm	物干し腕木	
コード番号	B	X7T44
	W	X6T44
	T	BLX7T44
有効寸法 mm (入数)	4000 (1)	

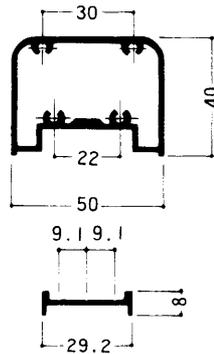


有効寸法mm	物干し柱	
コード番号	B	X7T45
	W	X6T45
	T	BLX7T45
有効寸法 mm (入数)	5000(1)	

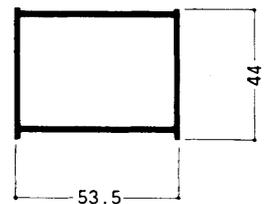
■1階用バルコニー



品名	くつすり
コード番号	X6(7)T43
有効寸法 mm (入数)	5275(1)



品名	扉用笠木 扉用上下胴縁
コード番号	X6(7)T41
有効寸法 mm (入数)	4490(1組)

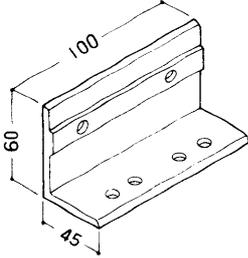
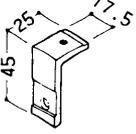
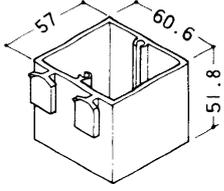
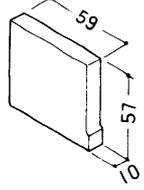
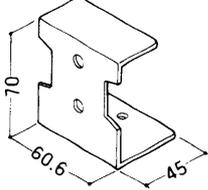
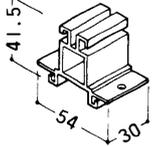
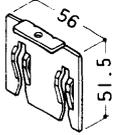
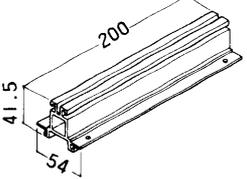
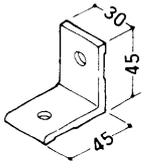
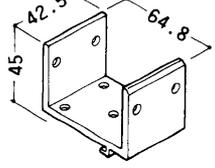
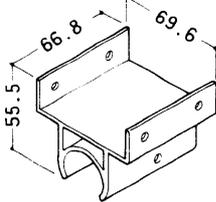


品名	扉用縦框
コード番号	X6(7)T42
有効寸法 mm (入数)	4910(1)

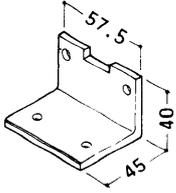
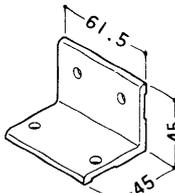
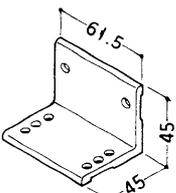
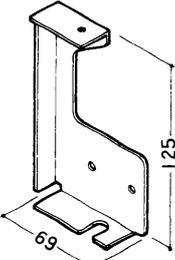
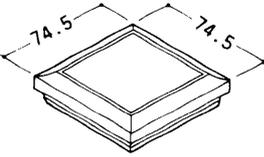
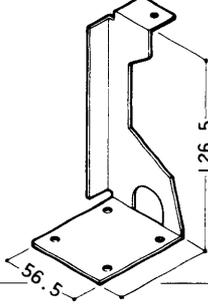
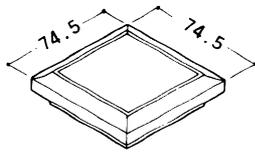
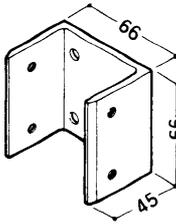
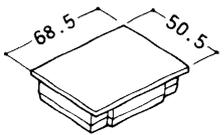
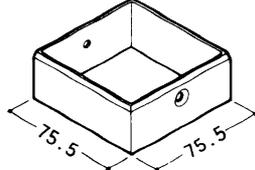
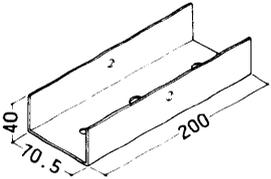
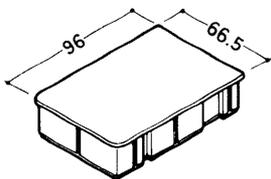
金具部品一覧表① <バルコニー本体部品>

コード番号表示例 X6(7)V05 BLX7V05

↑ ↑ ↑
 ホワイト ↑ ↑ ↑
 ブロンズ ↑ ↑ ↑
 ↑ ↑ ↑
 ブラック

品名	コード	形状	入数	品名	コード	形状	入数
けた、妻ばり 取付け金具	X5V01		10	妻ばり フレ止めアングル	X5V07		4
	X5V35		4				
笠木ジョイント ブロック (規格品)	X5V02		4	妻ばり 水止めゴム	X5V08		4
笠木ジョイント ブロック (形材売用)	X5V04		8	連結根太カバー 固定金具	X5V09		10
笠木 ジョイント板	X5V03		4	控え棒 取付け裏材	X5V10		2
妻ばり、連結根太 取付けアングル	X6(7)V05		4	戸袋逃げ柱 取付け金具	X5V11		4
つか台 (屋根置き式)	X6(7)V06 BLX7V06		8				

金具部品一覧表② 〈バルコニー本体部品〉

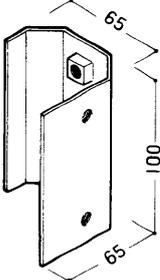
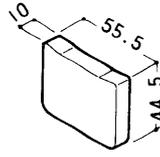
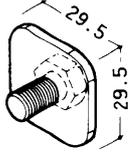
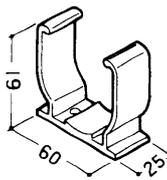
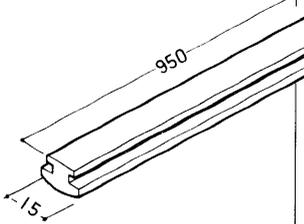
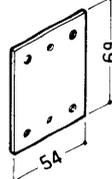
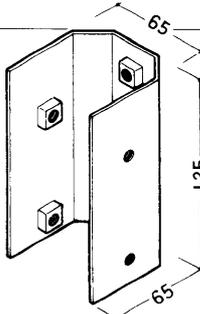
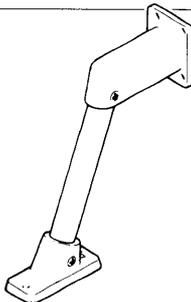
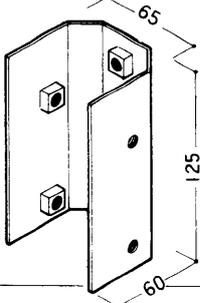
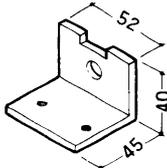
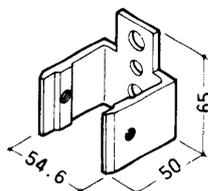
品名	コード	形状	入数	品名	コード	形状	入数
戸袋逃げポール 固定金具(B)	X5V12		4	段床用笠木 取付け金具	X6(7)V18 BLX7V18		2
笠木 躯体側取付け アングル	X6(7)V13 BLX7V13		4	前けた たおれ止め	X5(7)V19		2
柱キャップ	X5(7)V14 BLX7V14		4	妻ばり たおれ止め	X5V20		2
中間柱 キャップ (柱建て式)	X5(7)V15 BLX7V15		2	移動柱 固定金具	X5V21		2
戸袋逃げ柱 キャップ	X5(7)V16 BLX7V16		4	柱ジョイント カバー	X5(7)V22 BLX7V22		4
ベースアンカー (柱建て式)	X5V17		4	横笠木 キャップ	X5(7)V23 BLX7V23		4

金具部品一覧表③ <バルコニー本体部品>

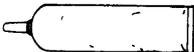
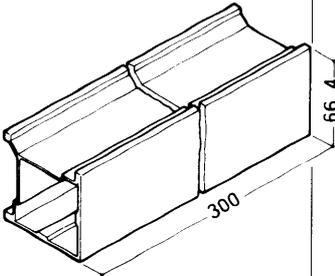
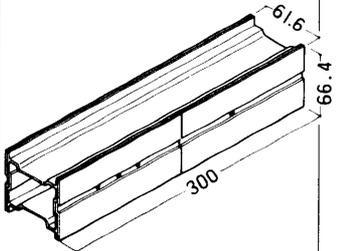
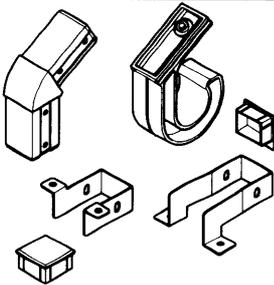
品名	コード	形状	入数	品名	コード	形状	入数
出幅連結けた取付け金具	X5V24		2	物干しセット (独立型)	X6(7)V30 BLX7V30		1
雨どい控え金具	X6(7)V25 BLX7V25		4	物干しセット (直付け型)	X6(7)V31 BLX7V31		1
鋳物パネル	X6(7)V26		1	扉組立て部品セット (ネジ付き)	X6(7)V32		1
根太固定あて板セット	X5V27		100				
火打ち部品セット (左用)	X6(7)V28 BLX7V28		1	柱切欠き目隠し板	X6(7)V33 BLX7V33		5
火打ち部品セット (右用)	X6(7)V29 BLX7V29		1	しぼり格子	X7V34		20

* 本数(20本)発注です。

金具部品一覧表④ 〈バルコニー本体部品〉

品名	コード	形状	入数	品名	コード	形状	入数
けた妻ばり 取付け裏板	W5V01		4	連結根太 水止めゴム	W5V15		2
	X5V36		2				
つか 調整ボルト	W5V06		10	物干し用 さお掛け	W6V24 BRW7V24 BLW7V24		10
つか台 すべり止め (ゴム)	W5V07		10	控え棒 取付け裏板 (屋根置き式)	W5V26		5
連結根太 取付け金具 裏板 (屋根置き式)	W5V12		2	控え棒セット (ネジ付き)	W6V28 BRW7V28 BLW7V28		1
連結根太 取付け金具 裏板 (柱建て式)	W5V13		2	戸袋逃げボール 固定金具 (A)	W6V23 BRW7V23 BLW7V23		4
連結根太 取付け金具	W5V14		2	雨どい アタッチメント	W6(7)V49 BLW7V49		5

金具部品一覧表⑤ 〈バルコニー本体部品〉

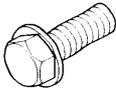
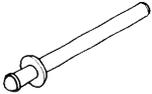
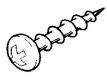
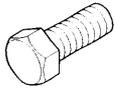
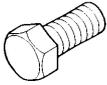
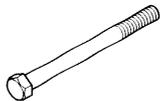
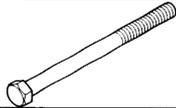
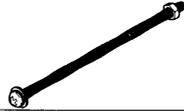
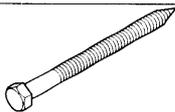
品名	コード	形状	入数
コーキング材	X5(7)V43 BLX7V43		5
柱連結材 (コーナー用)	YTA ^φ 517		2
柱連結材 (中間用)	YTA ^φ 518		1
物干し部品 (セット)	X7V52 X6V52 BLX7V52		2

デスクボード一覧表

タイプ	間数	製品寸法	入数	コード	
				シルバー	グレー
	関東間サイズ	1.0間 (1850)	1830	2	WBAZ 102
			1830	3	WBAZ 103
		1.5間 (2755)	2735	2	WBAZ 112
			2735	3	WBAZ 113
		2.0間 (3650)	3630	2	WBAZ 122
			3630	3	WBAZ 123
	2.5間 (4605)	4585	1	WBAZ 141	
			2	WBAZ 142	
		4585	2	WBAZ 142	
	関西間サイズ	1.0間 (2050)	2030	2	WBAZ 152
				3	WBAZ 153
		1.5間 (3005)	2985	2	WBAZ 162
				3	WBAZ 163
		2.0間 (3960)	3940	2	WBAZ 172
				3	WBAZ 173
九州四国間サイズ	1.0間 (1945)	1925	2	WBAZ 302	
			3	WBAZ 303	
	1.5間 (2900)	2880	2	WBAZ 312	
			3	WBAZ 313	
	2.0間 (3855)	3835	2	WBAZ 322	
			3	WBAZ 323	

ネジ一覧表

※発注方法……梱包発注です。

品名	コード	形状	入数	品名	コード	形状	入数
M8×16 六角ボルト (セムス)	X ₉ ⁸ V01 X ₉ ⁸ V09		100 20	M8 六角ナット	W ₉ ⁸ V22 X ₉ ⁸ V11		200 50
φ5×16 トラスタッピン 1種	X ₉ ⁸ V02		100	M8 六角袋ナット	W ₉ ⁸ V23		50
M5×12 トラス小ネジ	X ₉ ⁸ V03		50	M8 スプリング ワッシャー	W ₉ ⁸ V24 X ₉ ⁸ V12		200 50
M8×16 六角化粧ボルト (セムス)	X ₉ ⁸ V04 X ₉ ⁸ V10		50 10	M8 平ワッシャー	W ₉ ⁸ V25 X ₉ ⁸ V13		200 50
φ5×30 丸皿タッピン 1種	X ₉ ⁸ V05		20	φ4×14 ナベタッピン 1種	W ₉ ⁸ V27		200
POPリベット No.52	X8V06		50	φ5×16 ナベタッピン 1種	W ₉ ⁸ V28		200
φ5×16 ナベテクス	X ₉ ⁸ V07		50	φ4×14 トラスタッピン 1種	W ₉ ⁸ V29		100
φ4×16 ナベテクス	X ₉ ⁸ V08		50	M5×20 ナベ小ネジ (Wセムス)	W ₉ ⁸ V30		100
M8×16 六角ボルト	W ₉ ⁸ V32		50	M8×14 六角ボルト	W ₉ ⁸ V31		50
M4×14 トラス小ネジ	W ₉ ⁸ V01		1,000	M8×80 六角ボルト	W ₉ ⁸ V34		20
M5×16 丸皿小ネジ	W ₉ ⁸ V03		100	M8×90 六角ボルト	W ₉ ⁸ V35		20
φ6×70 六角タッピン 1種	W ₉ ⁸ V05		50	M5×12 トラス小ネジ (Wセムス)	W ₉ ⁸ V37		100
M5×14 ナベ小ネジ (Wセムス)	W ₉ ⁸ V08		100	M5×70ナベ小ネジ (Wセムス) 六角ナット付	W ₉ ⁸ V38		100
M4×8 トラス小ネジ	W8V06		100	M5×105ナベ小ネジ (Wセムス) 六角ナット付	W ₉ ⁸ V42		50
φ4×20 ナベタッピン 2種	W8V09		1,000				
M8×70 コーチネジ	W ₉ ⁸ V21		50				

取付け順序（屋根置き式）①



警告

- 根太がけは、必ず柱・間柱に六角タッピンで取り付けてください。
- タッピンねじの下穴には、指定された下穴より太いドリルを使用しないでください。

取付け時期は、雨じまいの関係上、外壁仕上げ後の施工が最適です。基本的には、組立て図のとおり、部材に部品を取り付け、できるだけユニットにして、現場に持ち込み取り付けます。ただし、現場の状況によって取付け方や取付け順序が異なりますので下記の標準取付け方法をもとに、取付け方を工夫してください。

①根太がけ取付け下地の調整

- 根太がけの取付け場所を良く調べ、根太がけが、必ず柱・間柱に取り付くようにしてください。
- ※根太がけが、直接躯体に付かない場合は、確実な添木をして力が躯体に働くようにしてください。

②部品の取付け

- 調整脚につか台金具及び、つか台受けを取り付けます。

③根太がけの取付け

- 根太がけの水平を出し、タッピンネジで必ず躯体の木部に止めてください。
- ※根太がけと躯体面との間にすき間ができないように注意し、コーキング処理をします。
- ※躯体の下穴はコーキングを充てんします。
- ※連結タイプの場合は、根太がけの接続個所にすき間が出ぬよう注意し、コーキング処理をします。

④主柱と妻ばりの組立て

- 主柱にけた取付け金具を取り付け、妻ばりを固定します。

⑤中間柱への連結根太の取付け

- 中間柱にけた取付け金具及び連結根太取付け金具を取り付けます。次に、連結根太を差し込み、ボルトで固定します。

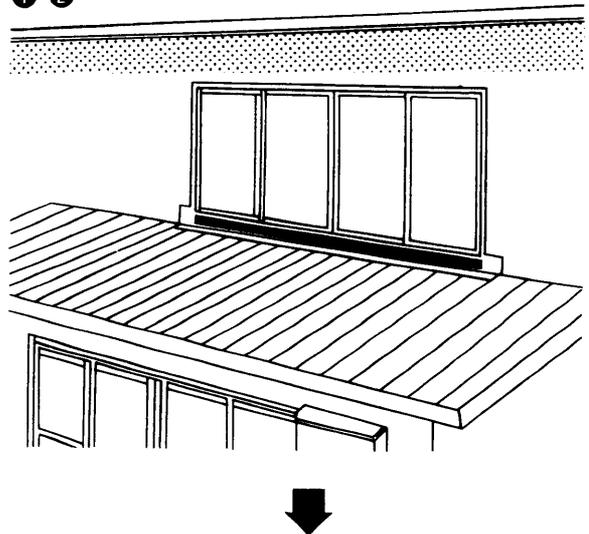
⑥妻ばり及び連結根太と根太がけの固定

- 妻ばり取付けアングルの固定ボルトを根太がけのボルトホールに差し込みます。
- 妻ばり・連結根太を、妻ばり取付けアングルに固定します。
- 妻ばりフレ止めアングルを躯体に六角タッピンネジで固定します。

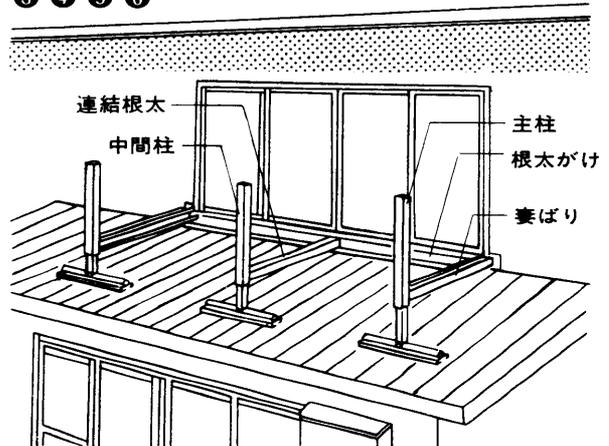
⑦前けた及び火打ちの取付け、調整脚の固定

- 主柱・中間柱のけた取付け金具にけたをボルトで固定します。
- 前けたを取り付けた後、妻ばり前けたの水平を出し、タッピンネジで調整脚を固定します。
- 火打ちをボルト・ナットで固定します。

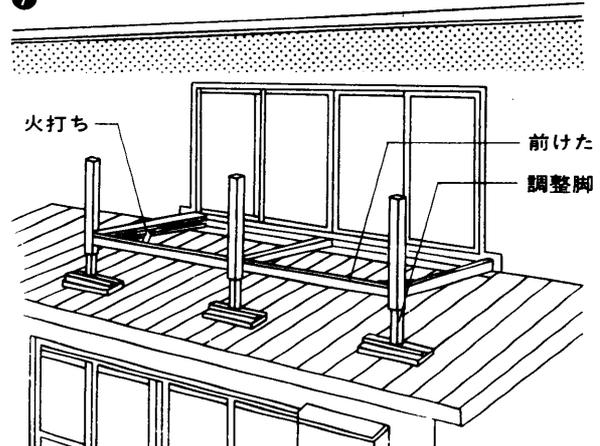
① ②



③ ④ ⑤ ⑥



⑦



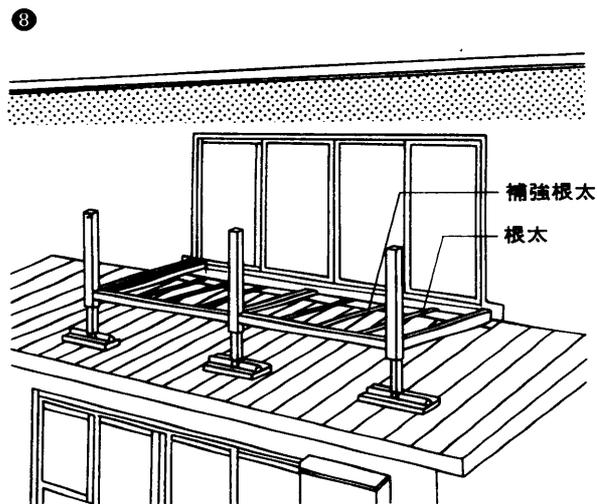
取付け順序（屋根置き式）②

⑧根太の取付け

- あらかじめ、前けた・妻ばりに取り付けてあるボルトをタッピンネジの位置に合わせ、根太を根太固定当て板とナットで固定します。

※補強根太はけたの中央に取り付けます。（関西間・九州四国間の場合は、中央よりに取り付けます。）

- 前けた倒れ止めを前けた及び根太に固定します。



⑨デッキボート連結根太カバー・控え棒の取付け

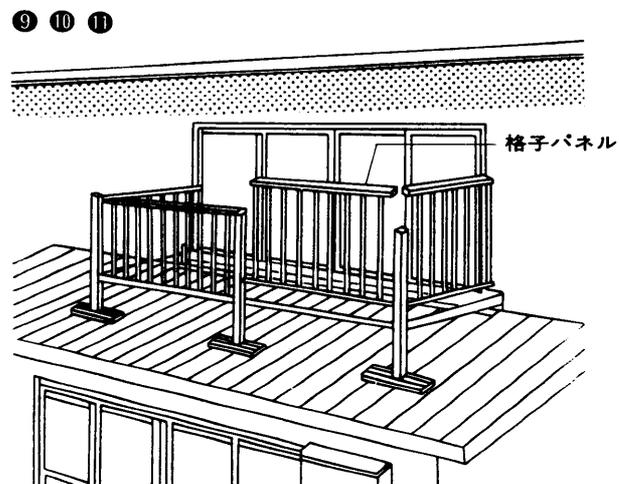
- デッキボードの柱に当たる部分を切り欠き、根太にタッピンネジで固定します。

⑩けた（妻ばり）カバーの取付け

- 前けた（妻ばり）に、けたカバーをはめ込みます。

⑪笠木（格子パネル）の取付け

- 笠木両端に取り付けた笠木固定ブロックで柱へ固定します。（ボルト止め）
- 下胴縁はタッピンネジで固定します。
- 横笠木は、笠木躯体側取付けアングルをタッピンネジで固定します。躯体の下穴は、コーキングを充てんします。



取付け順序（柱建て式）①

- 警告**
- 根太がけは、必ず柱・間柱に六角タッピンで取り付けてください。
 - タッピンねじの下穴には、指定された下穴より太いドリルを使用しないでください。

取付け時期は、雨じまいの関係上、外壁仕上げ後の施工が最適です。基本的には、組立て図のとおり、部材に部品を取り付け、できるだけユニットにして、現場に持ち込み取り付けます。ただし、現場の状況によって取付け方や、取付け順序が異なりますので下記の標準取付け方法をもとに、取付け方を工夫してください。

①根太がけ取付け下地の調整

- 根太がけの取付け場所を良く調べ、根太がけが、必ず柱・間柱に取り付くようにしてください。

※根太がけが、直接躯体に付かない場合は、確実な添木をして力が躯体に働くようにしてください。

②部品の取付け

- 設置用の穴を掘ります。
- アンカーをボルトでそれぞれの柱に固定します。

③根太がけの取付け

- 根太がけの水平を出し、タッピンネジで必ず躯体の木部に止めてください。

※根太がけと躯体面との間にすき間ができないように注意し、コーキング処理をします。

※躯体の下穴はコーキングを充てんします。

※連結タイプの場合は、根太がけの接続個所にすき間が出ぬよう注意し、コーキング処理をします。

④主柱と妻ばりの組立て

- 主柱にけた取付け金具を取り付け、妻ばりを固定します。

⑤中間柱への連結根太の取付け

- 中間柱にけた取付け金具及び連結根太取付け金具を取り付けます。次に、連結根太を差し込み、ボルトで固定します。

⑥妻ばり及び連結根太と根太がけの固定

- 妻ばり取付けアングルの固定ボルトを根太がけの切欠き部分より差し込みます。

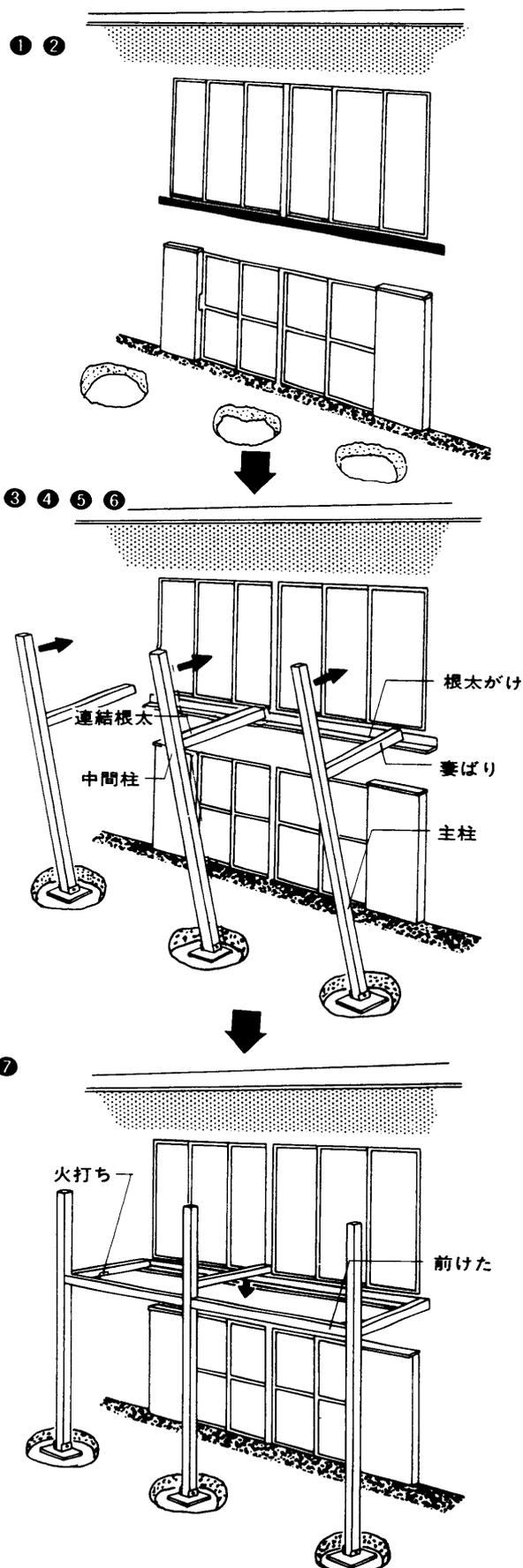
- 妻ばり・連結根太を、妻ばり取付けアングルに固定します。

- 妻ばりフレ止めアングルを躯体に六角タッピンネジで固定します。

⑦前けた及び火打ちの取付け

- 主柱・中間柱のけた取付け金具にけたをボルトで固定します。

- 火打ちをボルト・ナットで固定します。



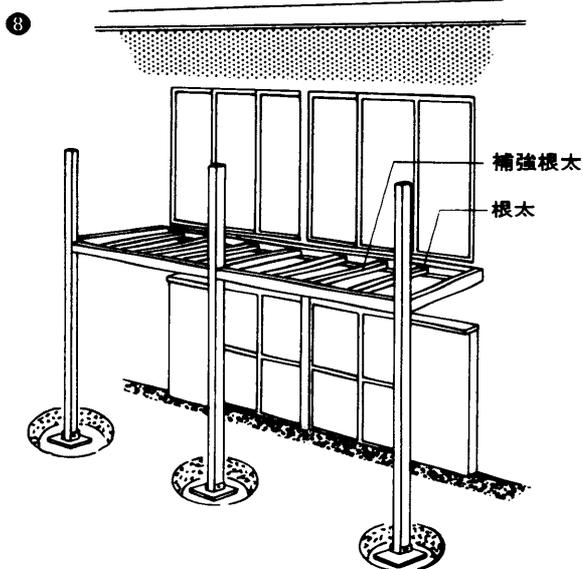
取付け順序（柱建て式）②

⑧根太の取付け

- あらかじめ、前けた・妻ばりに取り付けてあるボルトをタッピンネジの位置に合わせ、根太を根太固定当て板とナットで固定します。

※補強根太はけたの中央に取り付けます。（関西間・九州四国間の場合は、中央よりに取り付けます。）

- 前けた倒れ止めを前けた及び根太に固定します。



⑨雨どいの取付け

- 妻ばり及び、連結根太の柱側に穴加工をします。次に、雨どいアタッチメントを回転させて固定します。

- 支柱及び中間柱にトラス小ネジで雨どいでんでんを取り付けます。

- 現場の高さに合わせて縦といを切断し、アタッチメントの接合個所に接着剤を塗って差し込みます。

⑩デッキボード連結根太カバーの取付け

- デッキボードの柱に当たる部分を切り欠き、根太にタッピンネジで固定します。

※柱建て式用デッキボードは、向きがありますからご注意ください。

⑪けた（妻ばり）カバーの取付け

- 前けた（妻ばり）に、けたカバーをはめ込みます。

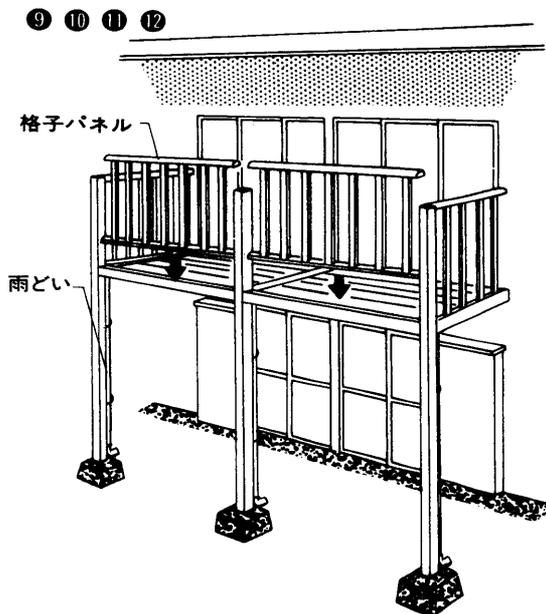
⑫笠木（格子パネル）の取付け

- 笠木両端に取り付けた笠木固定ブロックで柱へ固定します。（ボルト止め）

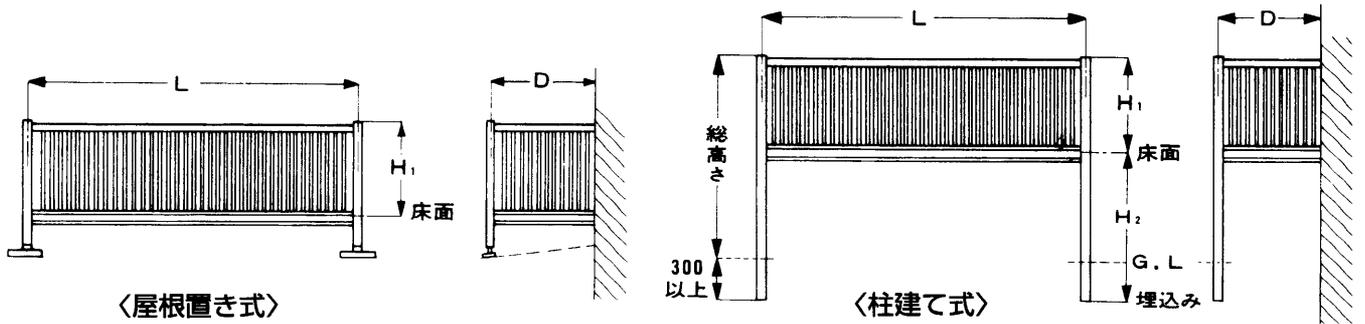
- 下胴縁はタッピンネジで固定します。

- 横笠木は、笠木躯体側取付けアングルをタッピンネジで固定します。

※躯体の下穴は、コーキングを充てんします。



形材切断寸法計算式



	コード	品名	1.0間	1.5間	2.0間	2.5間	3.0間
			1850(2050)(1945)	2755(3005)(2900)	3650(3960)(3855)	4605(5055)(4845)	5510(6010)(5800)
屋根置き式専用	X6(7)T01・02 BLX7T01・02	柱	H ₁ +396.5 2本			H ₁ +396.5 3本	
	X6(7)T23 BLX7T23	調整脚	(300) 2本			(300) 3本	
	X6(7)T24 BLX7T24	つか台受け	950以上 2本			950以上 3本	
	(P24)参照	デッキボード	L-20			$\frac{L-40}{2}$	
柱建て式専用	X6(7)T01・02 BLX7T01・02	柱	H ₁ +H ₂ +埋込み 各2本				
	X6(7)T16・17 BLX7T16・17	中間柱	-		H ₁ +H ₂ +埋込み 各1本		
屋根置き式・柱建て式共通部材	(P24)参照	デッキボード	L-20			$\frac{L-40}{2}$	
	X6(7)T03・04・05 BLX7T03・04・05	けた	L-70 1本			$\frac{L-140}{2}$ 2本	
	X6(7)T06 BLX7T06	妻ばり	D-35 2本				
	X6(7)T07・08 BLX7T07・08	前笠木	L-70 1本			$\frac{L-140}{2}$ 2本	
		横笠木	D-35 2本				
	X6(7)T09・10 BLX7T09・10	前上胴縁	L-71 1本			$\frac{L-142}{2}$ 2本	
		横上胴縁	D-36 2本				
	X6(7)T11・12 BLX7T11・12	前下胴縁	L-71 1本			$\frac{L-142}{2}$ 2本	
		横下胴縁	D-36 2本				
	X6(7)T13 BLX7T13	ストレート40格子	H ₁ -127.5 (977.5) …… () 内H ₁ =1105の場合				
	X6(7)T14	ストレート10格子	H ₁ -127.5 (977.5) …… () 内H ₁ =1105の場合				
	X6(7)T15	ストレート22格子	H ₁ -127.5 (977.5) …… () 内H ₁ =1105の場合				
	X6(7)T18 BLX7T18	根太がけ	L 1本			$\frac{L}{2}$ 2本	
	X6(7)T19 BLX7T19	けたカバー	L-71 1本			$\frac{L-142}{2}$ 2本	
		妻ばりカバー	D-36 2本				
X6(7)T20 BLX7T20	根太(3・4尺用)	D+3 3本	D+3 5本	D+3 7本	D+3 8本	D+3 10本	
X6(7)T21 BLX7T21	根太(5・6尺用)	D+3 3本	D+3 5本	D+3 7本	D+3 8本	D+3 10本	
X6(7)T22 BLX7T22	連結根太(カバー付き)	-				D-42 (D-36) 各1本	

※D寸法の決め方……当社のデッキボードが基準になります。

計算式……… D=300n-15 (n=デッキボードの枚数)

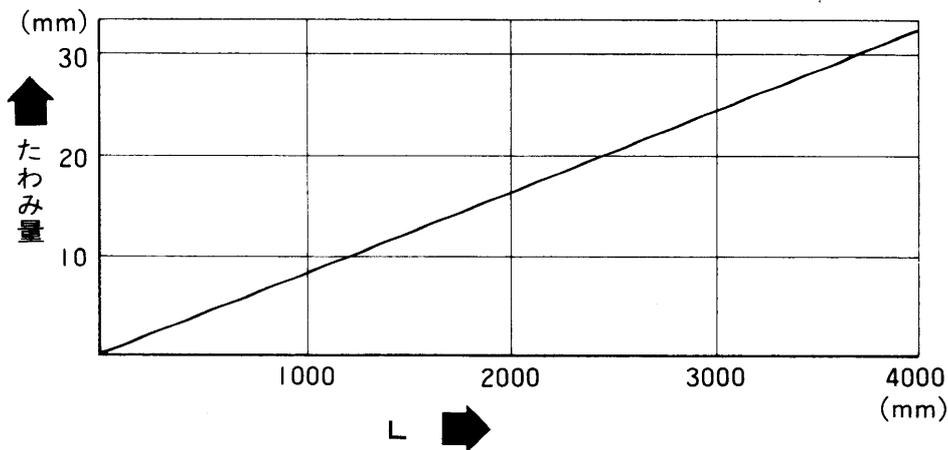
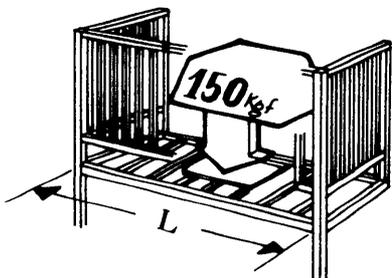
参考表

n	2枚	3枚	4枚	5枚	6枚
D寸法	585mm	885mm	1185mm	1485mm	1785mm

強度表及び根太の間隔について

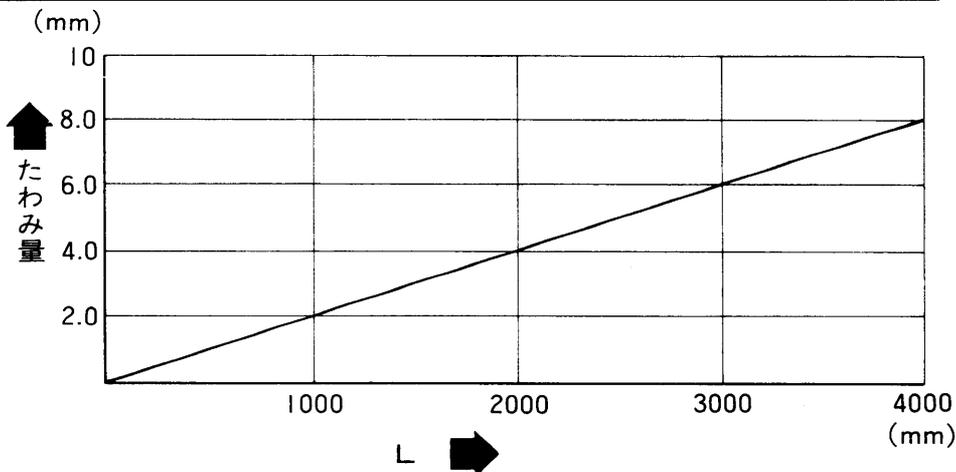
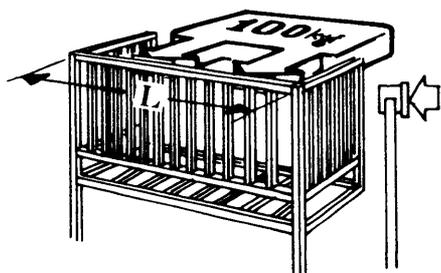
■根太の強度 (JIS規格による、たわみ量)

バルコニーの床面中央部の根太に、鉛直荷重 (150kgf) を静かに5分間かけたときの、たわみ $L/500$ 以下で表します。



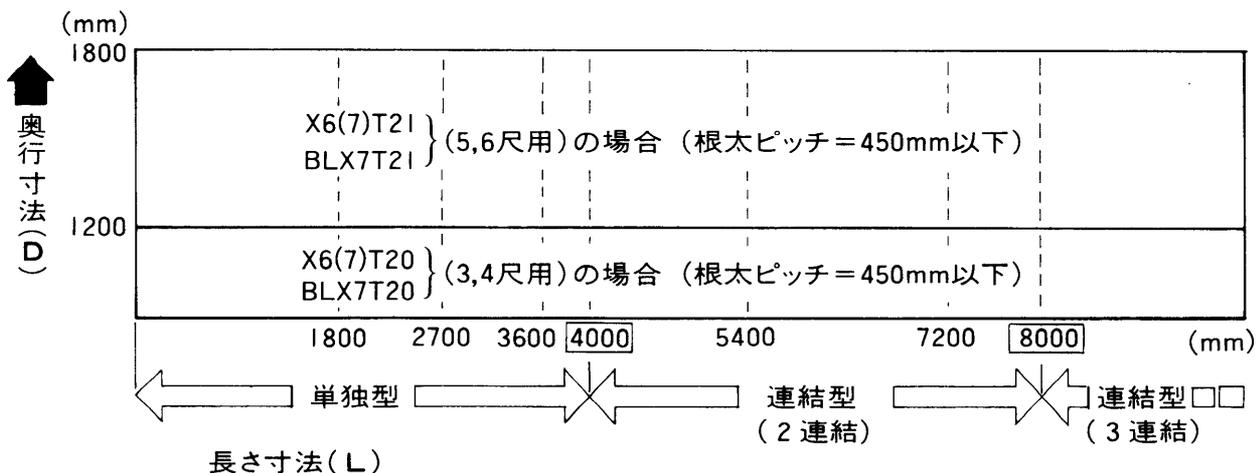
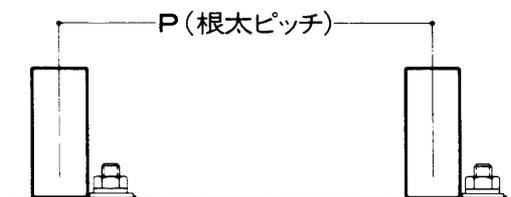
■笠木の強度 (JIS規格による、たわみ量)

笠木に水平荷重 (100kgf) を、バルコニー内側から静かに5分間かけた時の、たわみ量 $L/120$ 以下で表します。



■根太の仕様

根太の仕様は、出幅によって変わります。下表の仕様範囲で設計してください。

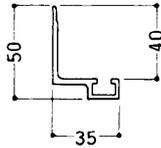


根太がけ・根太・連結根太（根太カバー）の加工

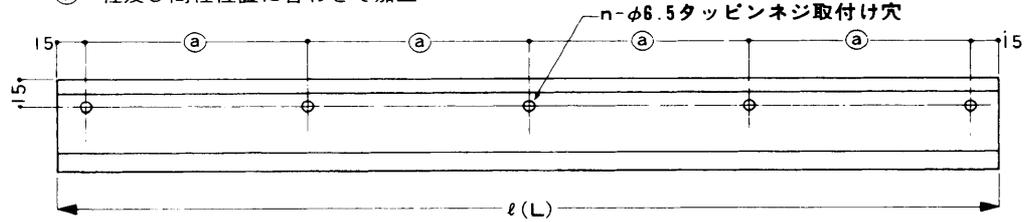
■屋根置き式・柱建て式共通です。

●根太がけ

X6 (7) T18
BLX7T18



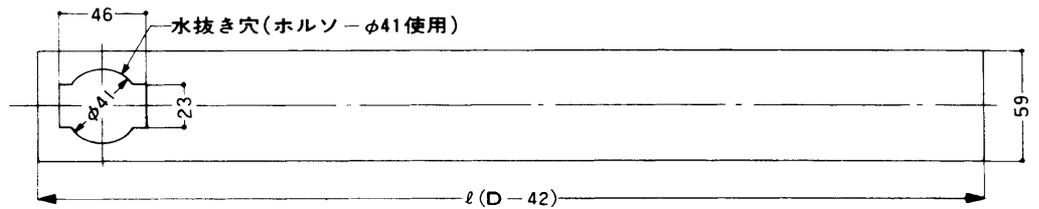
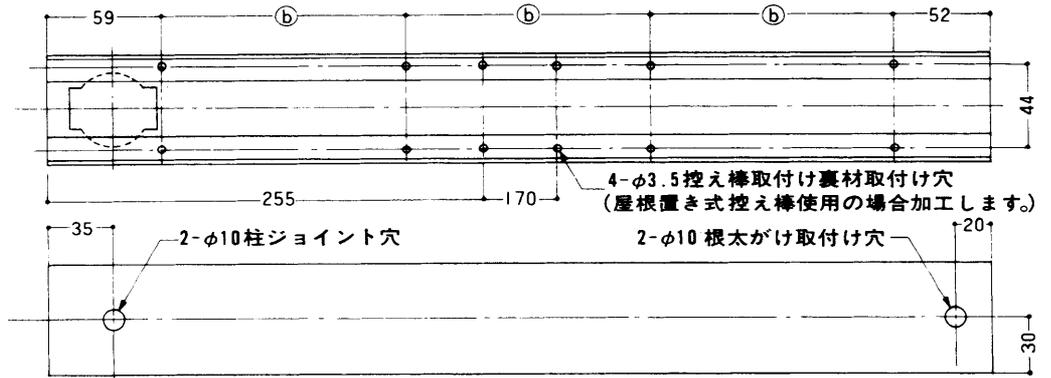
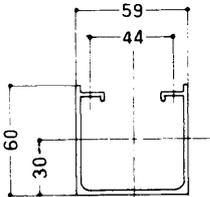
①…柱及び間柱位置に合わせて加工



●連結根太

X6 (7) T22
BLX7T2

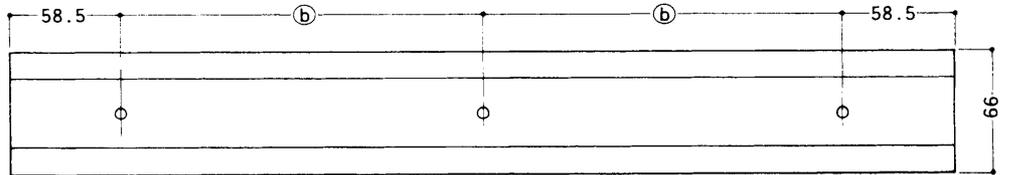
(400 ≤ ℓ ≤ 600で加工してください)



●連結根太カバー

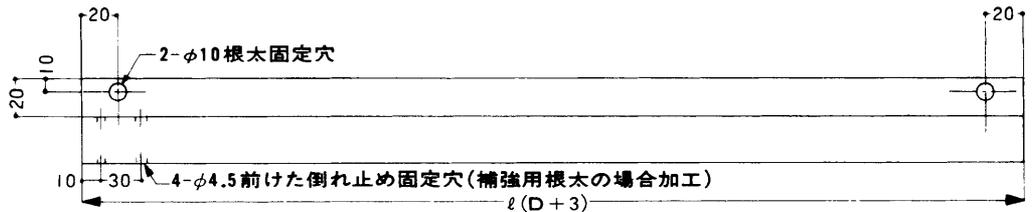
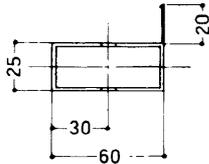


②…連結根太カバー固定金具のピッチに合わせて加工してください



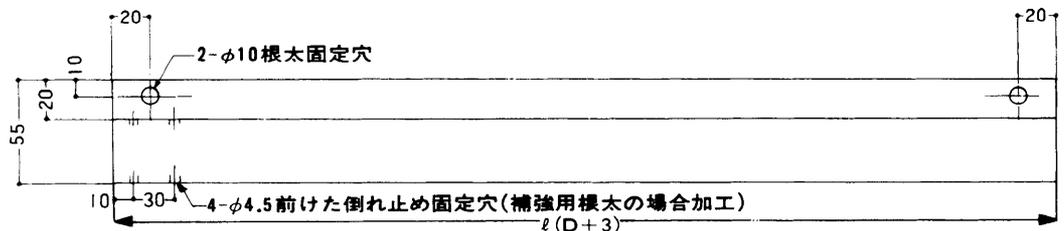
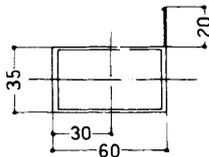
●根太 (3・4尺用)

X6 (7) T20



●根太 (5・6尺用)

X6 (7) T21

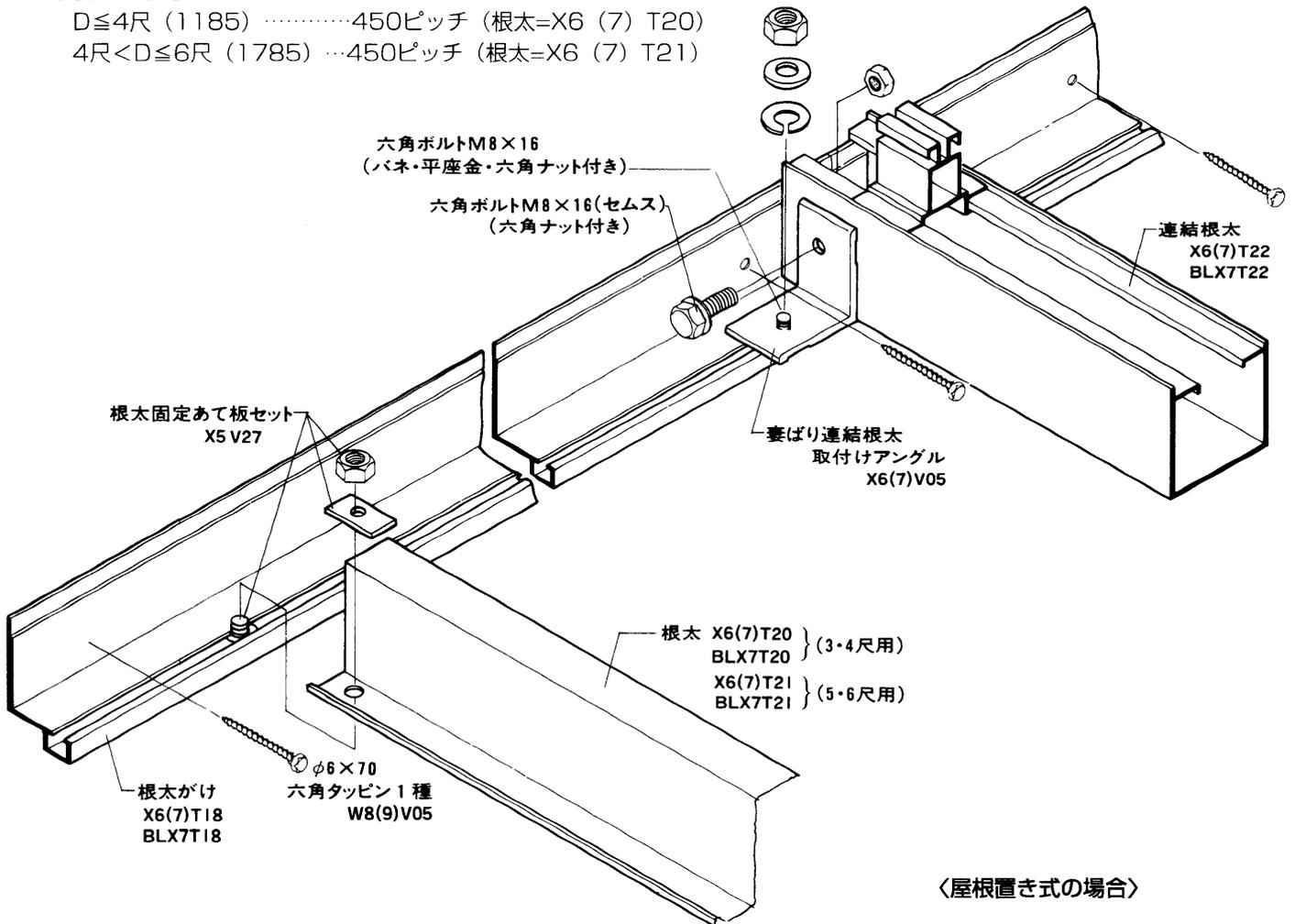


根太がけ・根太・連結根太（根太カバー）の組立てと取付け

■屋根置き式・柱建て式共通です。

●根太の取付けピッチ

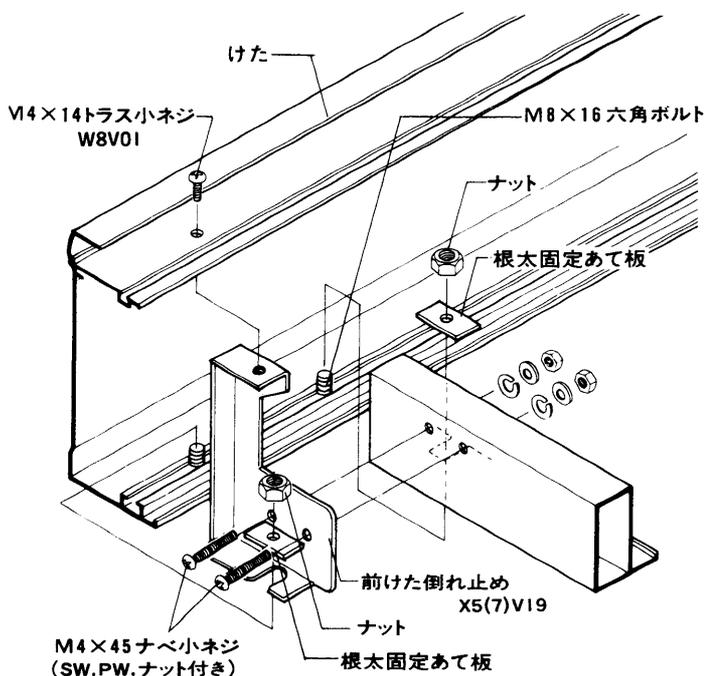
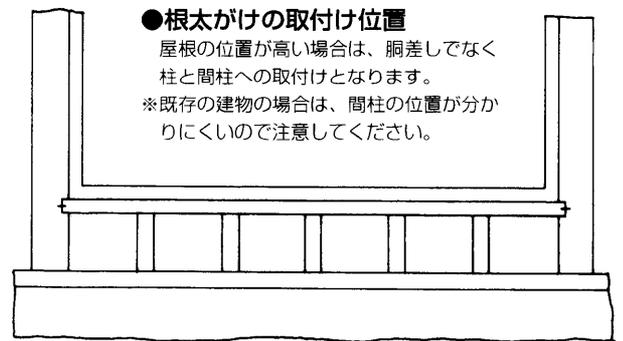
D ≤ 4尺 (1185) ……450ピッチ (根太=X6 (7) T20)
 4尺 < D ≤ 6尺 (1785) ……450ピッチ (根太=X6 (7) T21)



〈屋根置き式の場合〉

●根太がけの取付け位置

屋根の位置が高い場合は、胴差ではなく柱と間柱への取付けとなります。
 ※既存の建物の場合は、間柱の位置が分かりにくいので注意してください。

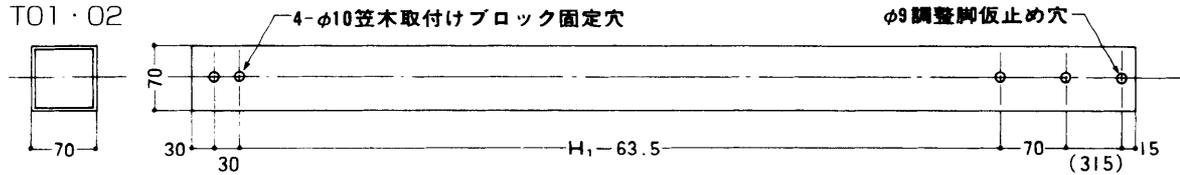


※取付けのポイントは、建築物との接続の仕方です。長期の使用に耐えられるよう、十分考慮して取り付けてください。

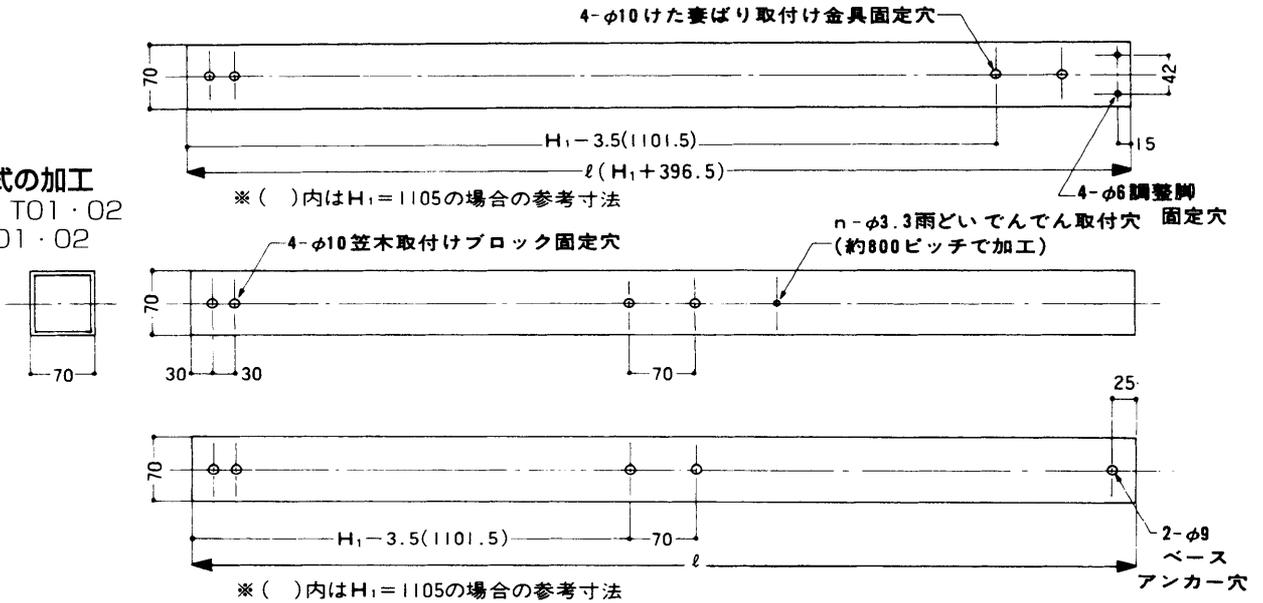
柱の加工

■ 主柱の加工

● 屋根置き式の加工 X6 (7) T01・02 BLX7T

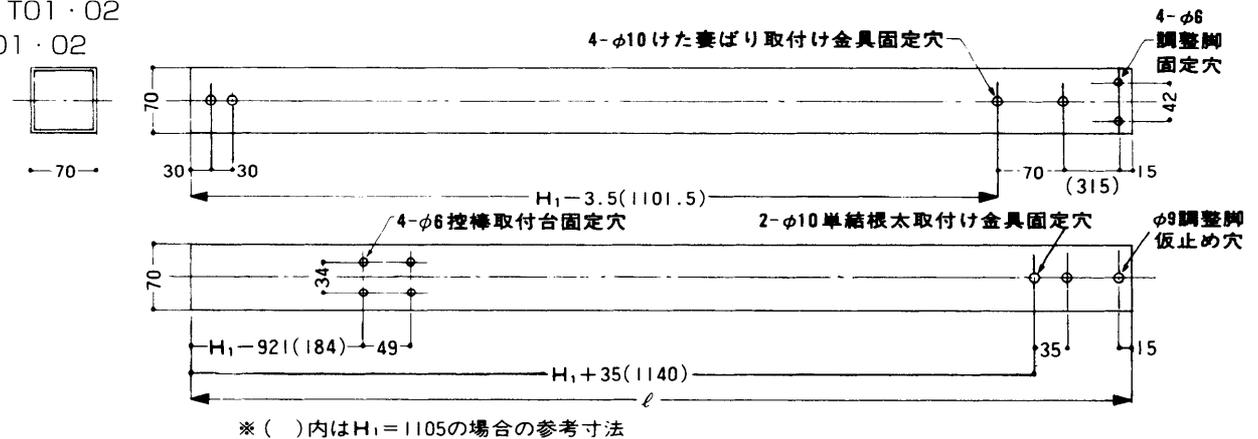


● 柱建て式の加工 X6 (7) T01・02 BLX7T01・02

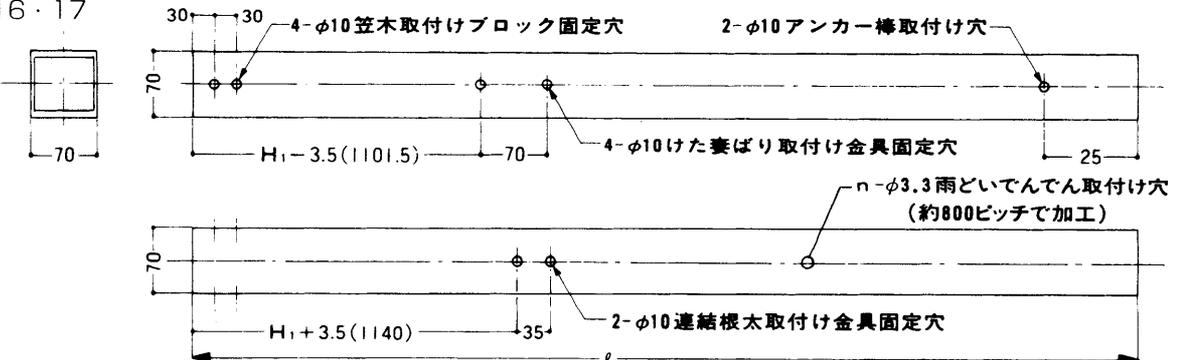


■ 中間柱の加工

● 屋根置き式の場合 X6 (7) T01・02 BLX7T01・02



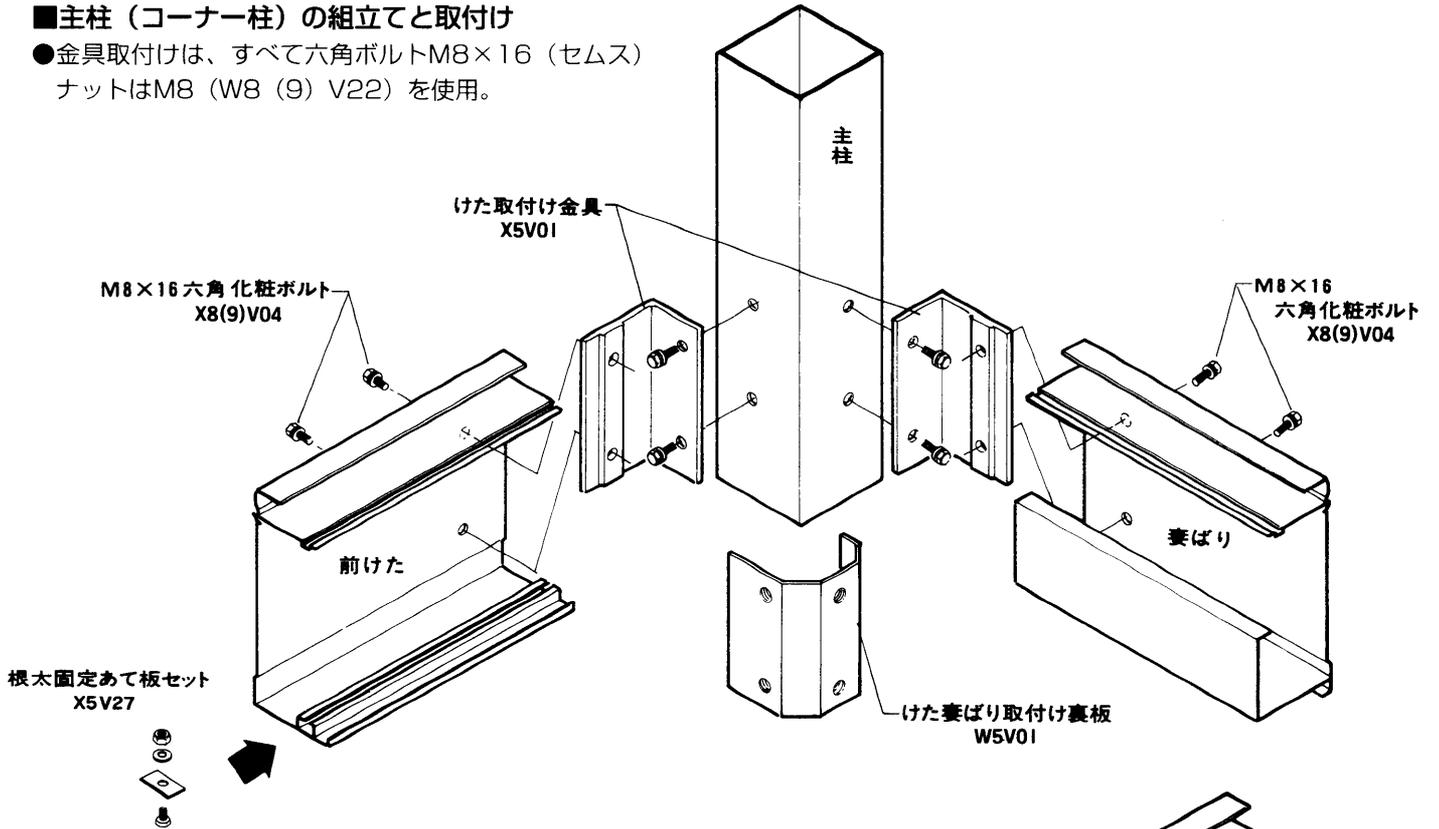
● 柱建て式の加工 X6 (7) T16・17 BLX7T16・17



柱の組立てと取付け

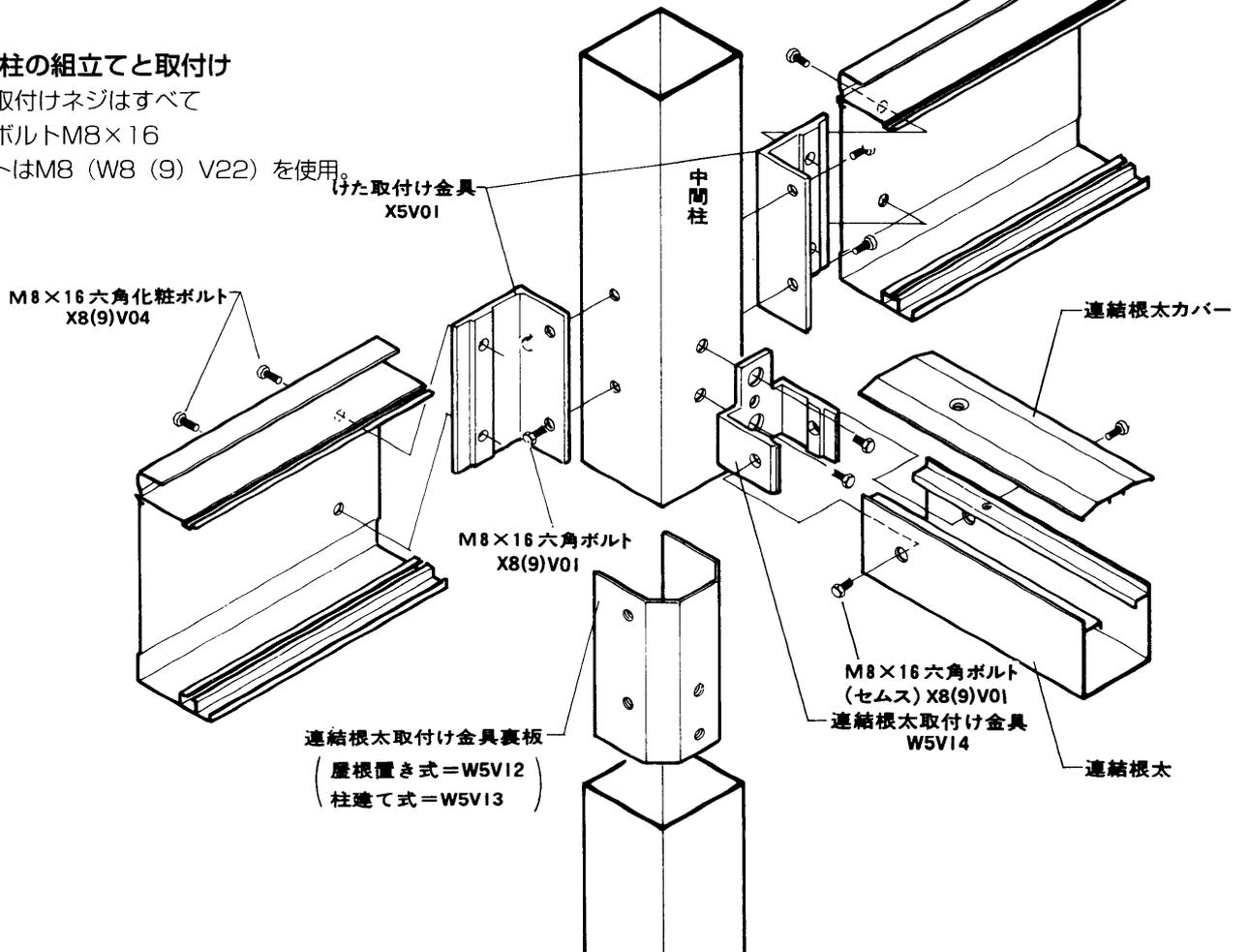
■主柱（コーナー柱）の組立てと取付け

- 金具取付けは、すべて六角ボルトM8×16（セムス）ナットはM8（W8（9）V22）を使用。



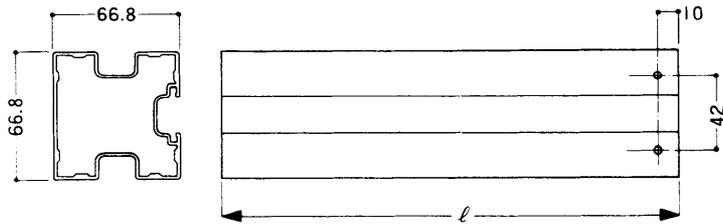
■中間柱の組立てと取付け

- 金具取付けネジはすべて六角ボルトM8×16 ナットはM8（W8（9）V22）を使用。

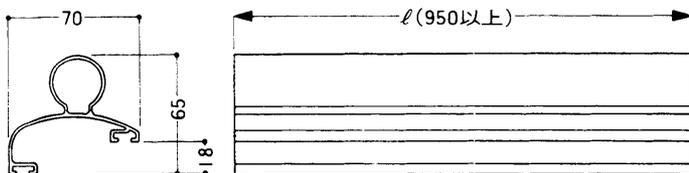


調整脚の加工と取付け

■調整脚 X6 (7) T23 BLX7T23



■つか台受け X6 (7) T24 BLX7T24



●調整脚の切断寸法 () は、現場寸法+100mm以上にしてください。

●調整脚につか台を固定します。

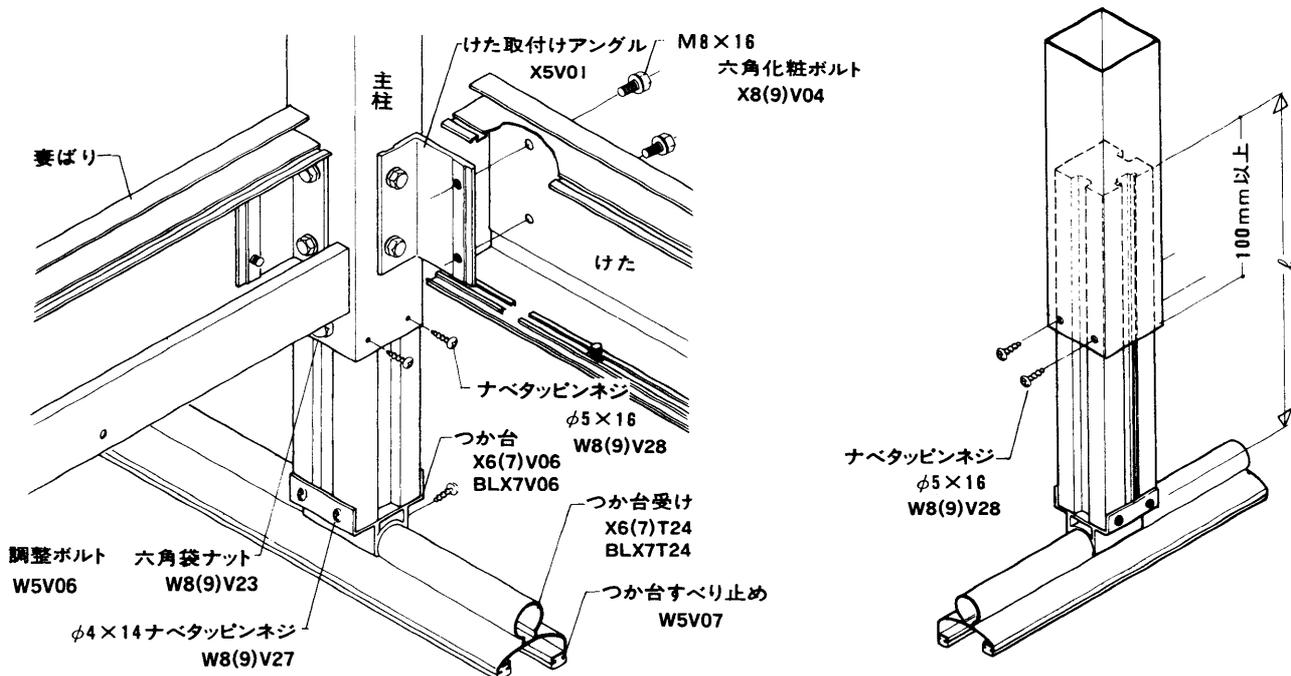
●主柱の内側から通した調整ボルトを調整脚の溝にスライドさせて差し込みます。

●つか台受けは、すべり止めをつけてから、つか台に差し込みます。

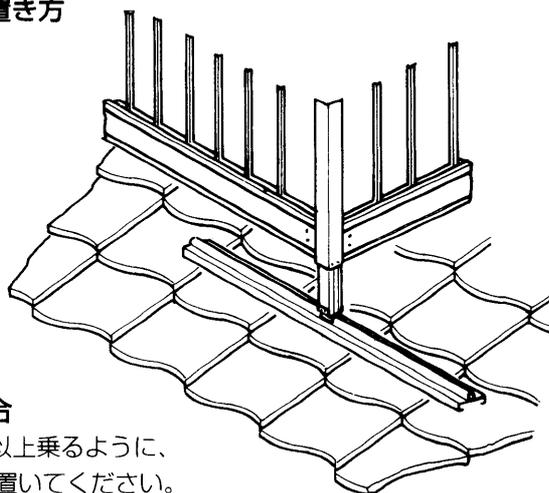
●けた及び妻ばりの水平を出し、調整脚と主柱を袋ナットで仮止めします。

●全体の調整を終えたのち、調整脚及びつか台受けにφ4.3の穴をあけ、タッピンネジで固定します。

■取付け詳細図

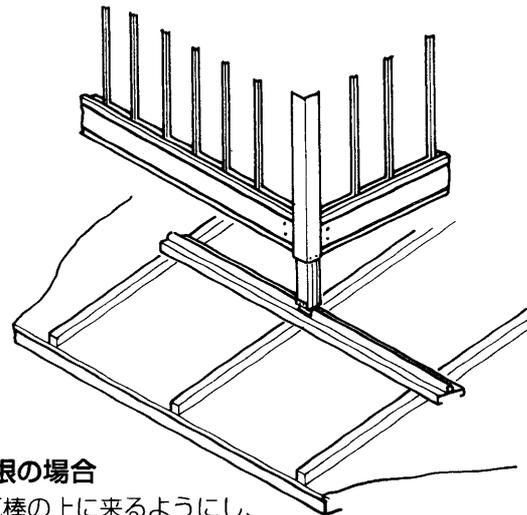


つか台受けの置き方



●瓦屋根の場合

瓦の山に3山以上乗るように、つか台受けを置いてください。瓦の谷の部分は割れやすいので、足で踏んだり、荷重をかけたりしないでください。



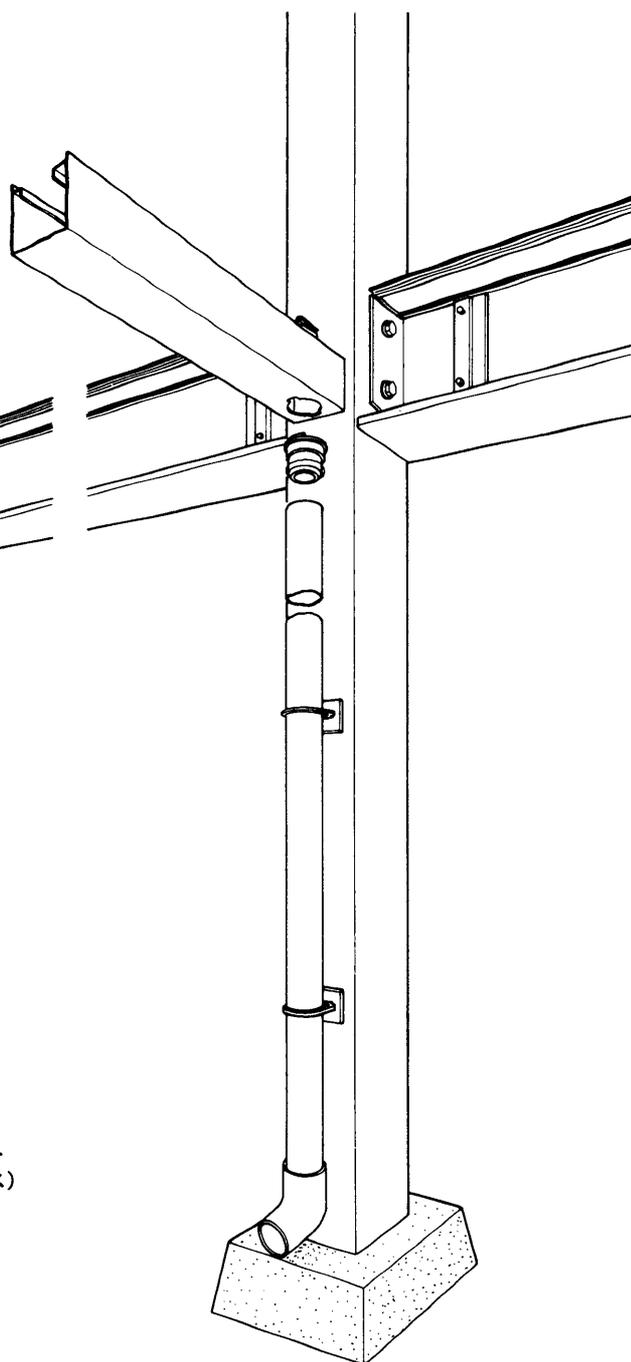
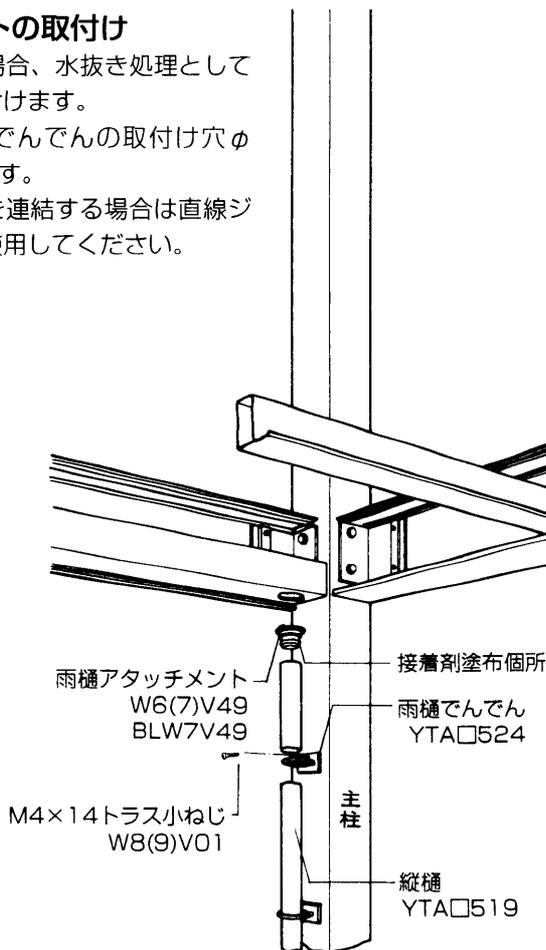
●瓦棒屋根の場合

つかは瓦棒の上に来るようにし、つか台受けは、瓦棒3本以上にまたがるようにします。

雨樋と火打ちの取付け

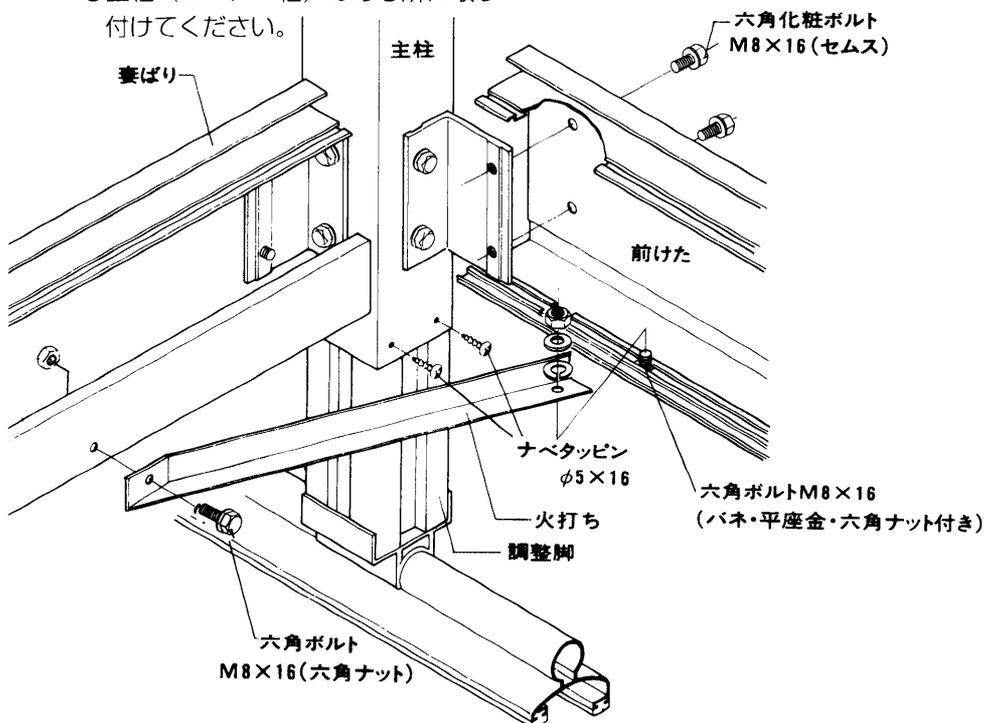
■雨樋セットの取付け

- 柱建て式の場合、水抜き処理として雨樋を取り付けます。
- 主柱に雨樋でんでんの取付け穴φ3.3をあけます。
- 縦樋と縦樋を連結する場合は直線ジョイナーを使用してください。



■火打ちセットの取付け

- 屋根置き式も柱建て式も、火打ち部品セットは共通です。
- 主柱（コーナー柱）のある所に取り付けてください。



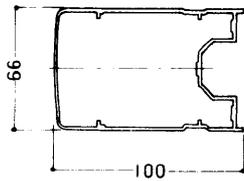
格子部の加工

■屋根置き式・柱建て式共通です。

(500 ≤ C ≤ 700 で加工してください)

●前笠木 X6 (7) T07・08 BLX7T07・08

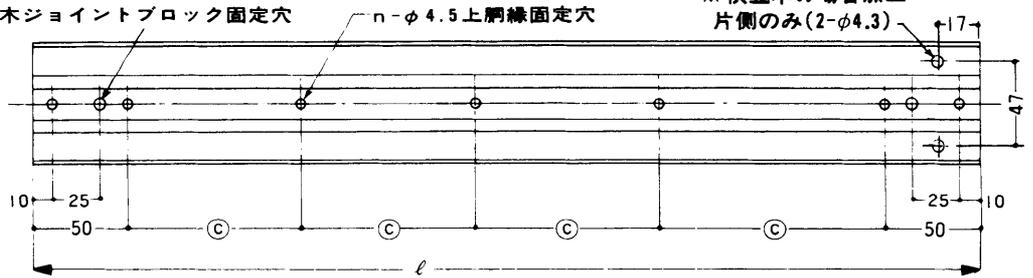
●横笠木



4-φ6笠木ジョイントブロック固定穴

n-φ4.5上胴縁固定穴

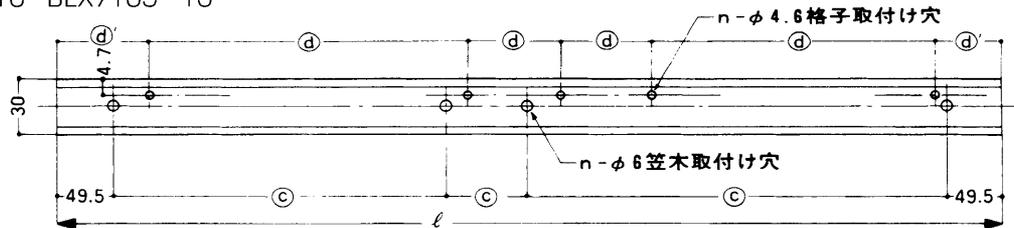
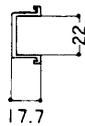
※横笠木の場合加工片側のみ(2-φ4.3)



(前笠木 L-70)
横笠木 D-35)

●前上胴縁 X6 (7) T09・10 BLX7T09・10

●横上胴縁

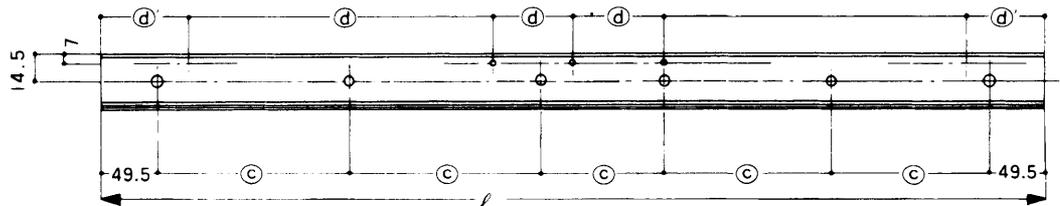
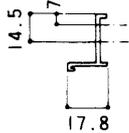


(前上胴縁 L-71)
横上胴縁 D-36)

●前上胴縁 X6 (7) T11・12 BLX7T11・12

●横上胴縁

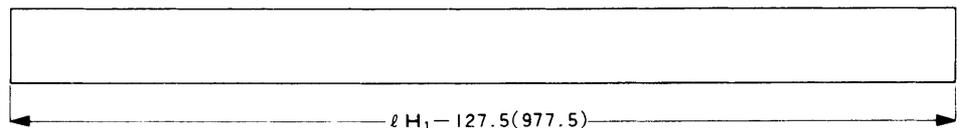
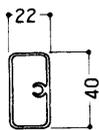
(500 ≤ C ≤ 700 で加工してください)



(前下胴縁 L-71)
横下胴縁 D-36)

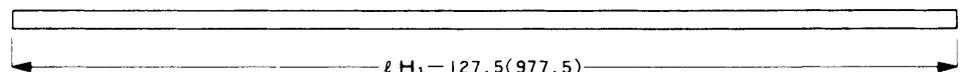
※ d 寸法について ストレート40の場合 d ≤ 149 ……規格品の d = 149
 ストレート22の場合 d ≤ 131 ……規格品の d = 130
 ストレート10の場合 d ≤ 119 ……規格品の d = 64

●格子 (ストレート40) X6 (7) T13 BLX7T13



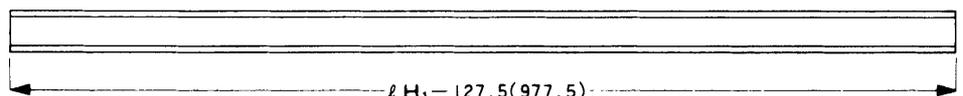
※ ()内は H1 = 1105 の場合の参考寸法

●格子 (ストレート10) X6 (7) T14



※ ()内は H1 = 1105 の場合の参考寸法

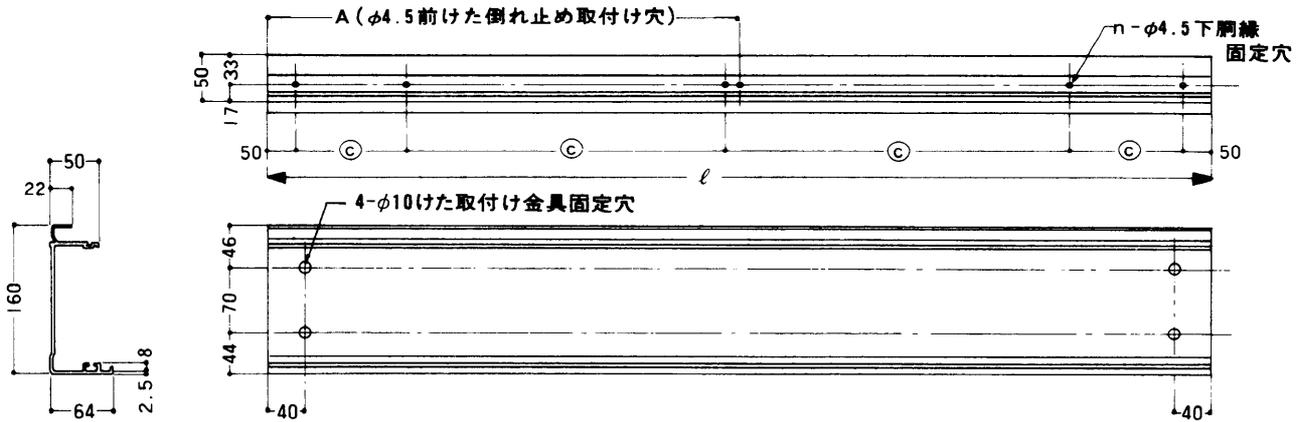
●格子 (ストレート22) X6 (7) T15



※ ()内は H1 = 1105 の場合の参考寸法

けた・妻ばり, けた・妻ばりカバーの加工

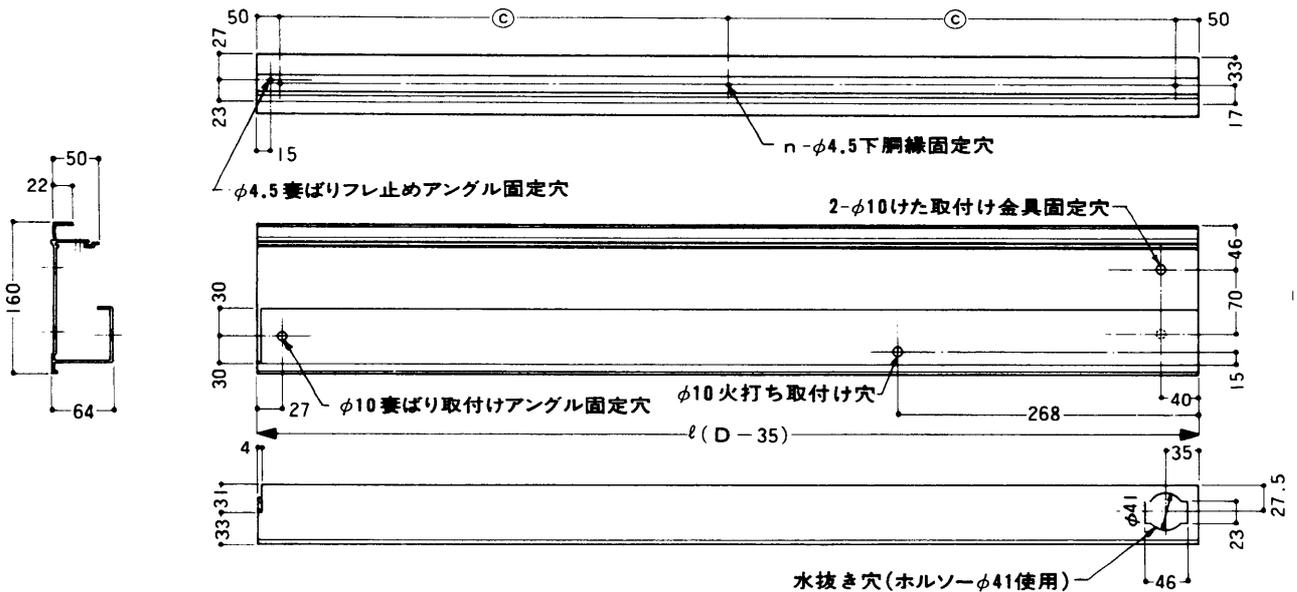
- けた** X6 (7) T03・04・05 (500≦ ϕ ≦700で加工してください。)
BLX7 T03・04・05



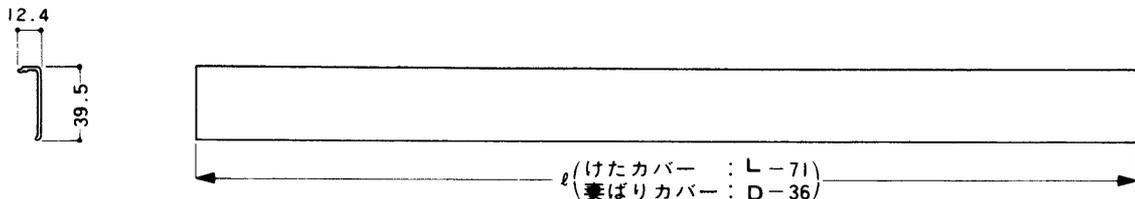
(参考)

※ A 寸法		
関東間	1.0間 (1850)867.5
	1.5間 (2755)1320
	2.0間 (3650)1767.5
関西間	1.0間 (2050)747.5
	1.5間 (3005)1225
	2.0間 (3960)1702.5
九州四国間	1.0間 (1945)915
	1.5間 (2900)1172.5
	2.0間 (3855)1650

- 妻ばり** X6 (7) T06 (500≦ ϕ ≦700で加工してください。)
BLX7 T06



- けた・妻ばりカバー** X6 (7) T19
BLX7 T19



格子部の組立てと取付け

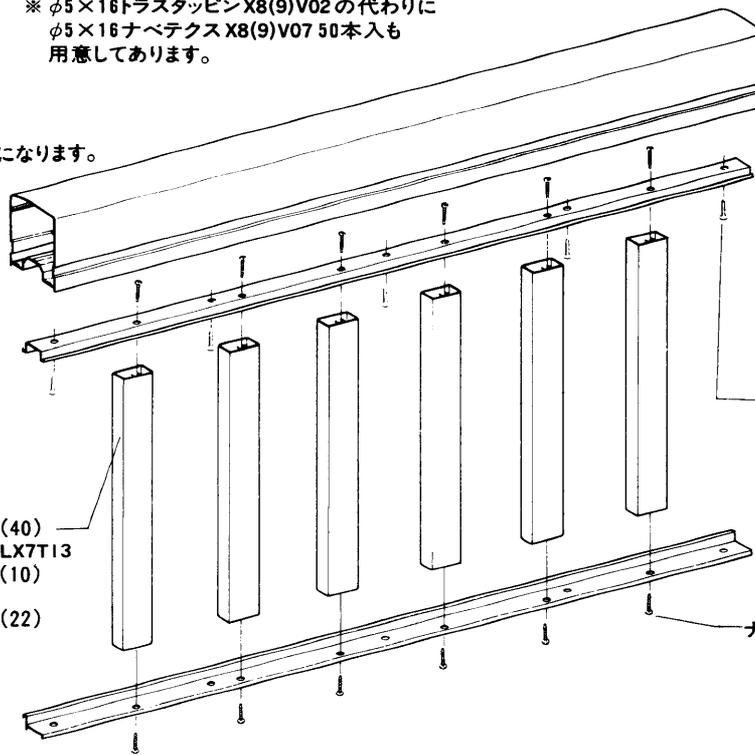
■格子部の組立て

※ $\phi 5 \times 16$ トラスタッピン X8(9)V02 の代わりに
 $\phi 5 \times 16$ ナベテクス X8(9)V07 50本入も
 用意しております。

長尺材の場合、格子は
 ビスホール付きの形材になります。

笠木ジョイントブロック
 X5V03
 M5×12 トラ小ネジ
 X8(9)V03

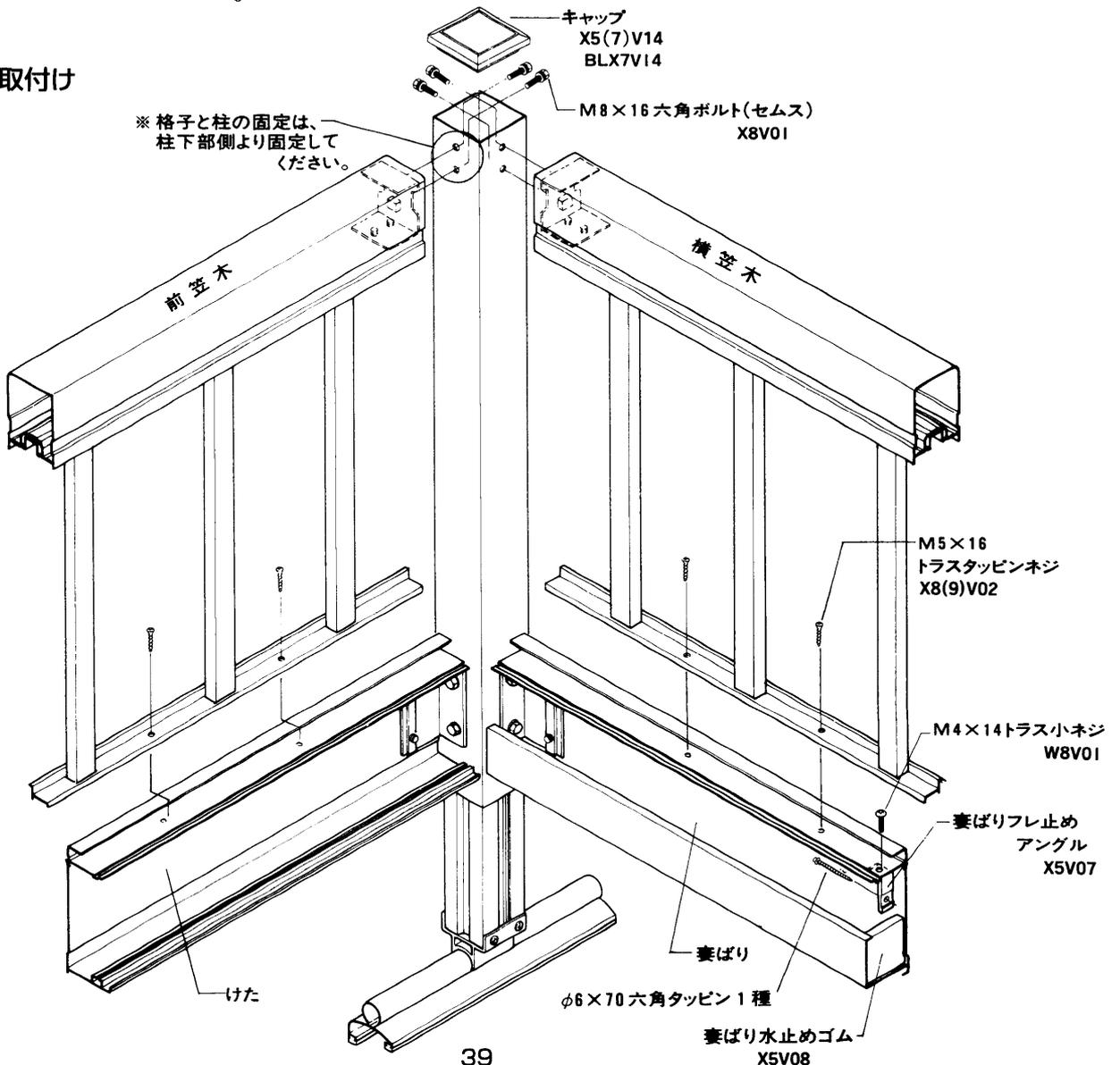
- 格子
- 格子ストレート(40)
 X6(7)T13 BLX7T13
 - 格子ストレート(10)
 X6(7)T14
 - 格子ストレート(22)
 X6(7)T15



[前笠木の場合]
 笠木ジョイントブロック
 X5V03
 [横笠木の場合]
 笠木編体取付け
 アングル X6(7)V13
 BLX7V13
 ナベタッピンネジ
 $\phi 5 \times 16$ (1種)
 W8(9)V28
 M5×16 トラスタッピン (1種)
 X8(9)V02
 ナベタッピンネジ (2種) $\phi 4 \times 20$
 W8V07

■格子部の取付け

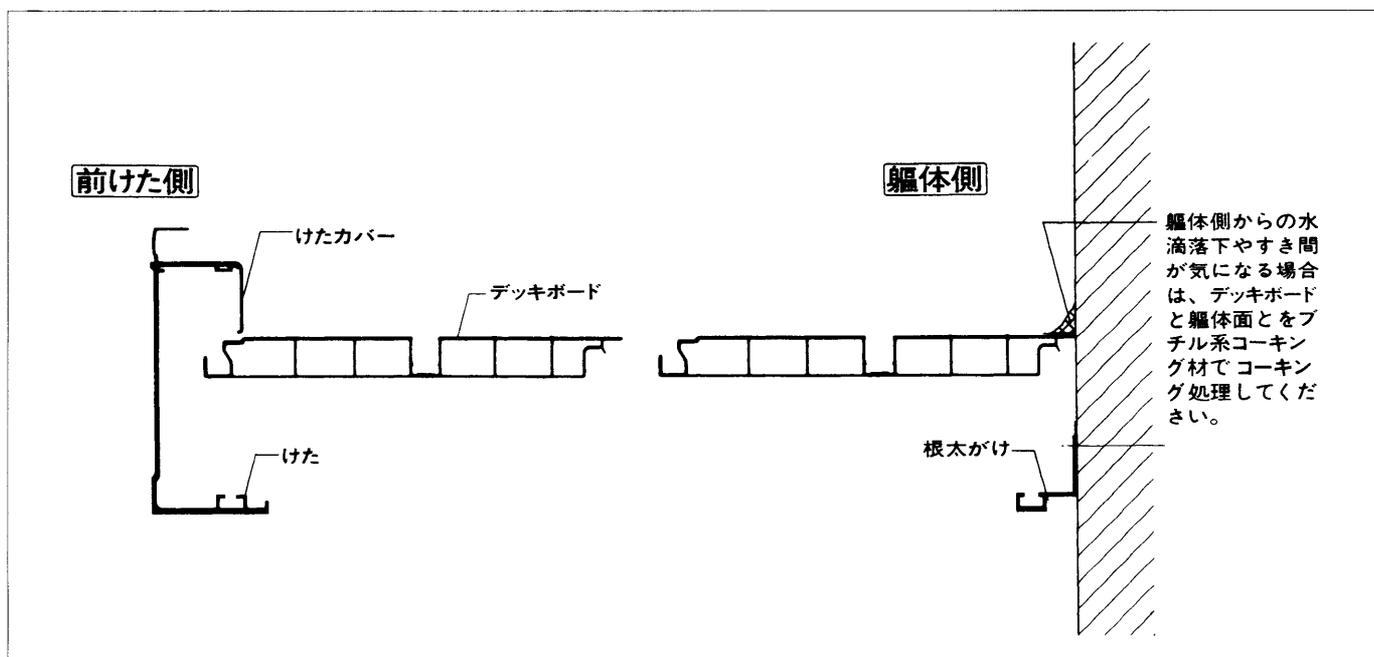
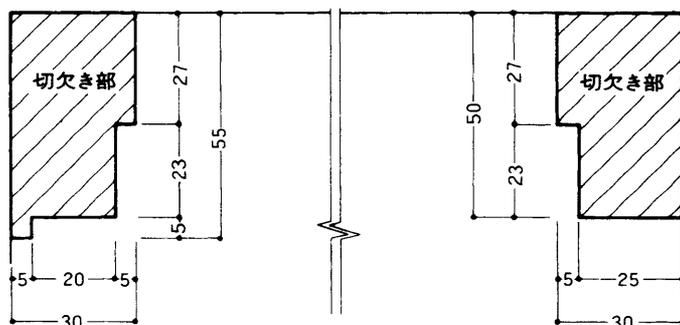
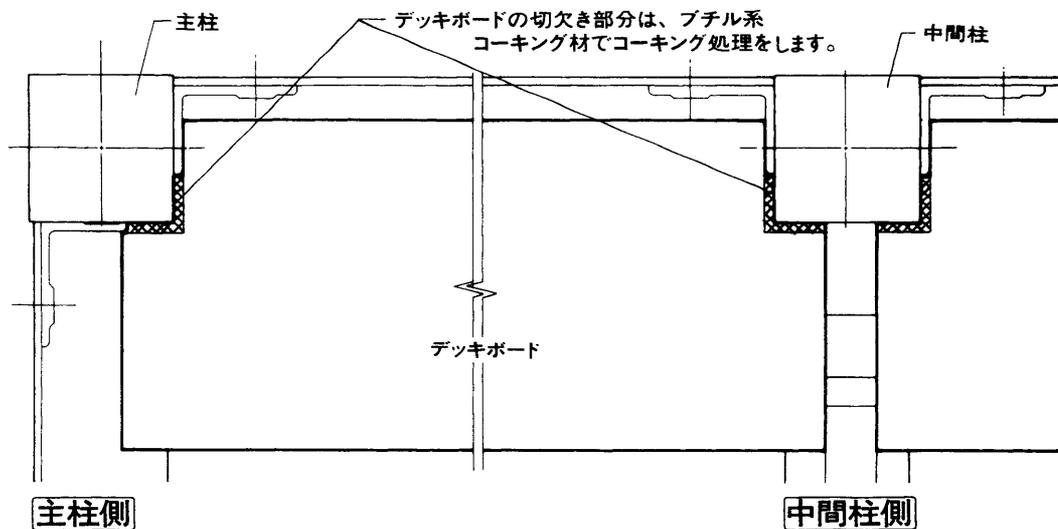
※ 格子と柱の固定は、
 柱下部側より固定して
 ください。



デッキボードの加工

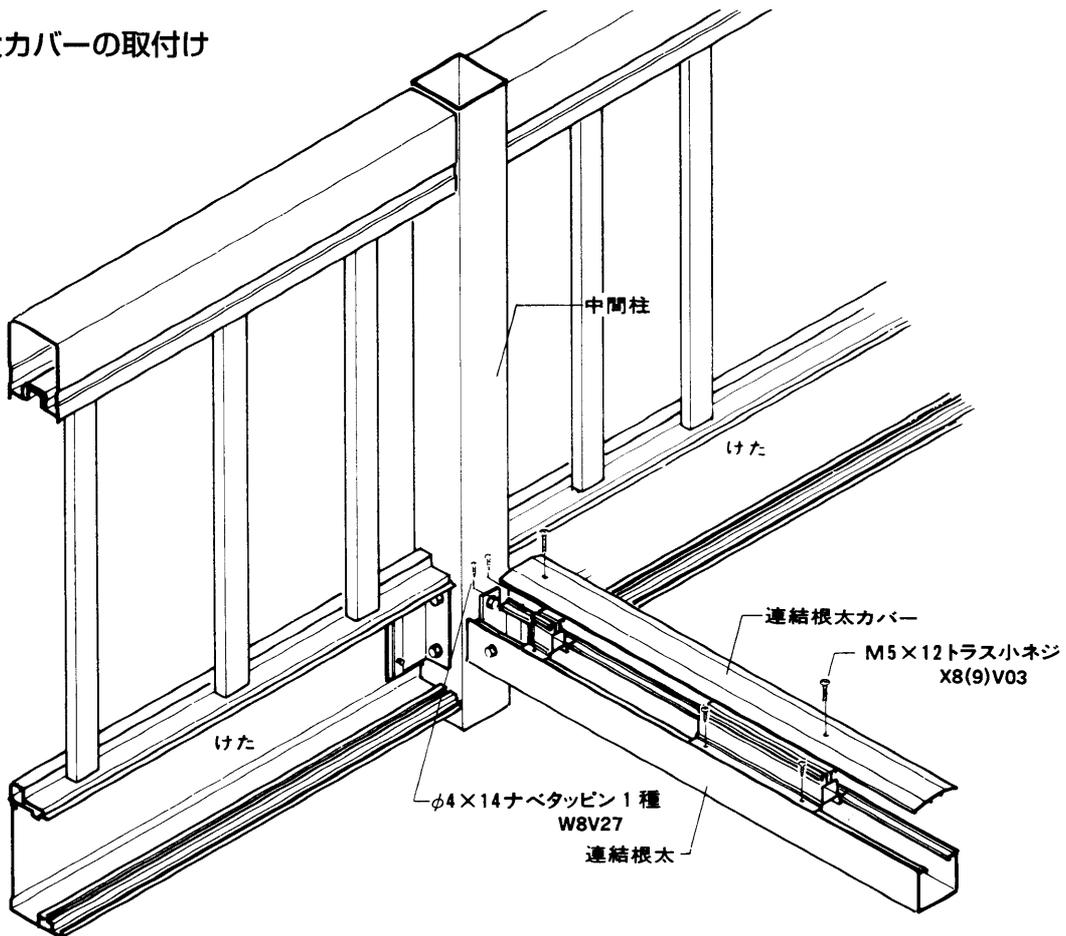
■前面の主柱及び中間柱に当たる部分のデッキボードは現場で下記寸法に切り欠きます。

(屋根置き式・柱建て式とも共通です。)

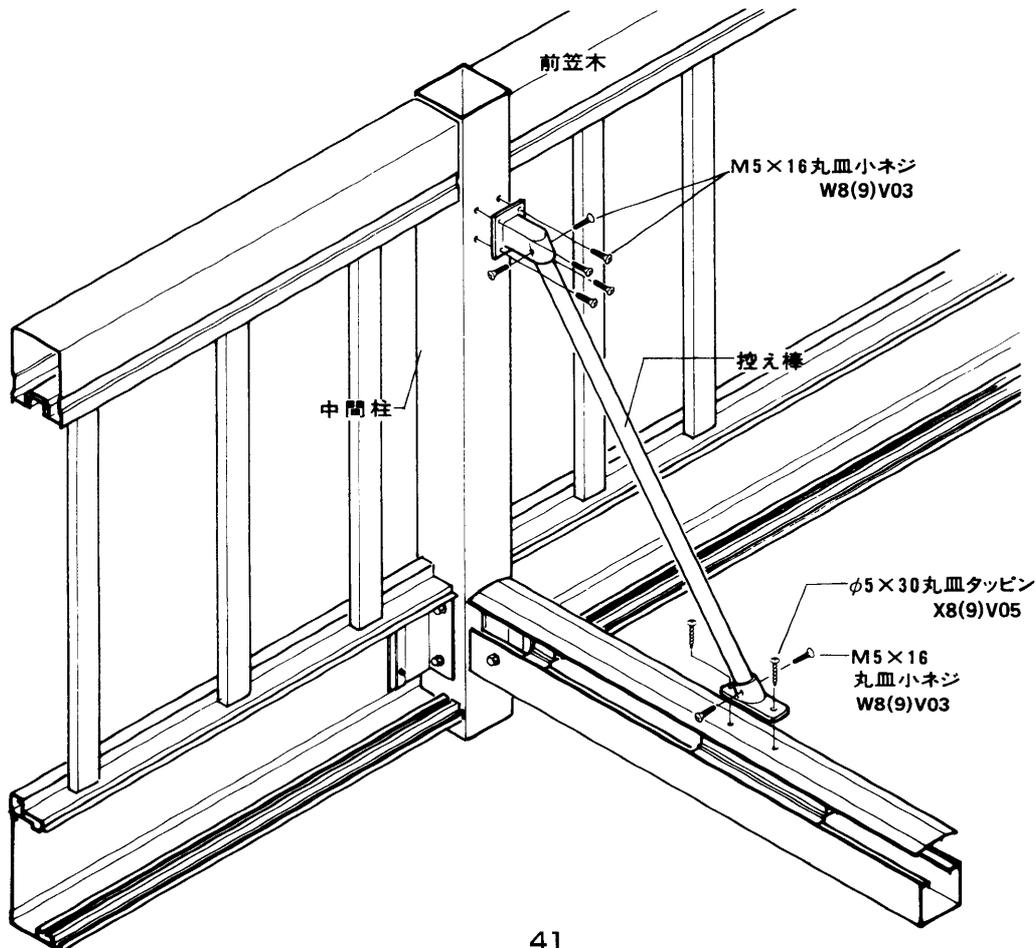


連結根太カバーと控え棒の取付け

■連結根太カバーの取付け



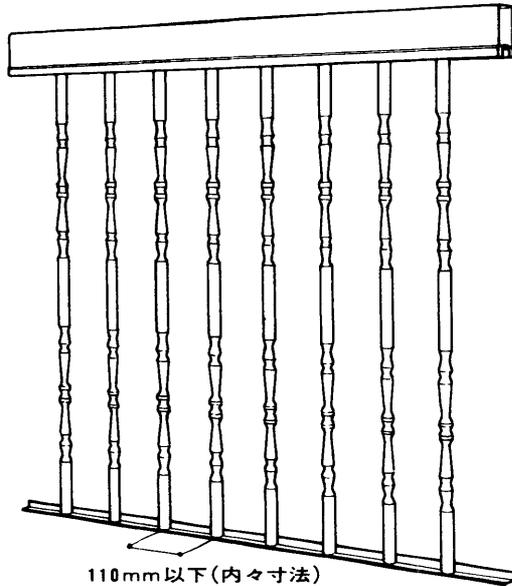
■控え棒の取付け ●屋根置き式の場合中間柱に必ず取付けます。



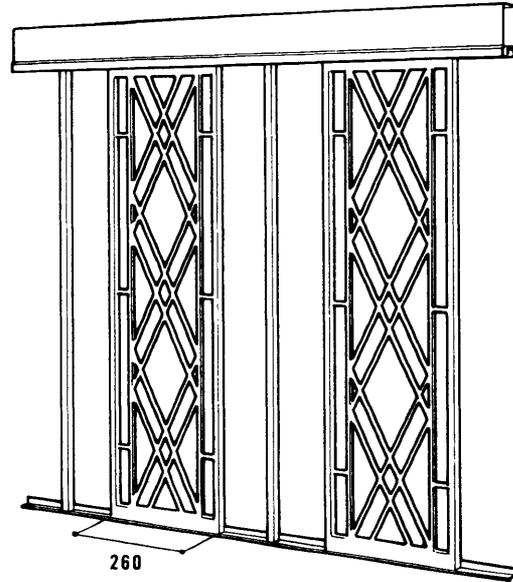
バラエティー格子使用時の上下胴縁の加工

■ 図

〈しぼり格子〉



〈鋳物〉



※上・下胴縁の加工は、格子の種類によって変わります。

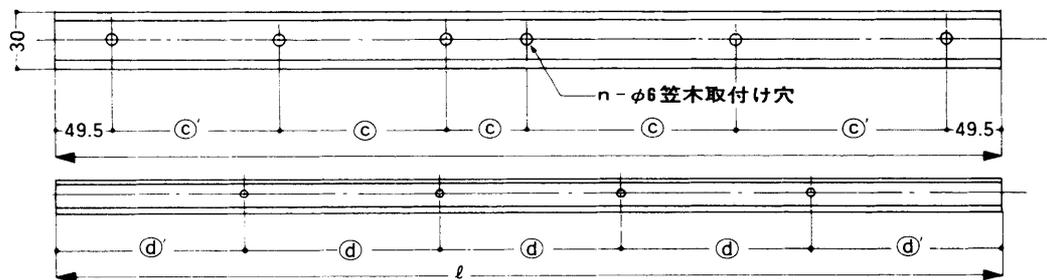
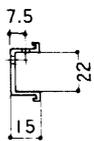
- しぼり格子を使用する場合は、下記加工図を参考にして加工してください。
- 鋳物パネルの取付け穴は加工されています。上下胴縁は、取付け穴ピッチ (260mm) を基準に加工してください。その他は格子の加工と同じです。

●屋根置き式・柱建て式共通加工です。

※しぼり格子の固定は、POPリベットNo. 52 (X8V06) を使用します。その際、組立て工具として、POPリベット用ツール M400 (金物店で購入可) を使用してください。

●前上胴縁

●横上胴縁

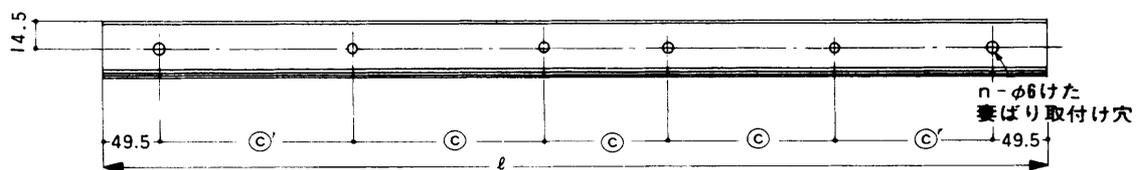
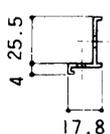
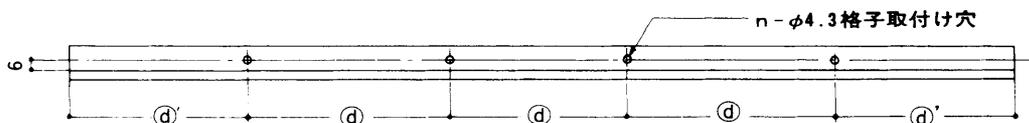


(前上胴縁 = L-71)
(横上胴縁 = D-36)

500 ≤ c ≤ 700 で加工してください。 d ≤ 130 で加工してください。

●前下胴縁

●横下胴縁



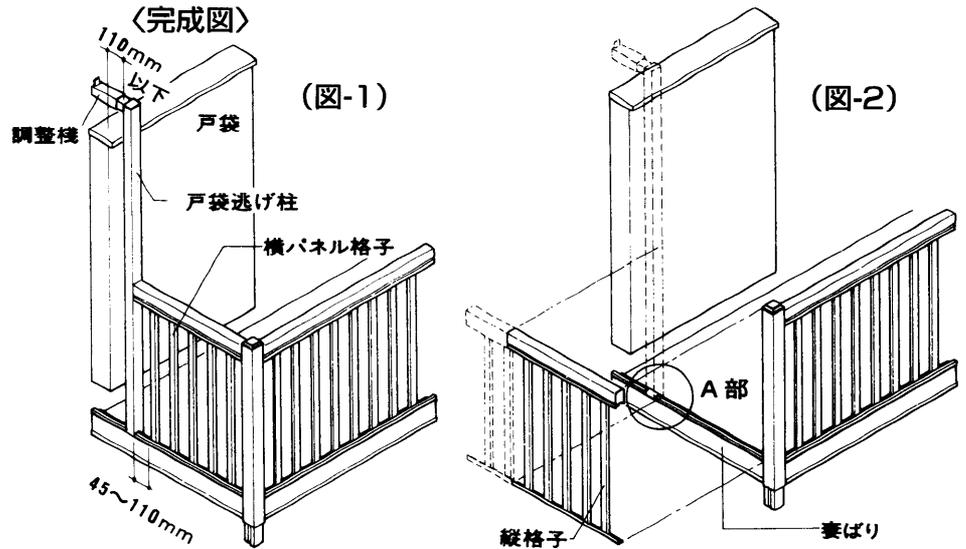
(前下胴縁 = L-71)
(横下胴縁 = D-36)

戸袋のある場合の加工と取付け①

(お願い) 戸袋の出幅によって加工寸法が異なります。必ず現場の寸法を確認した後、加工してください。

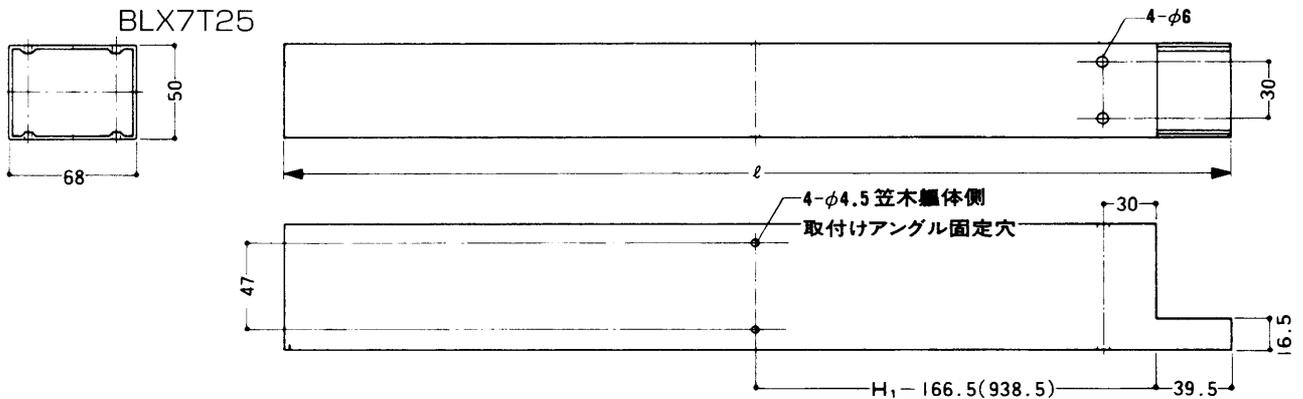
戸袋逃げ柱の取付け位置の確認と調整

- 戸袋逃げ柱と戸袋面までのアキは、安全上の点から110mm以下にします。(図-1)
- 戸袋逃げ柱と横パネル格子までのアキが45mm~110mmになるように調整してください。(図-1)



部材の加工

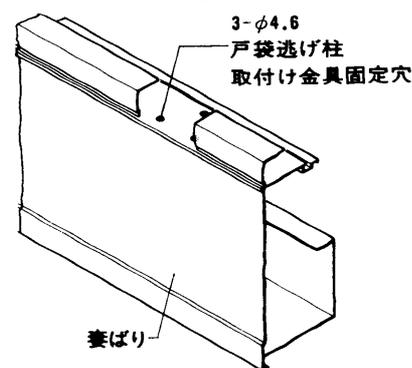
- 戸袋逃げ柱 X6(7)T25
BLX7T25



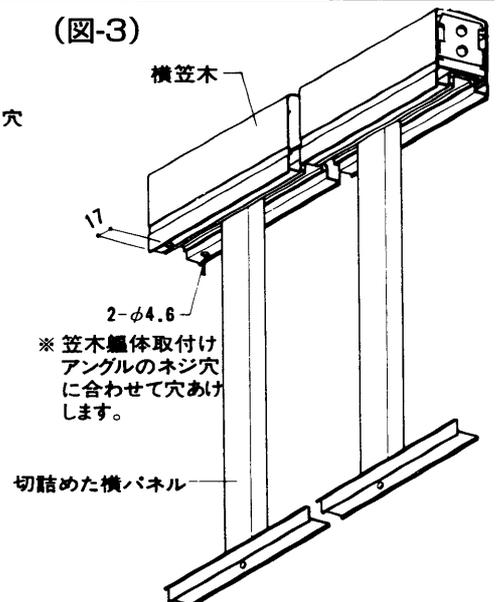
組立てと取付け

- ① 戸袋逃げ柱の取付け位置に合わせ、横笠木及びパネルを切り詰めます。(図-2)
- ② 切断した横笠木の端より17mmの位置に笠木取付けアングルの固定穴(φ4.6)をあけます。(図-3)
戸袋逃げ柱の取付け位置に(図-2)〈A部詳細図〉の加工をします。

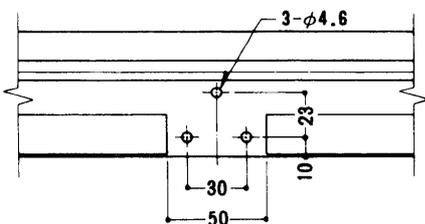
(図-2) 〈A部詳細図〉



(図-3)



妻ばり加工詳細



戸袋のある場合の加工と取付け②

(お願い) 躯体への取付けは、必ず下穴にコーキングを充てんした後、ネジ止めしてください。

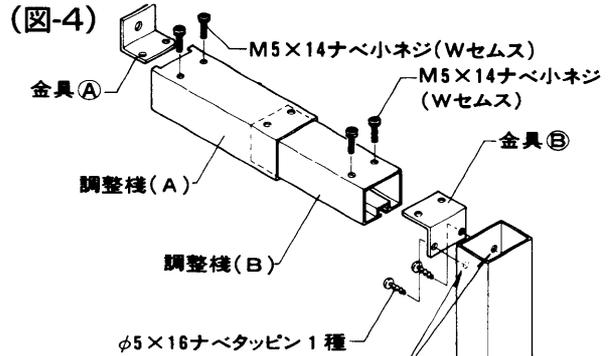
① 戸袋逃げ柱セットの組立て

(図-4)

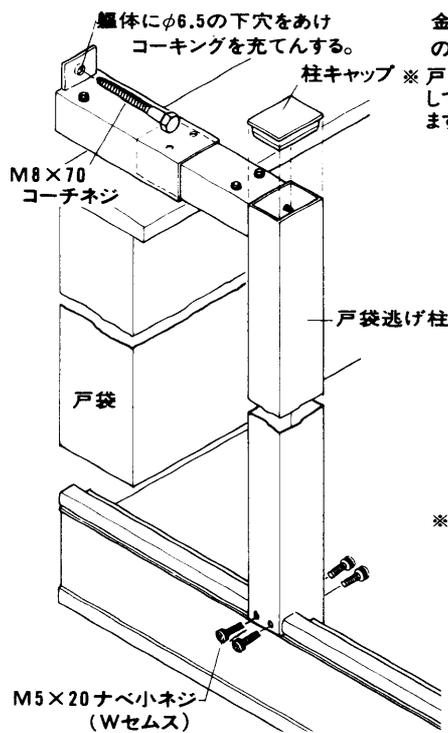
- ① 戸袋の高さを測り、戸袋逃げ柱に調整機 (B) の取付け位置を決めます。
- ② 記取付け地置に4.6の穴をあけ金具をネジ止めします。
- ③ 調整機 (B) と戸袋逃げ柱を組み立て、調整機 (A) に金具をネジ止めします。

② 戸袋逃げ柱セットの取付け

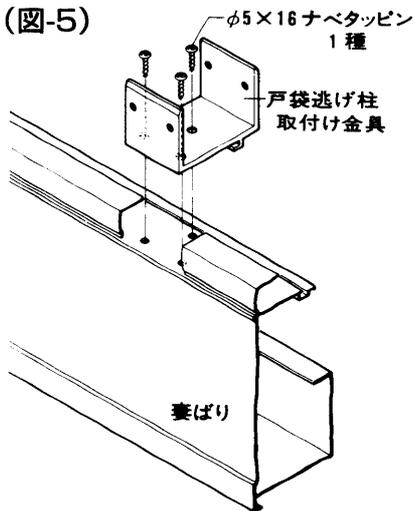
- ① 妻ばりの加工個所に戸袋逃げ柱取付け金具をネジ止めします。(図-5)
- ② 戸袋逃げ柱を妻ばりに差し込み仮止めします。(図-6)
- ③ 躯体にφ4.6の穴をあけ、コーキングを充てんした後、調整機 (A) をコーチネジで固定します。(図-6)
- ④ 戸袋逃げ柱に柱キャップをはめ込みます。(図-6)



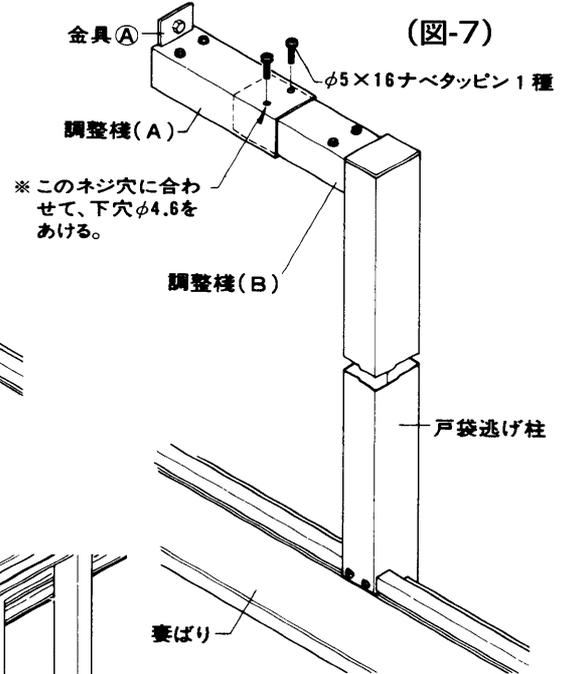
(図-6)



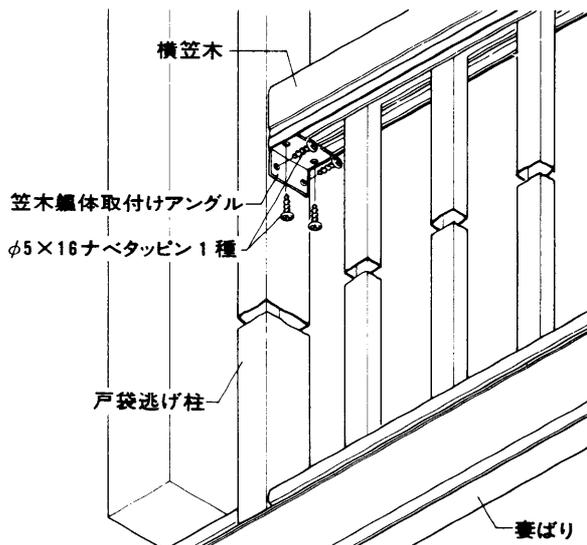
(図-5)



(図-7)



(図-8)



③ 調整機 (A・B) の固定

- ① 戸袋逃げ柱の垂直を出します。次に、調整機 (A) に合わせてφ4.6の穴を (B) にあけ、ネジで固定します。(図-7)
- ② 戸袋逃げ柱と妻ばりを本固定します。

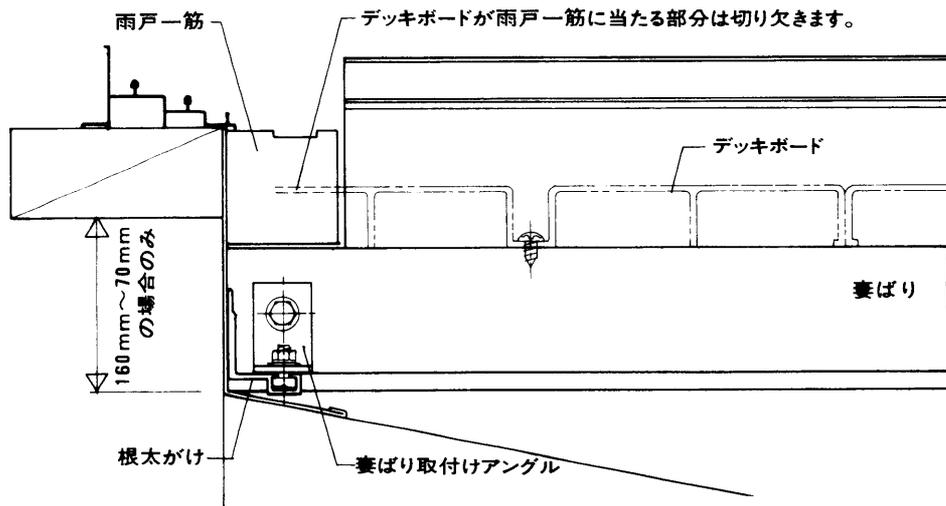
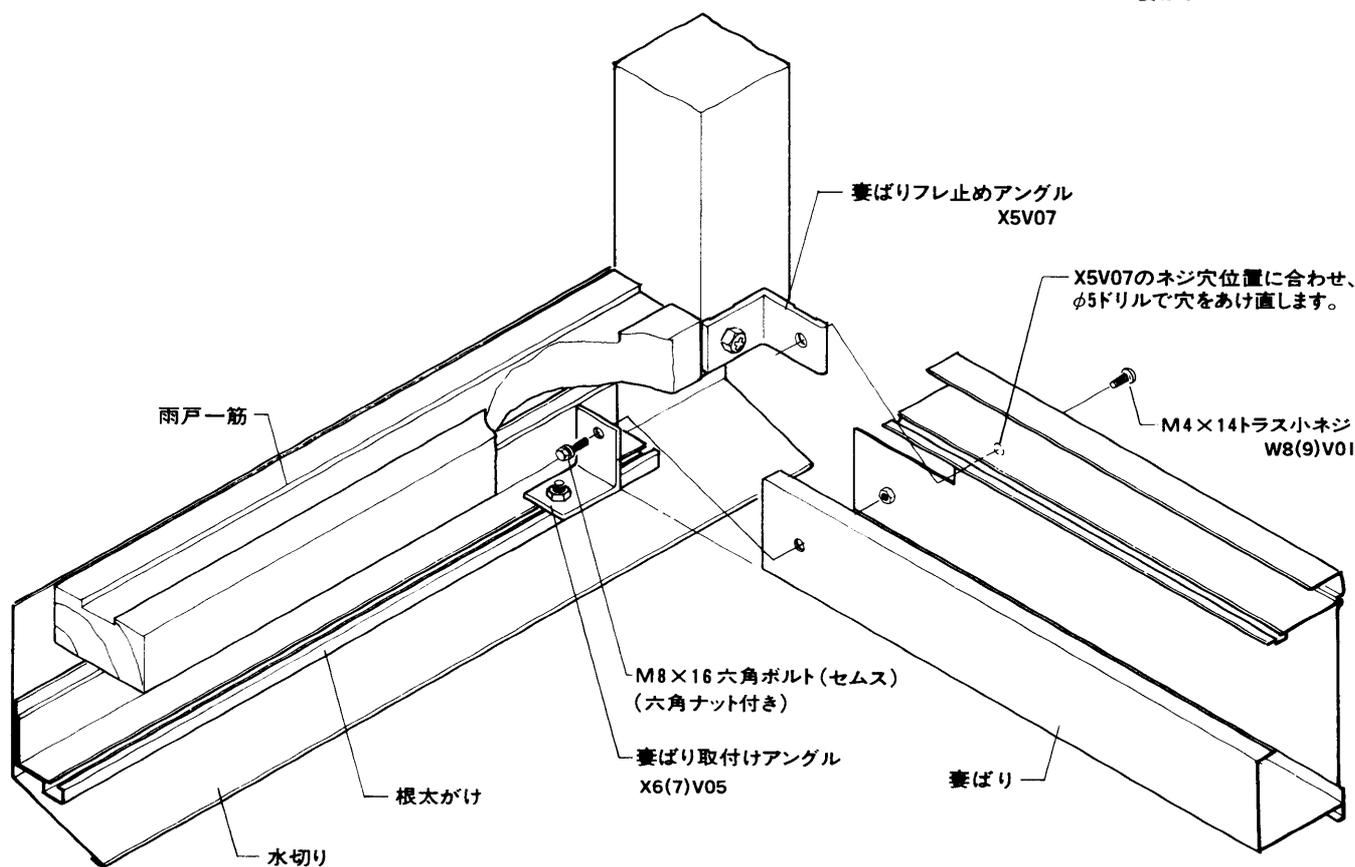
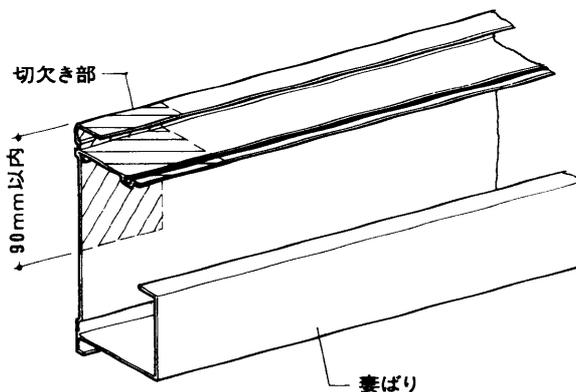
④ 戸袋逃げ柱と横笠木の固定

戸袋逃げ柱に笠木躯体取付けアングルをネジ止めし、横笠木に固定します。(図-8)

窓下寸法の狭い場合（屋根置き式）

■窓下寸法が160～70mmまでの場合

- 窓下寸法が妻ばりより狭く、160mm以下、70mmまでの場合は、妻ばりの上部を切欠き可能寸法の範囲内で切欠き、取り付けてください。
- 妻ばりフレ止めアングル（X5V07）は、現場の取り付けられる位置に固定します。

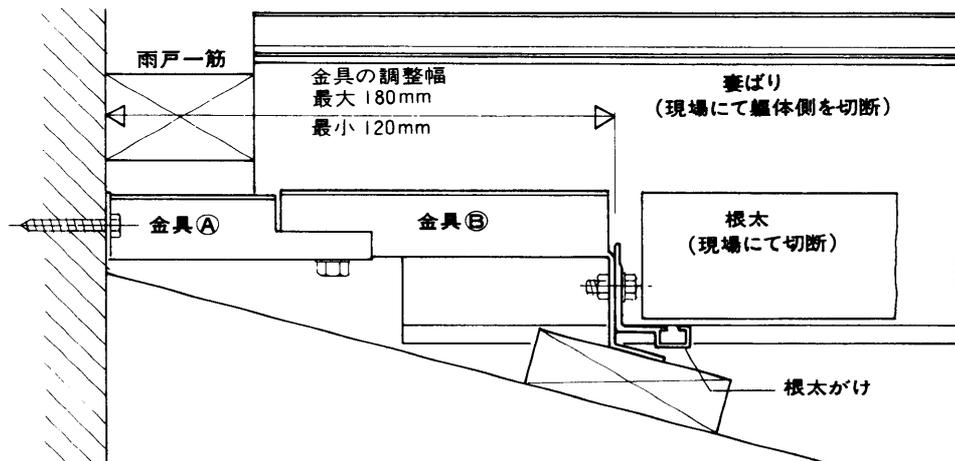
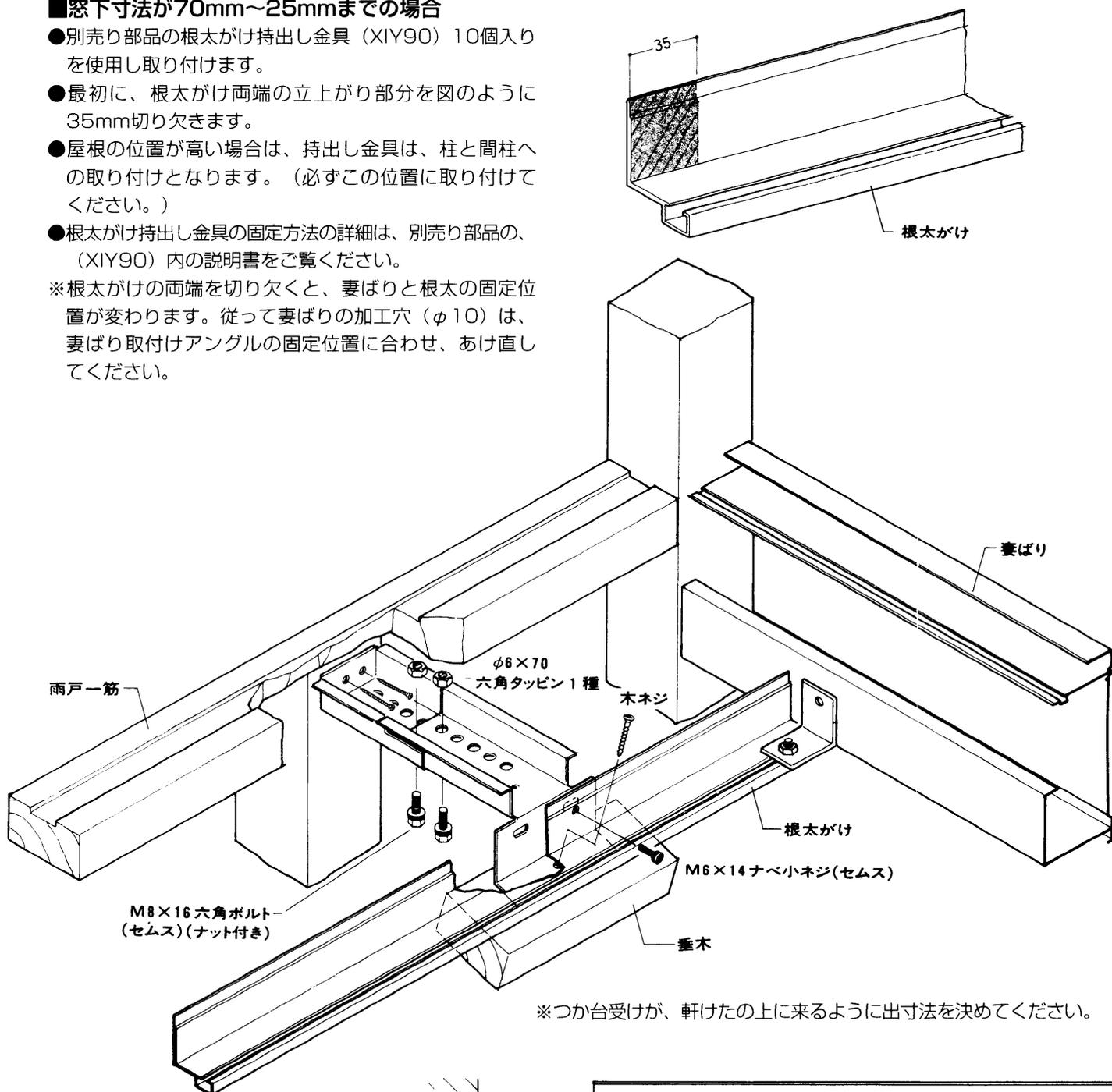


窓下寸法の狭い場合（屋根置き式）

■窓下寸法が70mm～25mmまでの場合

- 別売り部品の根太がけ持出し金具（XIY90）10個入りを使用し取り付けます。
- 最初に、根太がけ両端の立上がり部分を図のように35mm切り欠きます。
- 屋根の位置が高い場合は、持出し金具は、柱と間柱への取り付けとなります。（必ずこの位置に取り付けてください。）
- 根太がけ持出し金具の固定方法の詳細は、別売り部品の、（XIY90）内の説明書をご覧ください。

※根太がけの両端を切り欠くと、妻ばりと根太の固定位置が変わります。従って妻ばりの加工穴（φ10）は、妻ばり取付けアングルの固定位置に合わせ、あけ直してください。

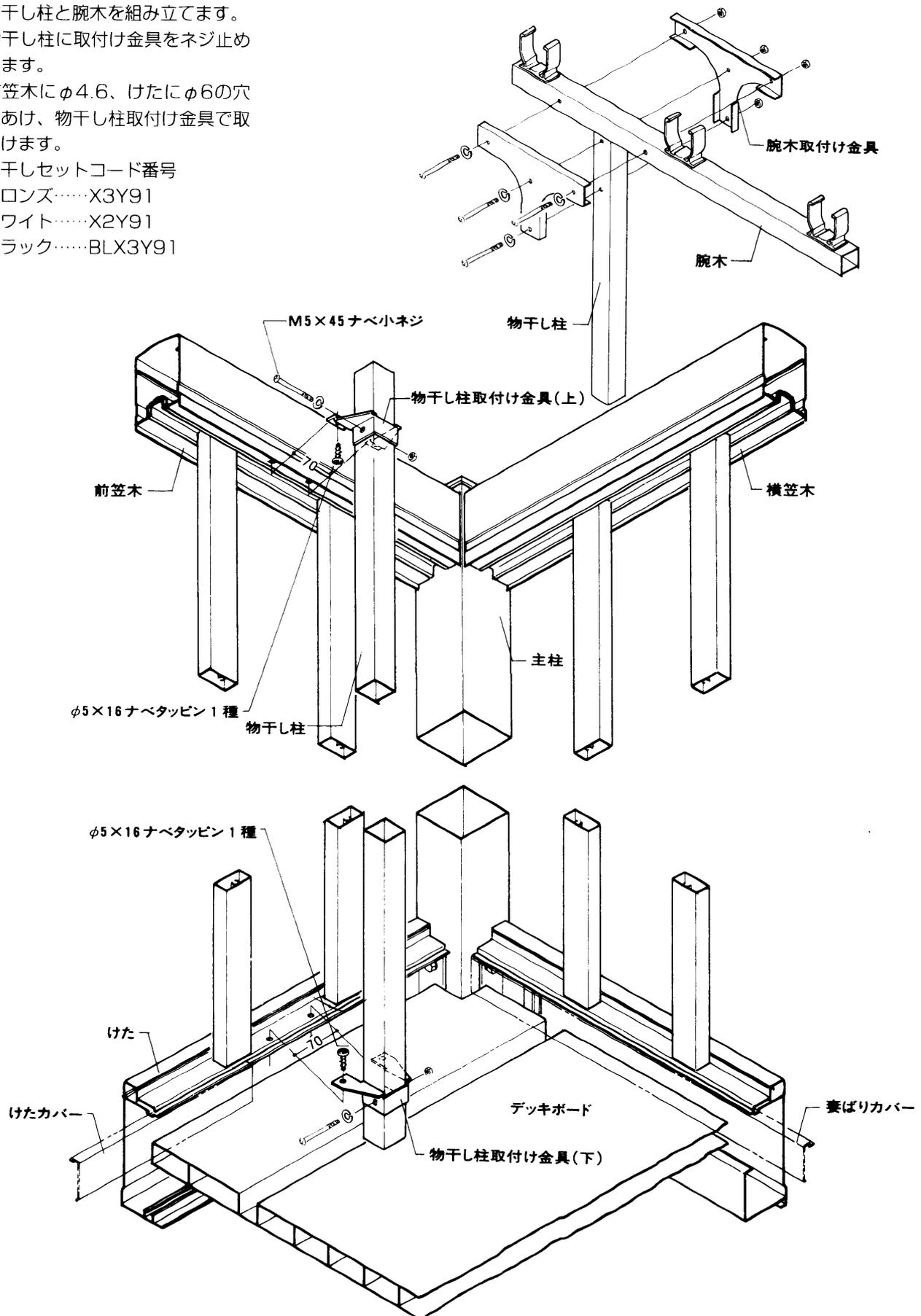


物干しセットの取付け

■取付け順序

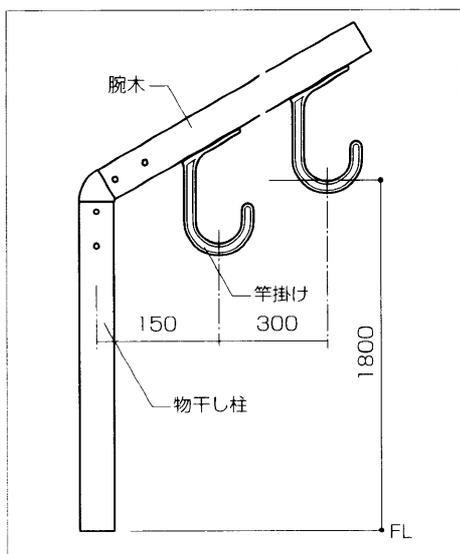
- ①物干し柱と腕木を組み立てます。
- ②物干し柱に取付け金具をネジ止めします。
- ③前笠木にφ4.6、けたにφ6の穴をあけ、物干し柱取付け金具で取付けます。

- 物干しセットコード番号
- ブロンズ……X3Y91
- ホワイト……X2Y91
- ブラック……BLX3Y91

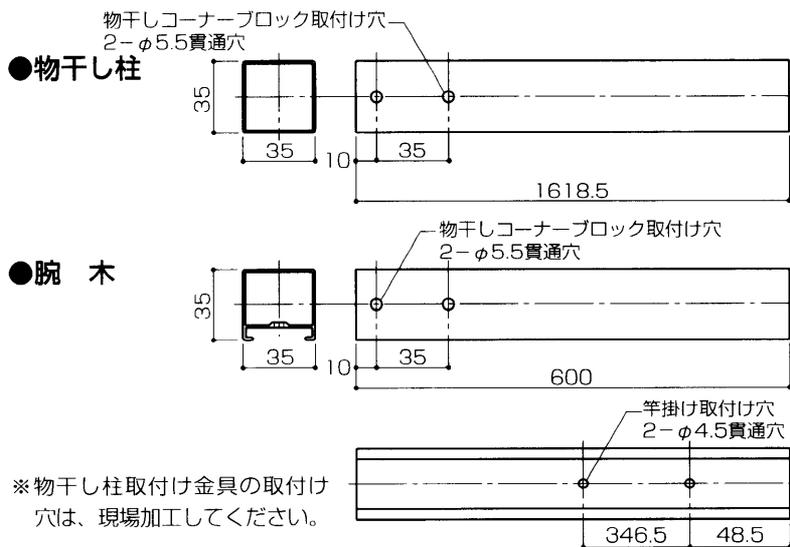


単独物干しセットの取付け

■ 姿図

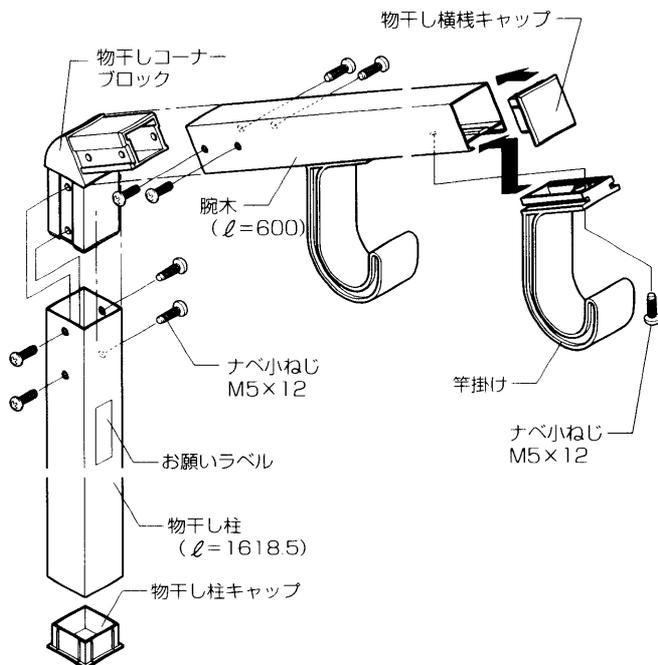


■ 物干し柱および腕木の加工

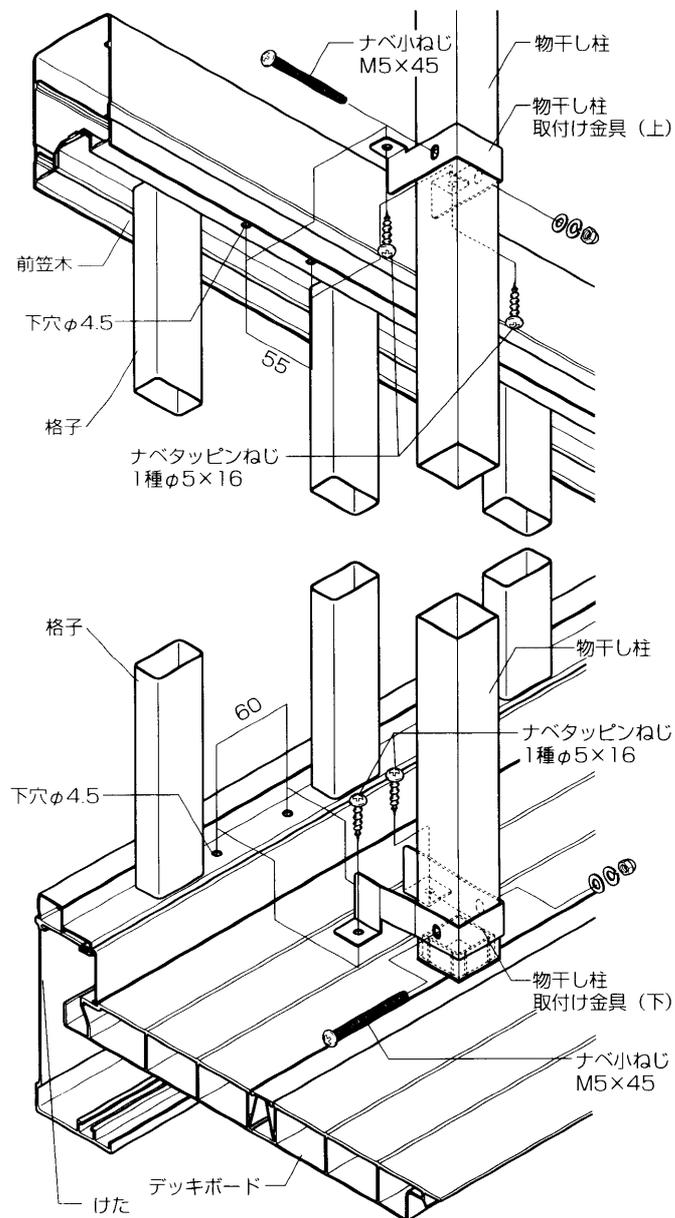


■ 取付け順序

- ①腕木に竿掛を差し込み、ねじ止めします。
- ②物干し柱と腕木を物干しコーナブロックで組み立てます。

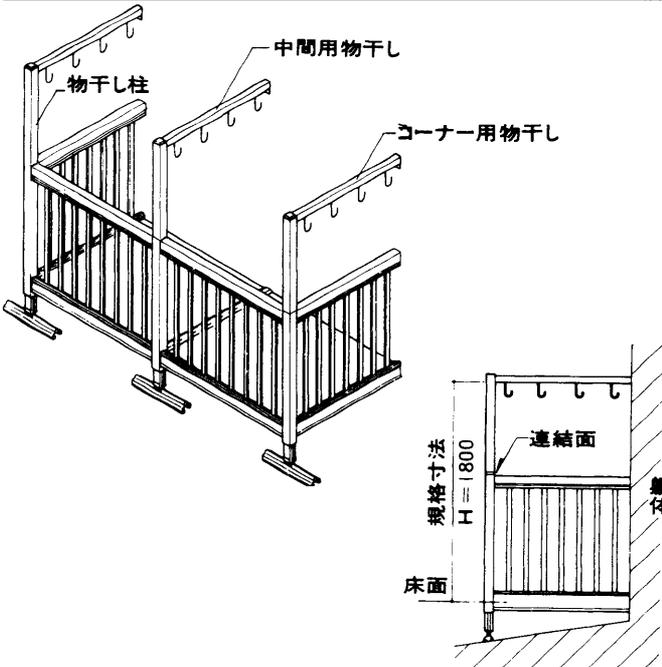


- ③前笠木・けたにφ4.5の下穴をあけ、物干し柱を物干し柱取付け金具で固定します。
 - ④物干し柱にφ5.5の貫通穴をあけ、物干し柱取付け金具(上・下)を取り付けます。
- ※物干し柱下端とデスクボードは、透き間ができないように固定してください。

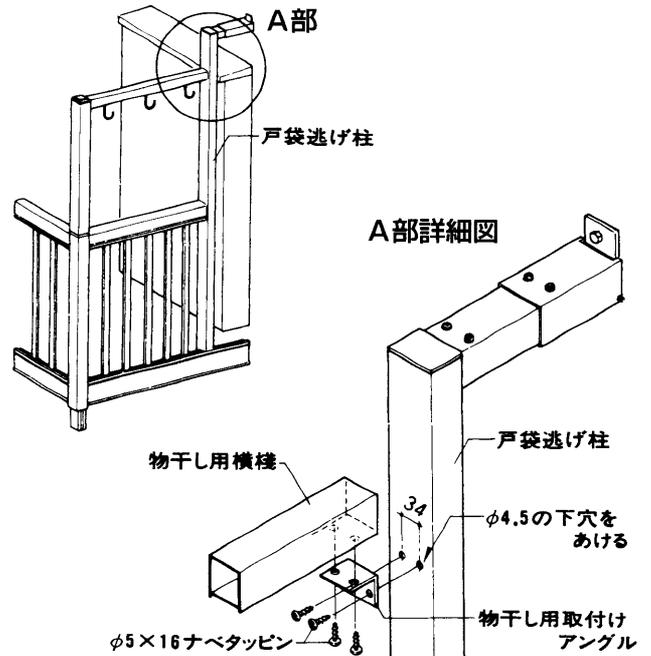


躯体直付け物干しセットの取付け①

■完成図

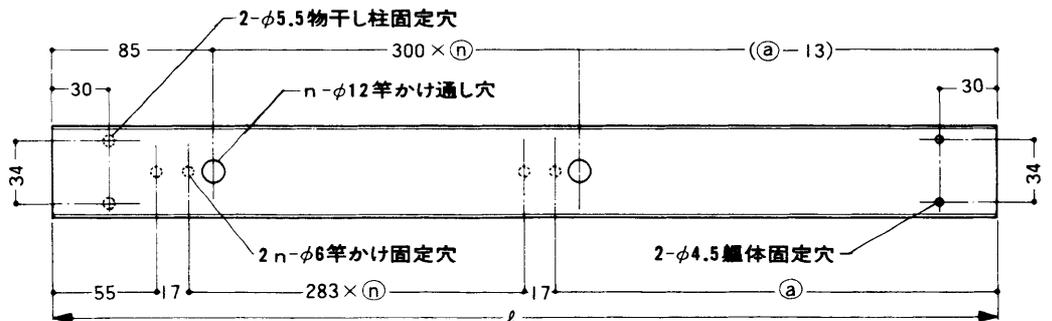
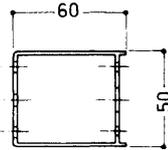


■戸袋逃げ柱に取り付ける場合

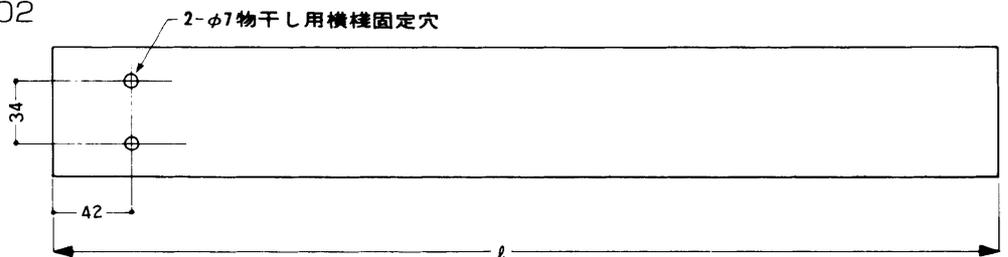
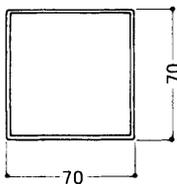


■加工図

- 物干し用横棧 X6(7)T30
BLX7T30

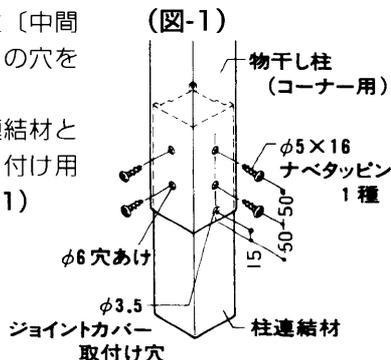


- 物干し柱 X6(7)T01・02
BLX9T01・02

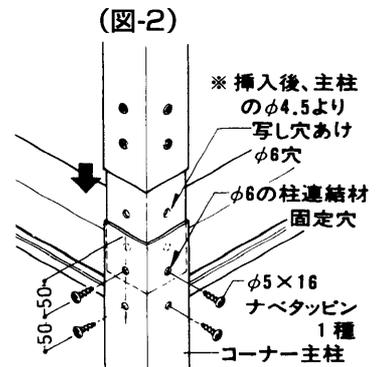


■組立てと取付け

- ①バルコニー本体の主柱〔中間柱〕に柱連結材固定用の穴をあけます。(図-2)
- ②物干し柱の下端に柱連結材とジョイントカバー取り付け用の穴をあけます。(図-1)



- ③物干し柱と柱連結材を固定し、バルコニー本体へ差し込みます。(図-2)
- ④主柱〔中間柱〕にあけた穴から柱連結材にφ4.6の穴をあけ、ネジ止めします。(図-2)



躯体直付け物干しセットの取付け②

⑤固定した物干し柱の上部からジョイントカバーを差し込み、固定します。

(図-3)

⑥物干し柱に横棧取付けます。

(図-4)

⑦物干し用横棧を固定します。

(図-4)

⑧物干し用横棧の躯体側に横棧取付けアングルを取付け躯体と固定します。

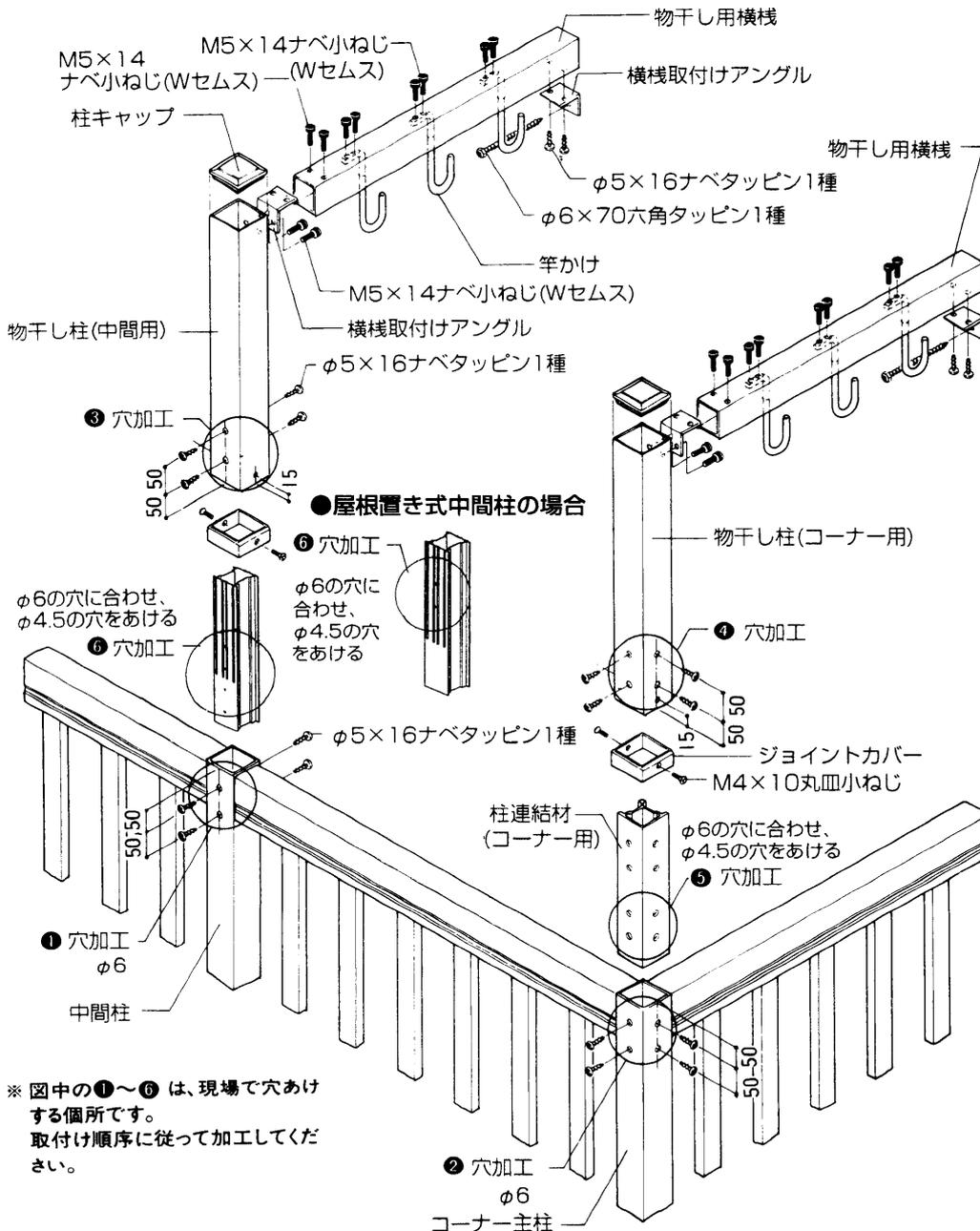
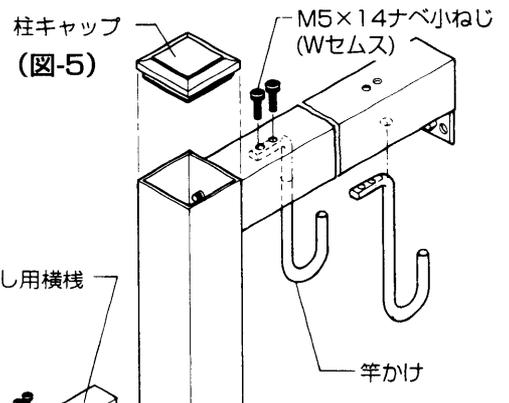
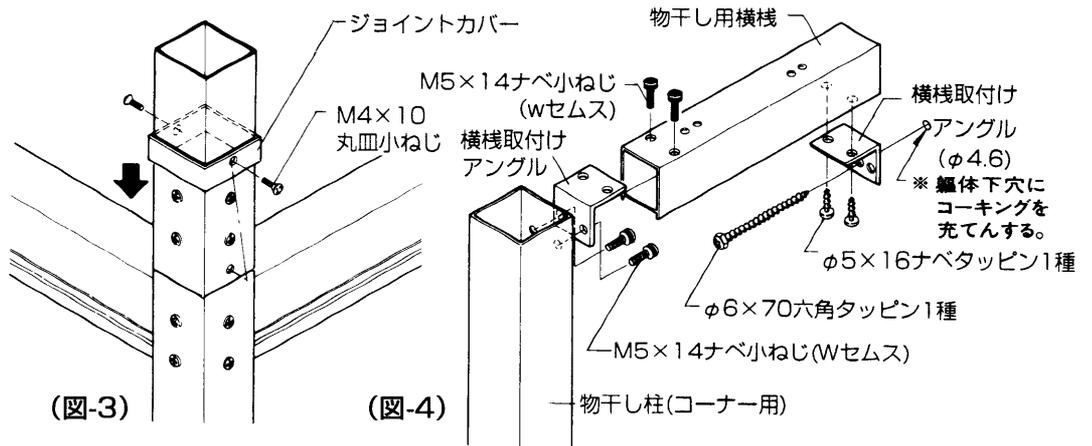
(図-4)

⑨竿かけを取付けます。

(図-5)

⑩柱キャップを取り付けます。

(図-5)



※ 図中の①～⑥は、現場で穴あけする箇所です。取付け順序に従って加工してください。

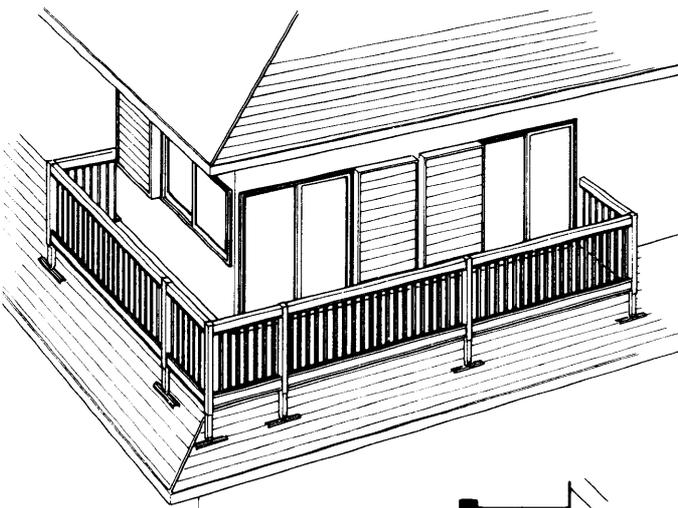
バルコニー特殊納まり (出隅) ①

〔出隅仕様とは〕 家のコーナー (出隅部) を囲む場合をいいます。このような場合、コーナー部の連結は、出隅用根太がけと連結根太で取付けます。

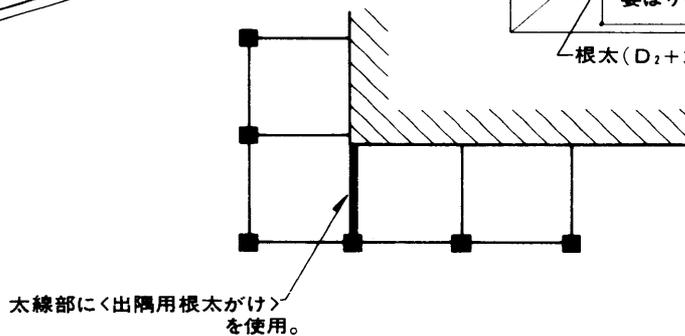
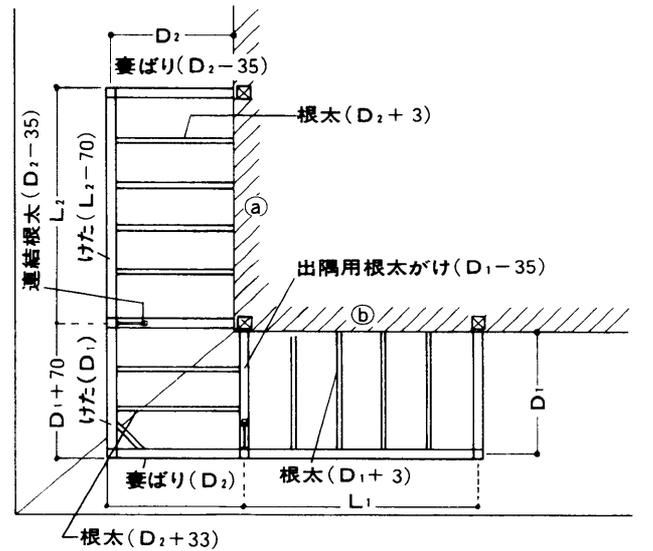
〔ご注意〕 ……①出幅は強度上6.0 (1785mm) 以下とし、金具は必ず躯体の柱に固定してください。
②つか台受けが下り棟の位置になる場合は、別売りの柱移動部品・部材 (コードX3Y77 …ブロンズ、X2Y77 …ホワイト、BLX3Y77 …ブラック) をご使用ください。
※つか台受けを下り棟の上のせると、納まり上危険ですから絶対に避けてください。

〔お願い〕 ……この説明書は、屋根置き式で説明しています。柱建て式の場合は、屋根置き式と同じ要領で取付けてください。
出隅個所以外の加工・組立・取付けは、P31~P50をご覧ください。

■取付け完成図

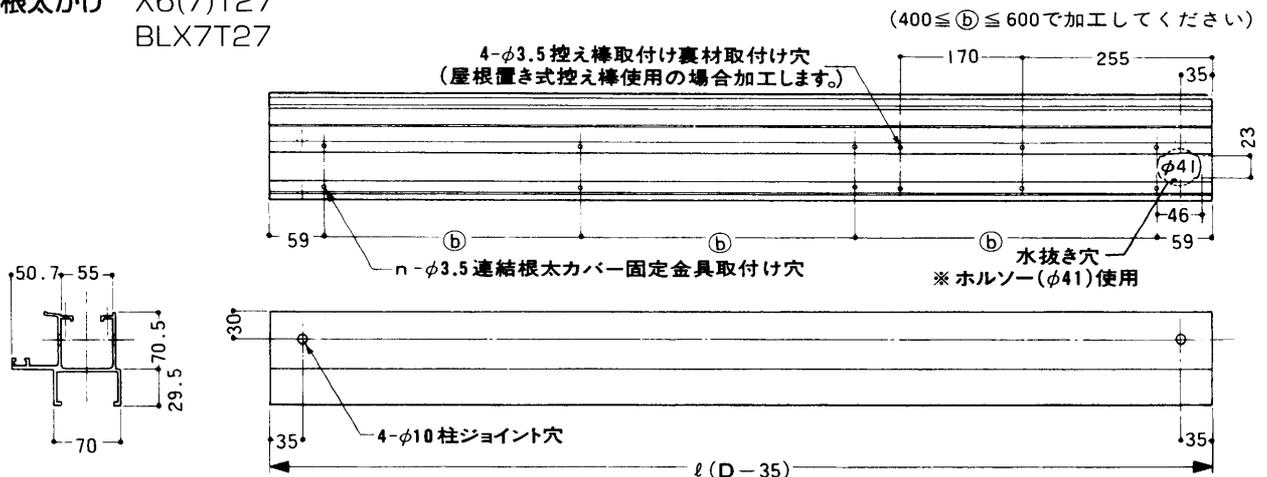


■基本納まり図及び各部材加工寸法



■加工図

●出隅用根太がけ X6(7)T27
BLX7T27

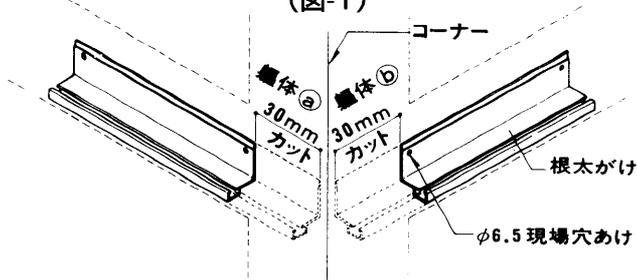


バルコニー特殊納まり (出隅) ②

■組立てと取付け

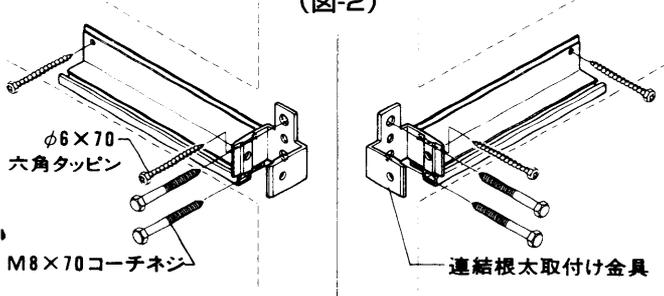
①躯体①、②のコーナー側根太がけを30mmカットし、 $\phi 6.5$ の穴をあけます。(図-1・3)

(図-1)

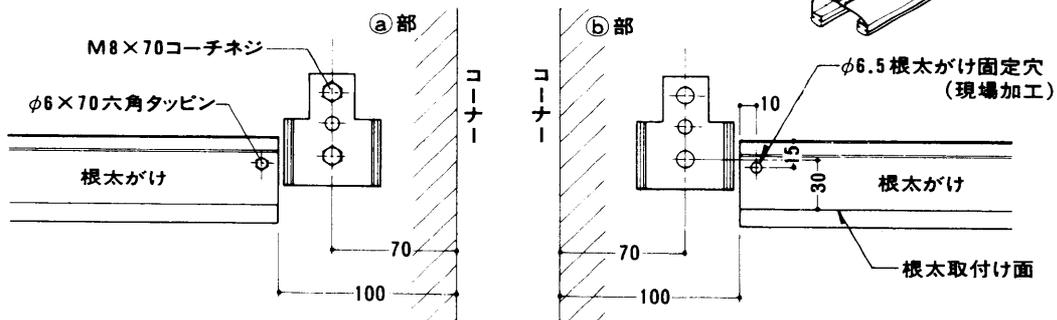


②躯体に根太がけ及び金具を取り付けます。(図-2・3)

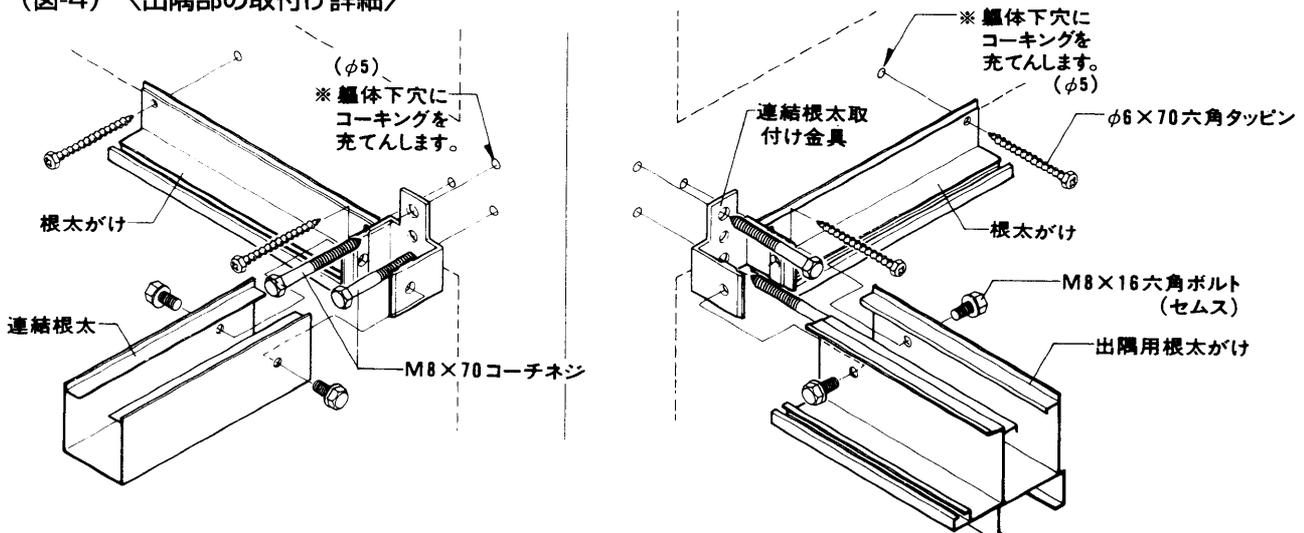
(図-2)



(図-3) <躯体①・②取付け詳細>



(図-4) <出隅部の取付け詳細>



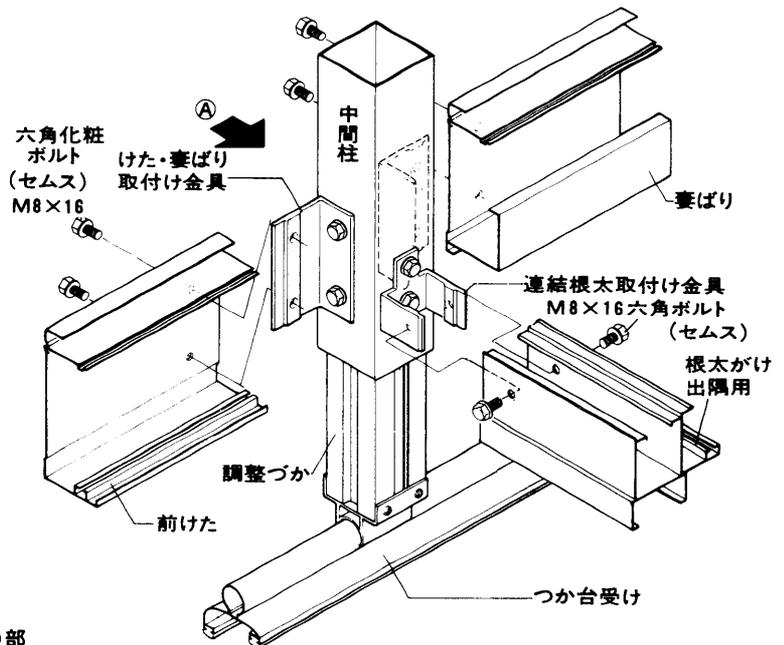
③出隅用根太がけと中間柱をM8×16六角ボルト(平ワッシャー付)で固定し、躯体側は金具に取り付けます。(図-4・5)

(図-4・5)

④デッキボードを敷いた後、出幅連結カバーをM5×12トラス小ネジで固定します。

※屋根置き式の場合は、控え棒を取り付けてください。

(図-5) <前けた連結部取付け詳細>



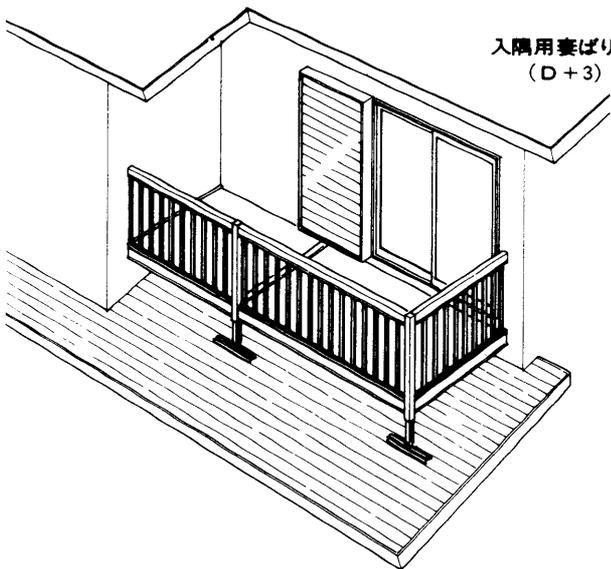
バルコニー特殊納まり (入隅) ①

〔入隅仕様とは〕 入隅仕様とは妻側の一方が壁になっている場合をいいます。このような場合は、壁側に入隅用妻ばりを使用し取り付けます。

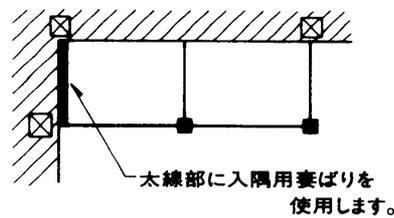
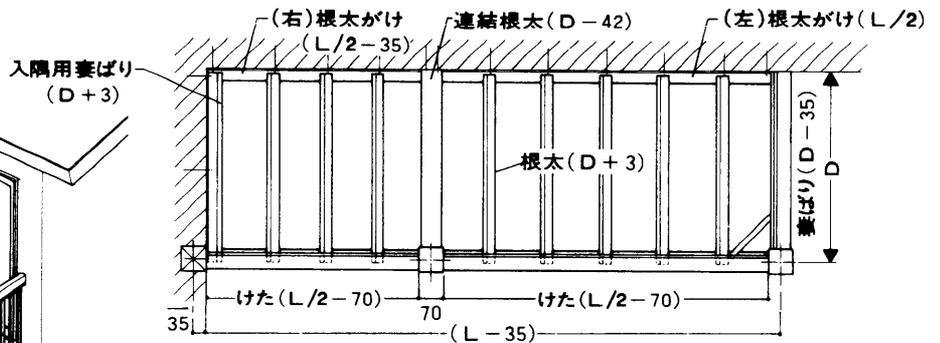
〔お願い〕 ……入隅以外の組立て・加工・取付けは、P31～P50をご覧ください。

〔ご注意〕 ……出幅は強度上6.0尺 (1785mm) 以下とし、前けた取付けアングルは、必ず躯体の柱に固定してください。

■取付け完成図

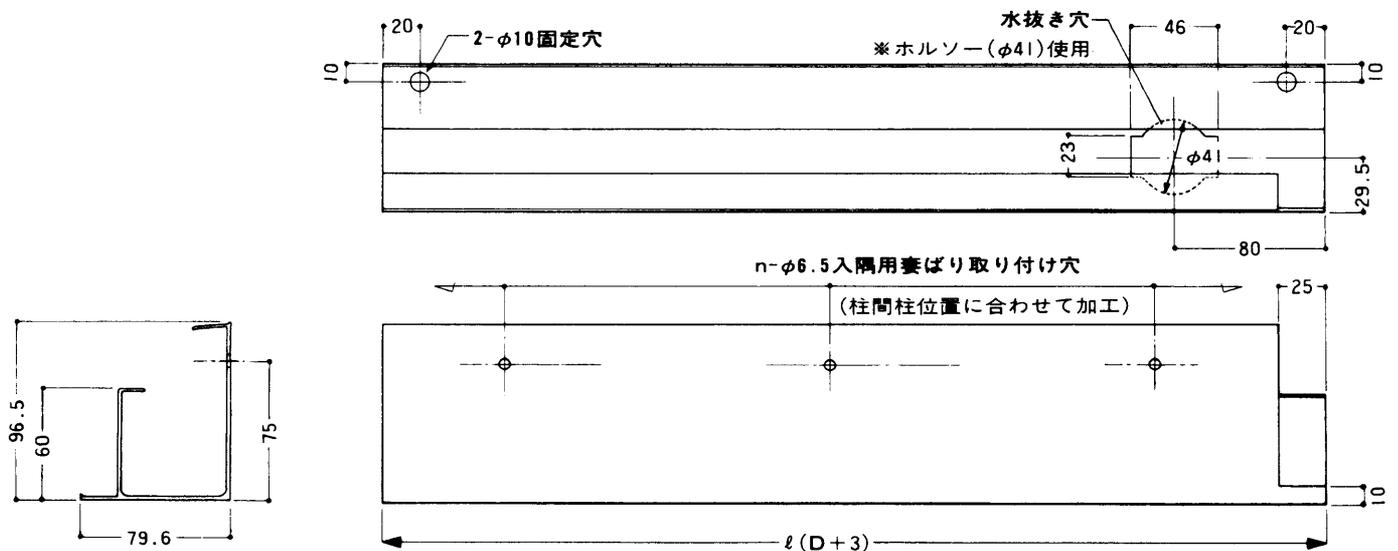


■基本納まり図及び各部材加工寸法表



■加工図

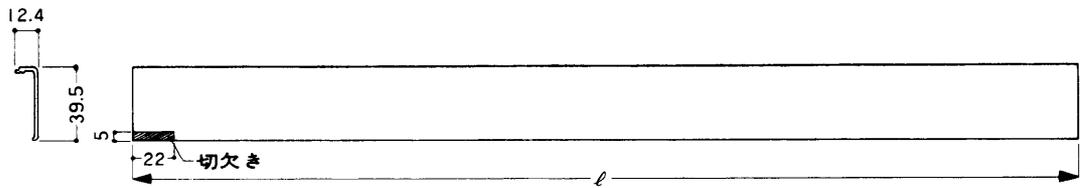
- 入隅用根太がけ X6(7)T26
BLX7T26



バルコニー特殊納まり (入隅) ②

加工図

- けたカバー
X6(7)T19
BLX7T19



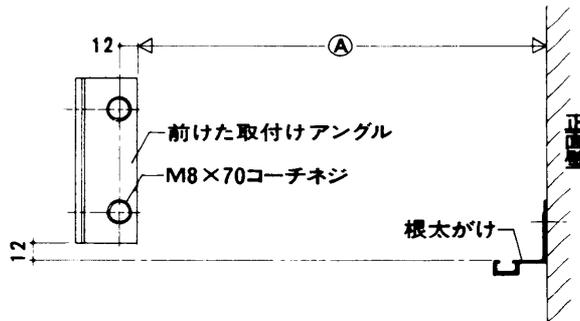
組立てと取付け

①根太がけを側面壁に当て、 $\phi 6 \times 70$ 六角タッピンネジで躯体に取り付けます。(図-1)

②前けた取付けアングルをM8×70コーチネジで側面壁に取り付けます。前けたをM8×20六角ボルトで前けた取付けアングルに固定します。(図-2)

③入隅用妻ばりに躯体取付け用の穴 (V溝に合わせ $\phi 7$ ピッチ約450mm) をあけます。

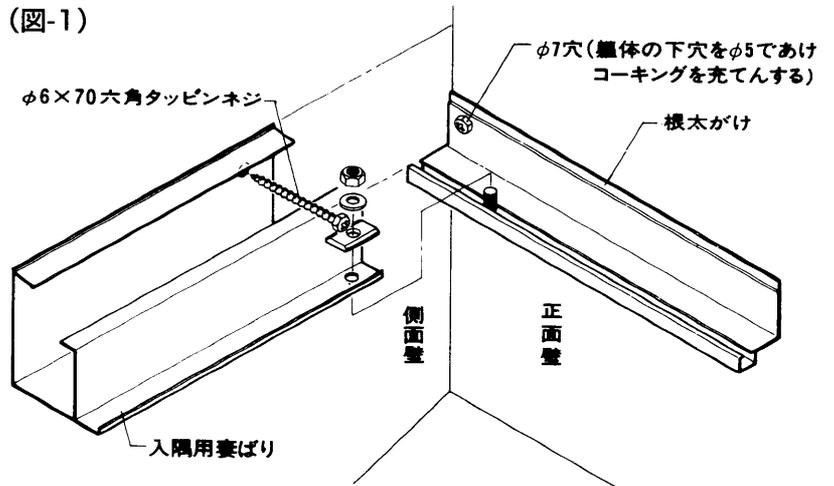
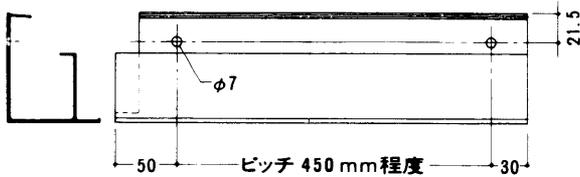
根太と同じ要領で前けた、根太がけに入隅用妻ばりを固定し、躯体側は、 $\phi 6 \times 70$ 六角タッピンネジで取り付けます。(図-2・1)



〈出隅の種類による
A寸法〉

出幅	A寸法
3R (885)	873mm
4R (1185)	1173mm
5R (1485)	1473mm
6R (1785)	1773mm

(図-1)



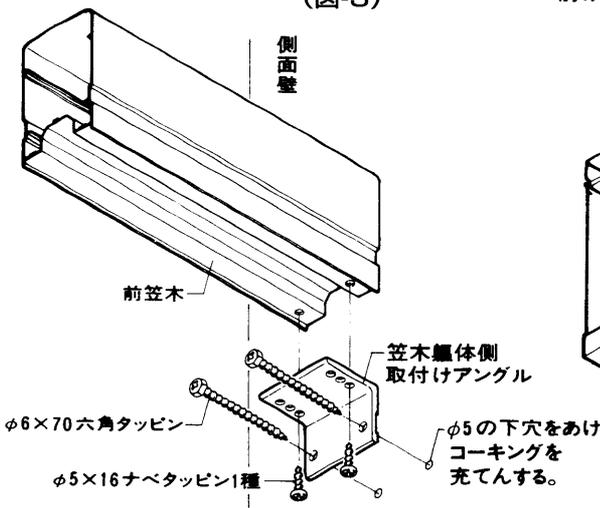
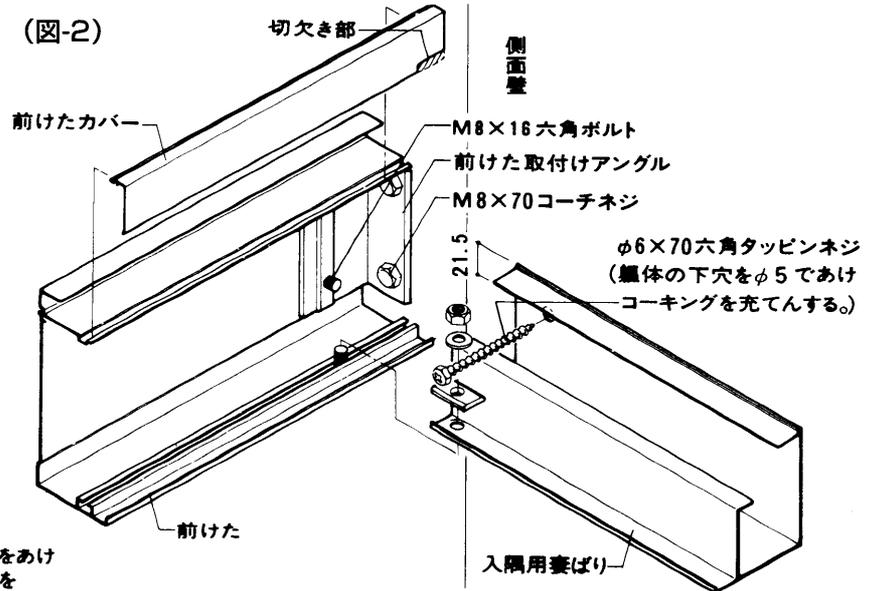
(図-2)

④前笠木は側面笠木の要領で、笠体取付けアングルで躯体に取り付けます。

(図-3)

⑤けたカバーは、切り欠き部を入隅側にして取り付けます。(図-2)

(図-3)



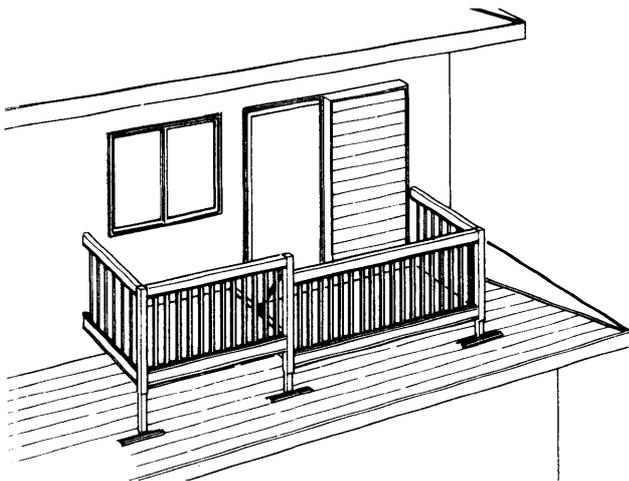
バルコニー特殊納まり (段床) ①

〔段床仕様とは〕 床の高さが同じにならず、段状になる場合をいいます。このような場合、段差のできる個所に中間柱をたて、段床用妻ばり (2本) と控え棒を使って取り付けます。

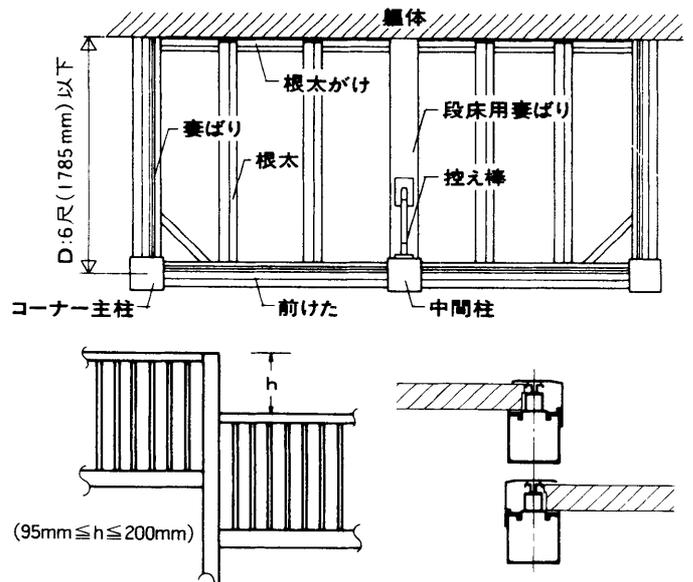
〔ご注意〕 ……出幅 (D) は、強度上6.0尺 (1785mm) 以下とし、金具は必ず躯体に固定してください。床面の高さの差が95mm~200mmまで取り付けられます。

〔お願い〕 ……この説明書は、屋根置き式で説明しています。柱建て式の場合、屋根置き式と同じ要領で取り付けてください。
段床個所以外の組立て・取付けは、P31~P50をご覧ください。

■取付け完成図



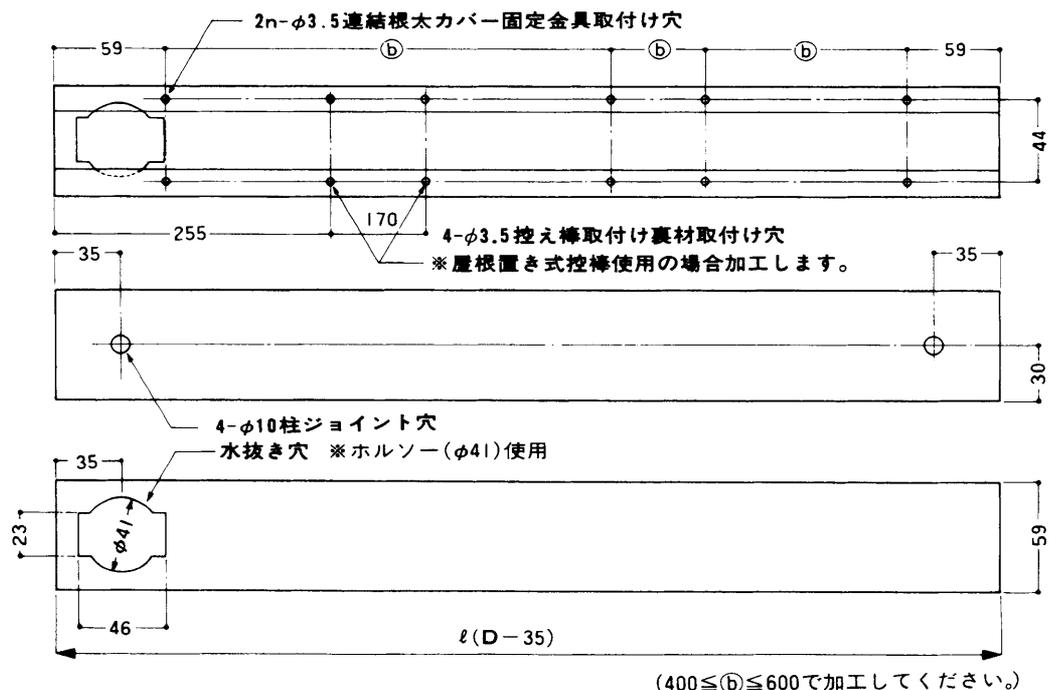
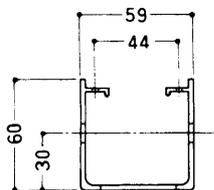
■基本納まり図



■加工図

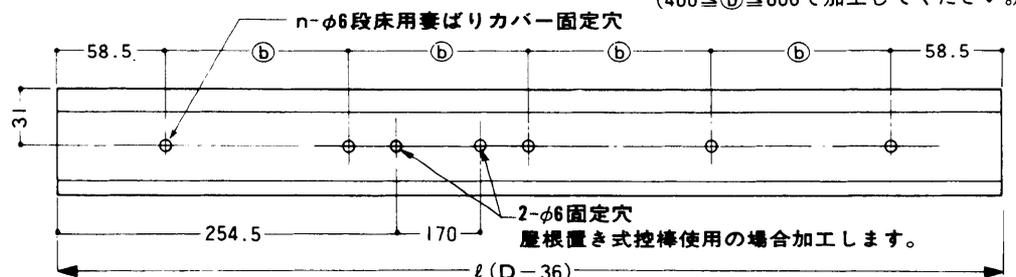
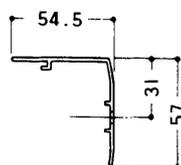
●段床用妻ばり

X6(7)T28
BLX7T28



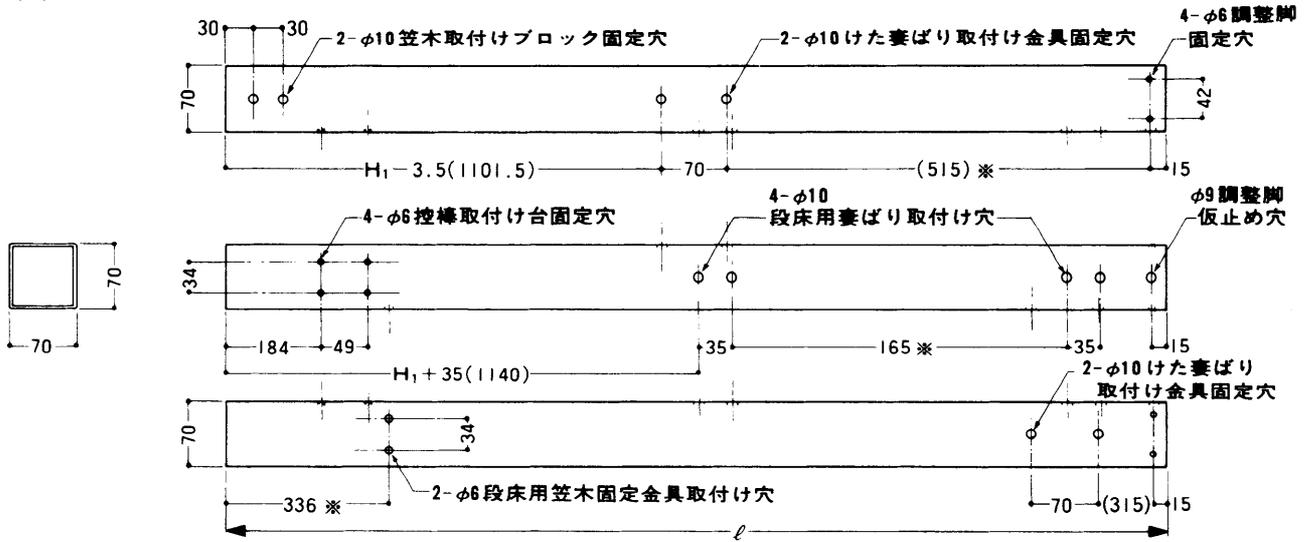
●段床用妻ばりカバー

X6(7)T28
BLX7T28



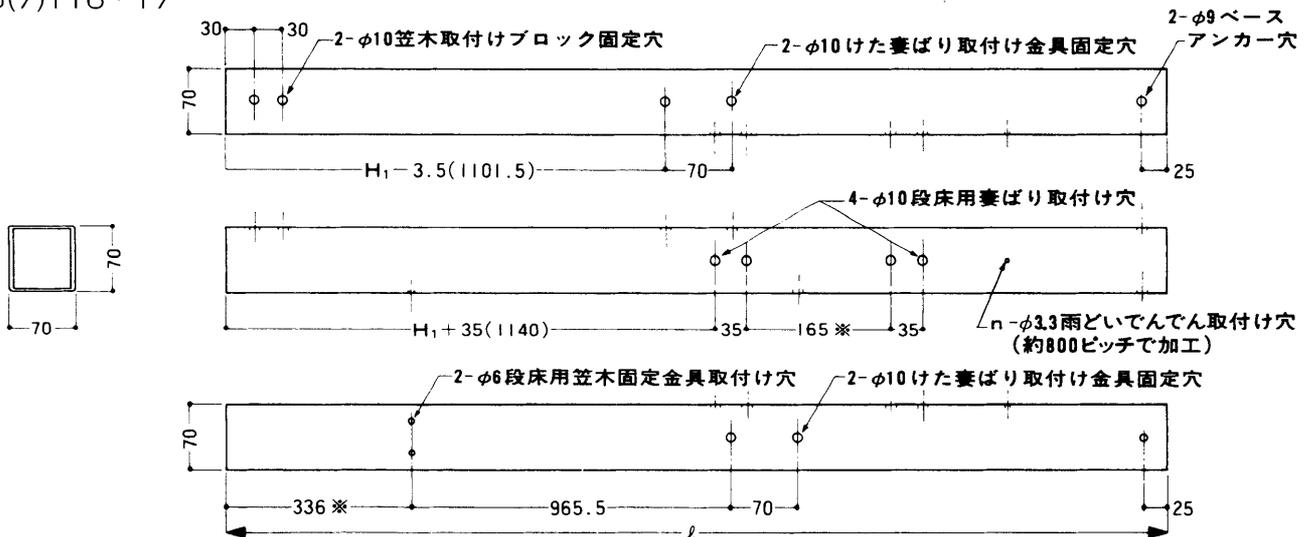
バルコニー特殊納まり (段床) ②

●中間柱 (段床用)
屋根置き式
X6(7)T01・02



* 段差 200mm, $H_1 = 1105$ の場合の参考寸法

●中間柱 (段床用)
柱建て式
X6(7)T16・17

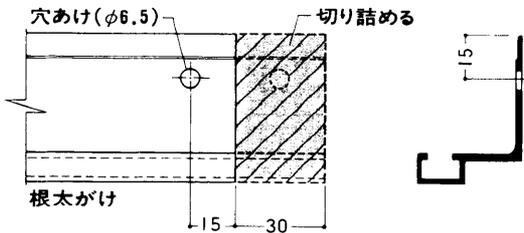


* 段差 200mm, $H_1 = 1105$ の場合の参考寸法

バルコニー特殊納まり (段床) ③

組立てと取付け

①根太がけの取付け箇所をよく調べ、必ず躯体の柱・間柱・筋交いなどに取り付けようにします。左右の根太がけの段床中央部を切り詰め、φ65の穴をあけます。



②根太がけ及び、連結根太取付け金具を躯体に固定します。(図-1A部詳細図)

③段床用妻ばりを中間柱に六角ボルトで固定し、一方を躯体に取り付けます。

(図2・B部詳細図)

次に主柱と妻ばりをネジ止めし、根太がけに固定します。最後に前けたを取り付けます。

④下段の前格子に付いている金具②をはずします。次に金具④を笠木に下穴(φ4.6)をあけ、ネジ止めした後、中間柱の裏板部分に取り付けます。

(図2・A部詳細図)

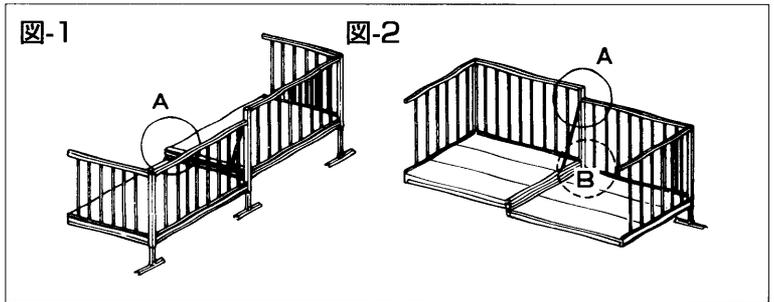


図-1・A部詳細図

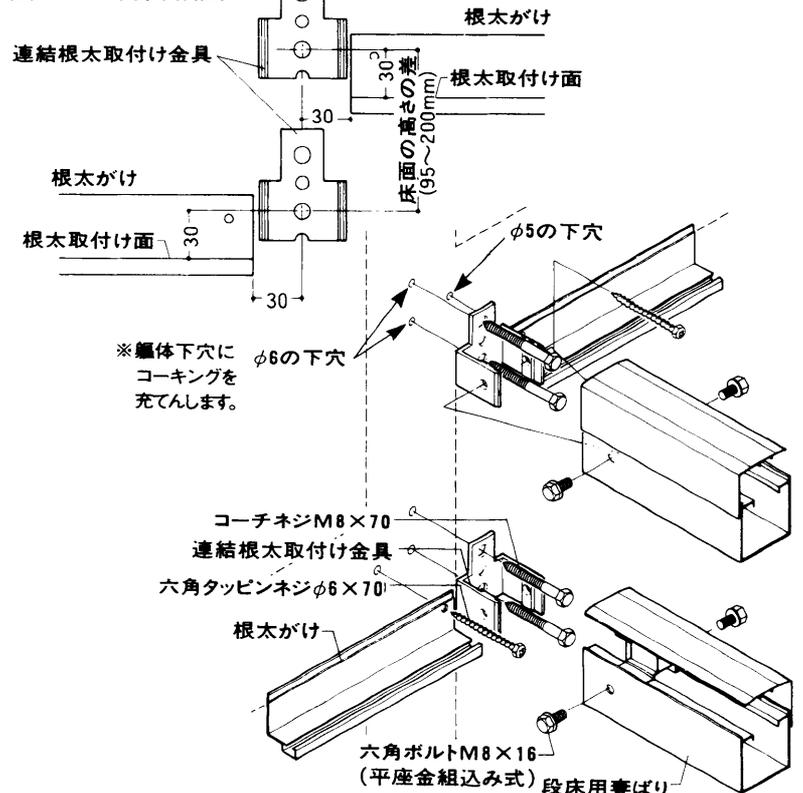


図-2・B部詳細図

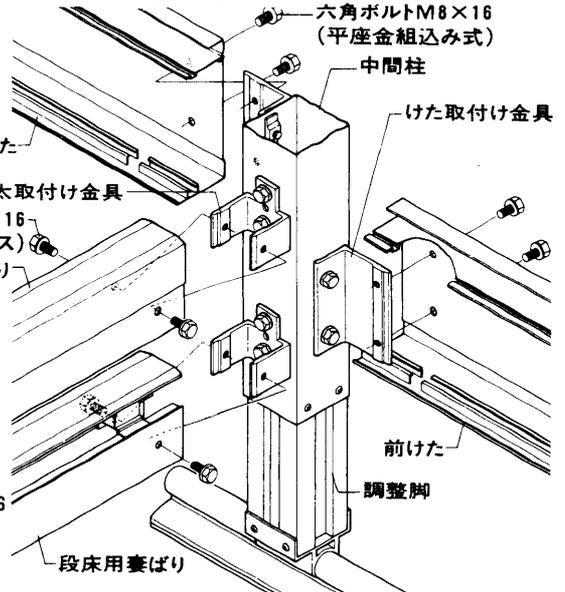
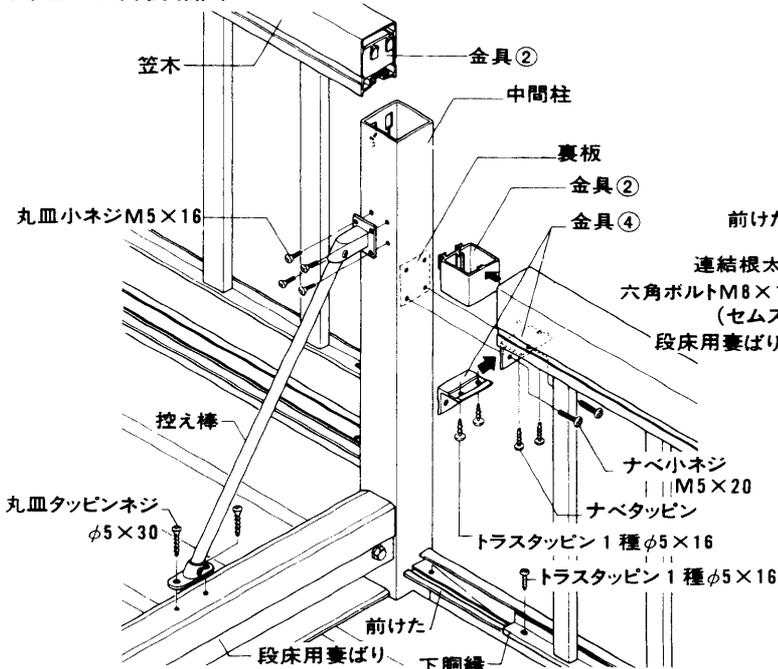


図-2・A部詳細図



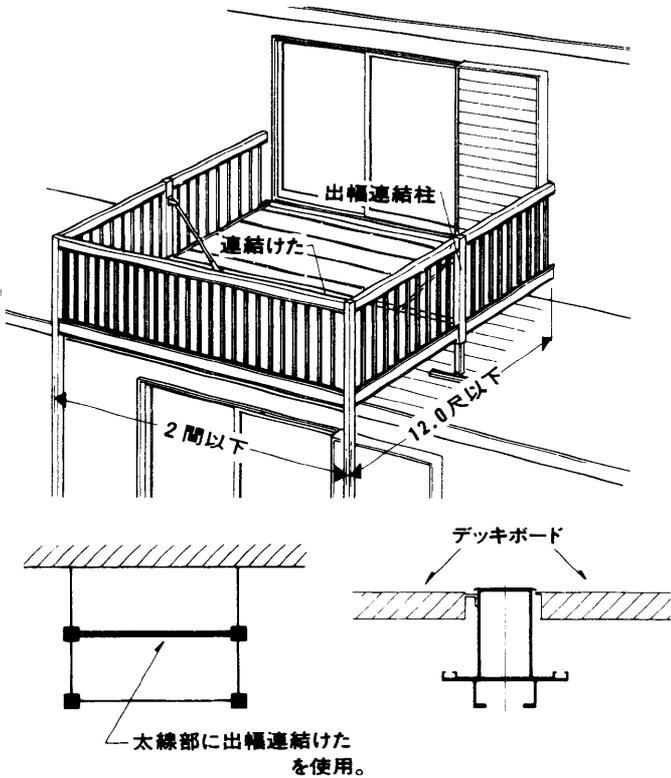
バルコニー特殊納まり (出幅連結) ①

〔出幅連結仕様とは〕 出幅6.0尺 (1785mm) 以上にする場合をいいます。このような場合、出幅の連結個所に出幅連結柱をたて連結けたで取り付けます。

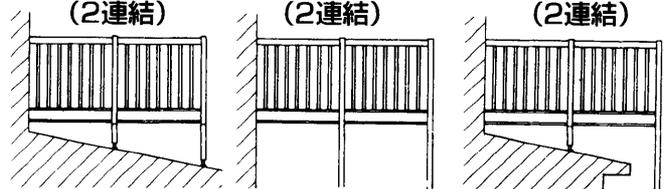
〔ご注意〕 ……………出幅 (D) は強度上12.0尺 (6尺+6尺) 以下の2連結にします。間口 (L) は関東間・関西間・九州四国間とも2間までとし、間口の連結はできません。

〔お願い〕 ……………連結個所以外の加工・組立て・取付けは、P31~P50をご覧ください。

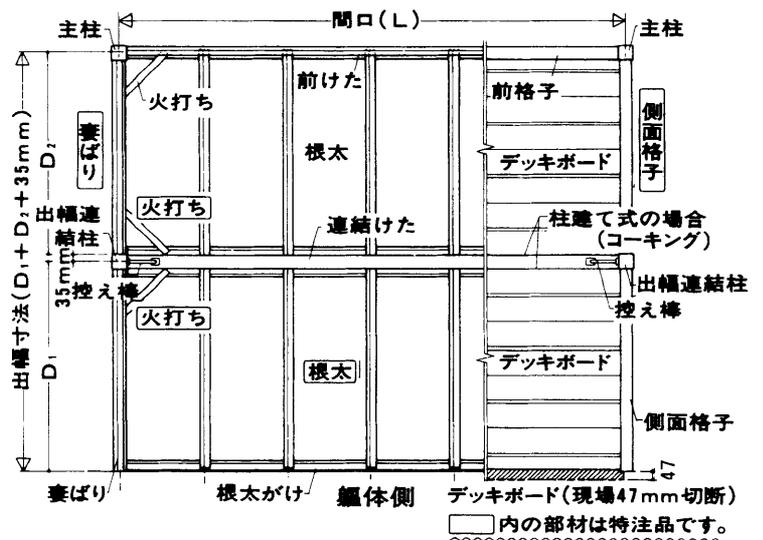
■取付け完成図



屋根置き式 (2連結) 柱建て式 (2連結) 屋根置き+柱建て式 (2連結)

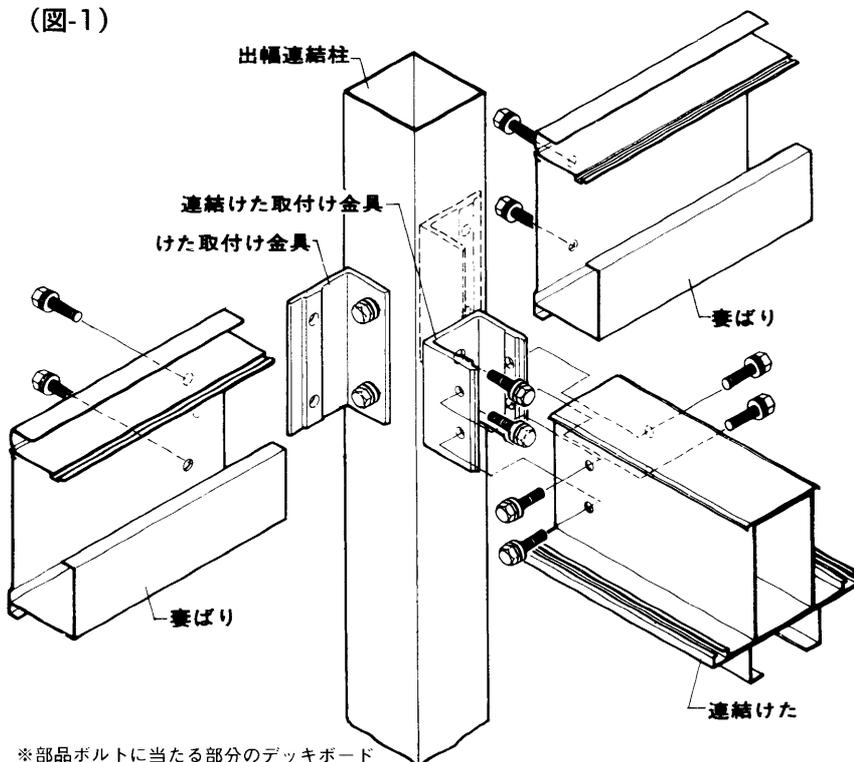


■基本納まり図

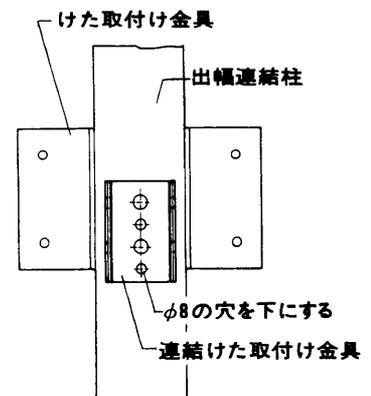


■出幅連結柱と連結けた・妻ばりの取付け

(図-1)



(図-2)

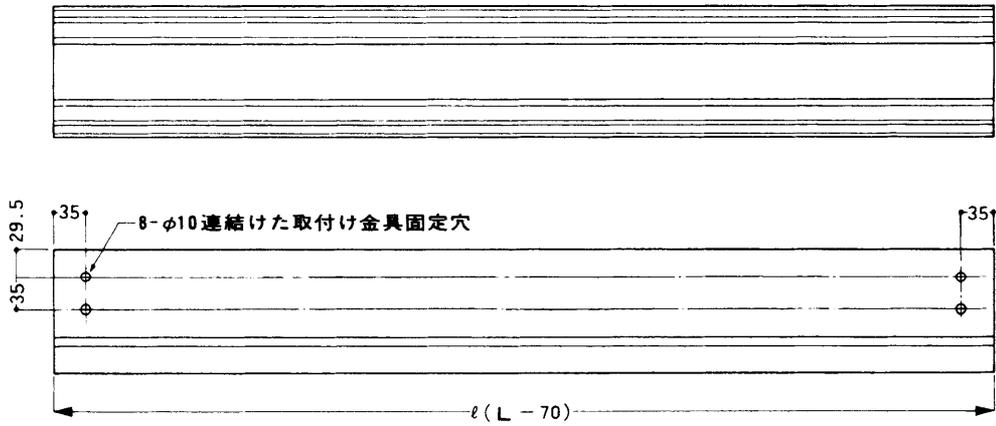
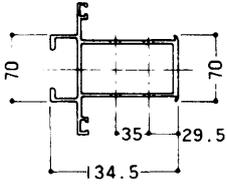


*部品ボルトに当たる部分のデッキボードは切り欠いてください。

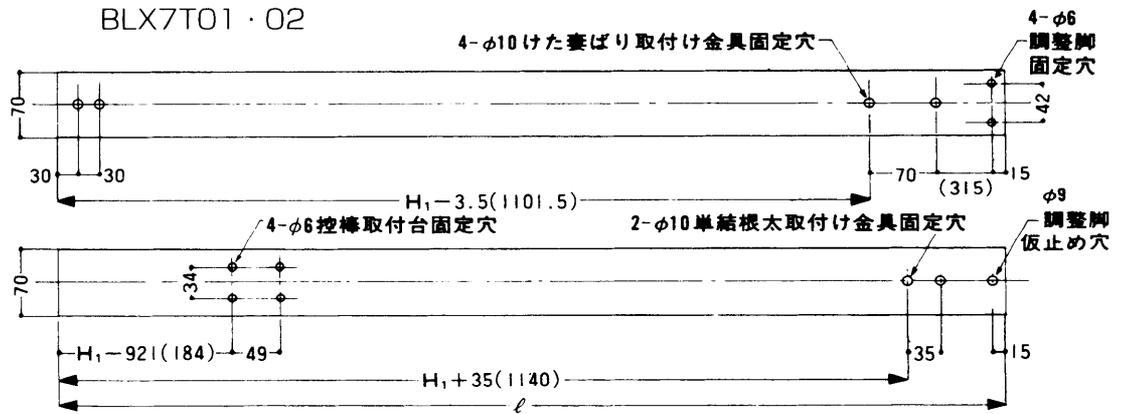
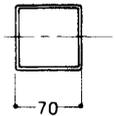
バルコニー特殊納まり (出幅連結) ②

加工図

- 出幅連結けた X6(7)T01・02
BLX7T01・02

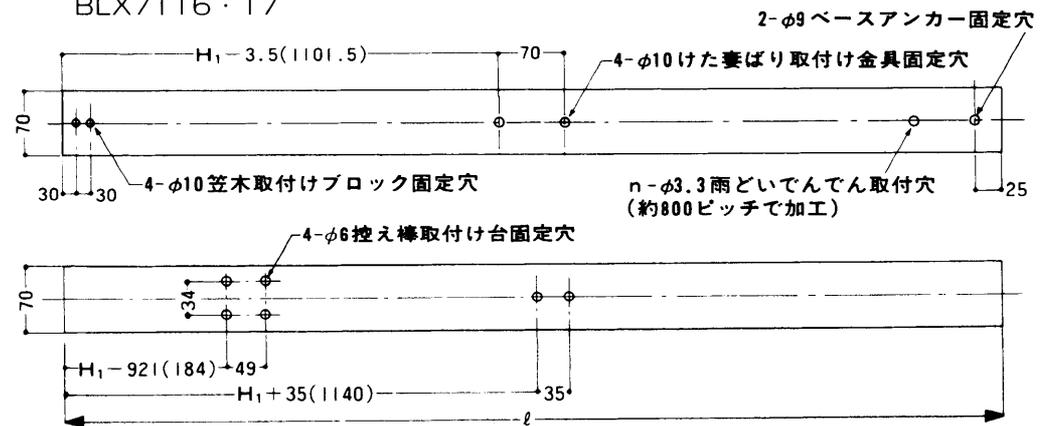
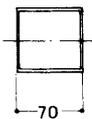


- 出幅連結柱 (屋根置き式) X6(7)T01・02
BLX7T01・02



※ ()内はH₁=1105の場合の参考寸法

- 出幅連結柱 (柱建て式) X6(7)T16・17
BLX7T16・17



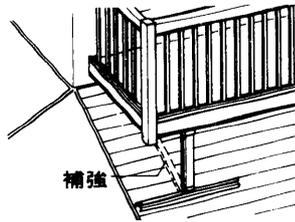
※ ()内はH₁=1105の場合の参考寸法

バルコニー特殊納まり（柱移動）

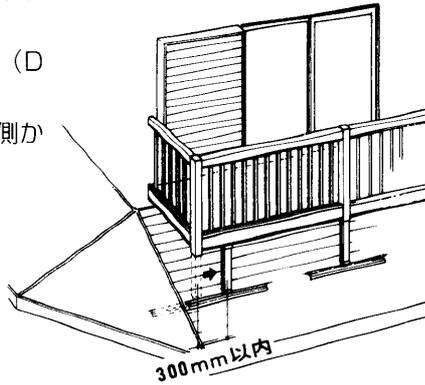
●この部品・部材は、柱の位置に障害物があつたり、納まり上の問題により柱を移動しなければならない場合に使用します。

※柱の移動範囲は、間口（L寸法）、奥行（D寸法）とも300mm以内とします。

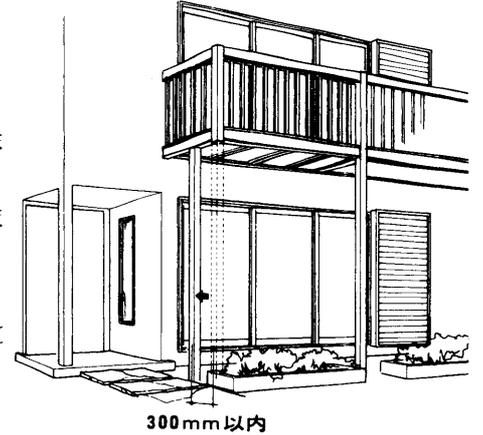
【お願い】……屋根傾斜がきつい場合は、壁側から補強をしてください。



〈つか台が下がり棟にかかる時〉



〈柱位置に障害物がある時〉



■取付け手順

1. 柱の切断と柱キャップの取付け（図-1・2）

〈柱建て式の場合〉

●移動するコーナー柱をけたの下面より29.5mmで切断し、下端に柱キャップを取り付けます。

※切断した柱は、移動柱として使用します。

〈屋根置き式の場合〉

●コーナー柱の切断はありません。調整脚をいったん抜き取り、下端に柱キャップを取り付けます。

※柱キャップ取付けの際は、コーナー柱とキャップに穴あけをし、ネジで固定します。

2. 移動柱の固定（図-3・4）

①移動柱取付け金具の固定ネジ穴をあけます。

※奥行方向に移動する場合は、妻ばりのフィンを71mm切り欠きます。

（図-4）

②移動柱取付け金具をネジ止めします。

※妻ばりへ柱を固定する場合は、妻ばり倒れ止めを使用してください。

（図-4）

③移動柱へ取付け金具固定穴をあけます。

（図-3・4）

※屋根置き式の場合は、同梱の移動柱に取付け穴があけてあります。抜き取った調整脚と組み合わせて取り付けてください。

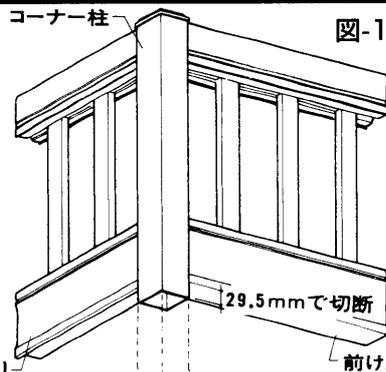


図-1

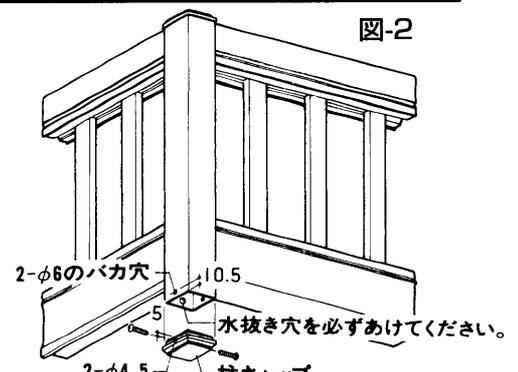
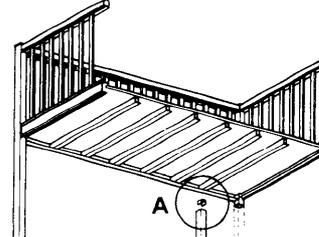


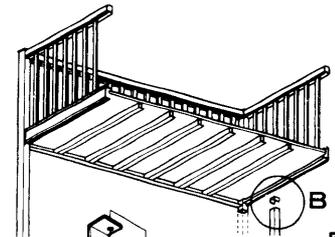
図-2

〈間口（L寸法）の方向の移動〉

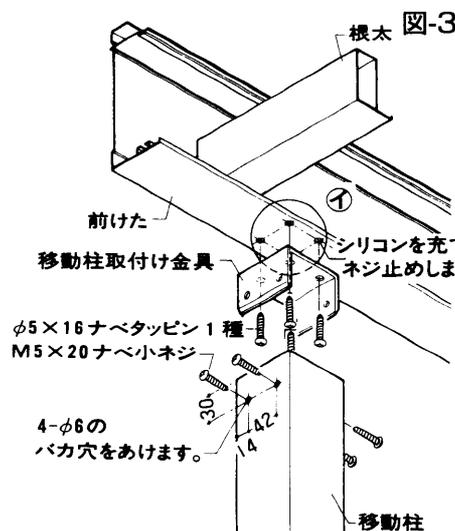


A

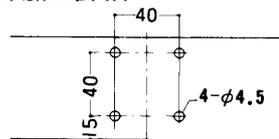
〈奥行（D寸法）の方向の移動〉



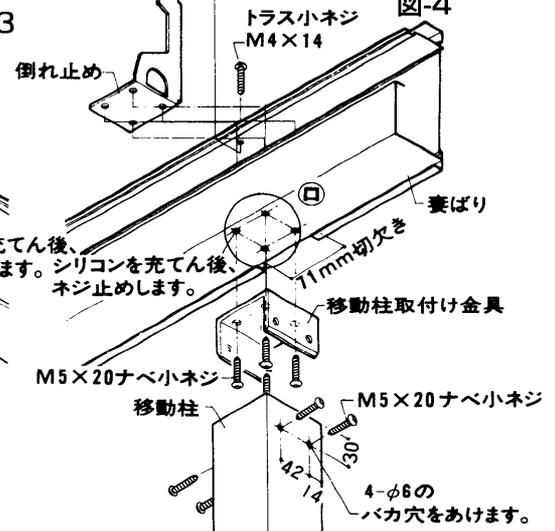
B



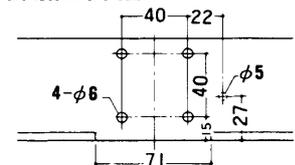
①部加工詳細



60

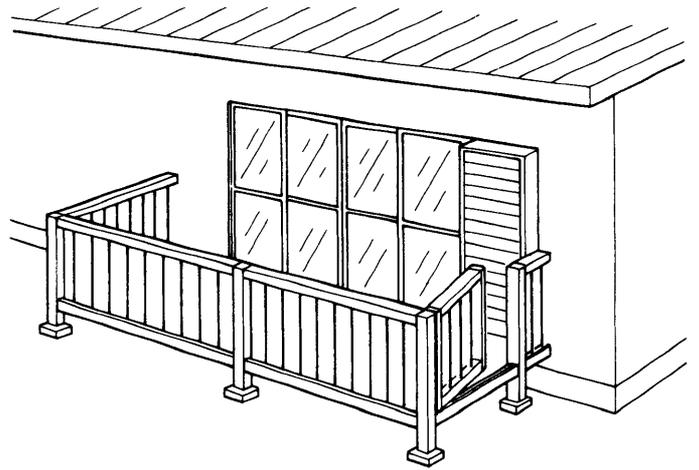


②部加工詳細

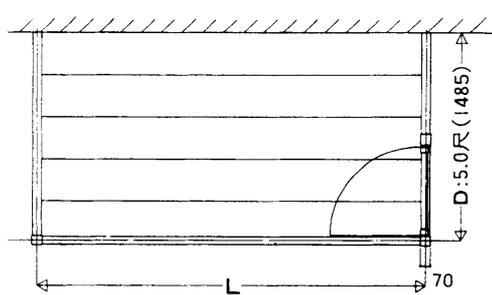


ガーデンタイプ (1階用バルコニー)

- ガーデンタイプは、1階の開口部に取り付けるもので、内開き扉をつけることによって庭への出入りが自由になります。
- 扉は専用部材を使用し、組立てには専用部品セット (x67V32) が用意されています。
- 開き戸部分の妻ばりには、くつづりを取り付けます。その他はスタンダードデッキ部材と共通になります。
- 危険防止のため、けたカバー及び妻ばりカバーを必ずつけてください。
- 屋根は取付け可能です。詳細は屋根・テラス編をご覧ください。
- 扉は奥行左・右どちら側にも取り付けられます。



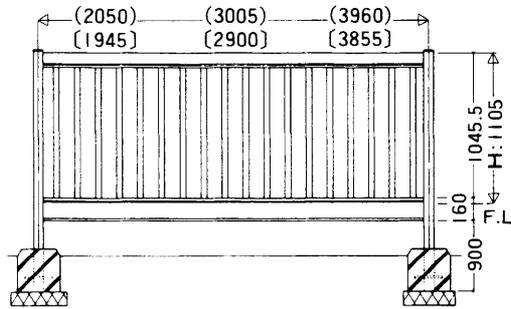
基本納まり図



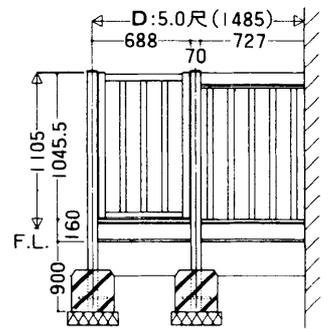
〈正面図〉

()内は関西間寸法を表す。
([]内は九州四国間寸法を表す。

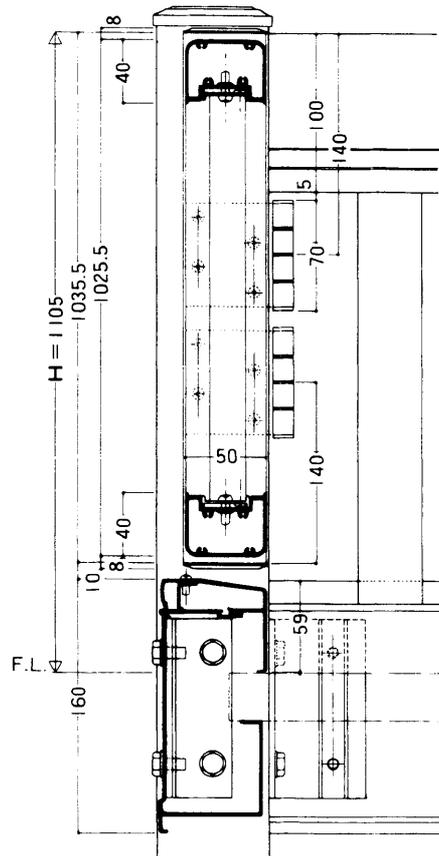
L:1.0間=1850,1.5間=2755,2.0間=3650



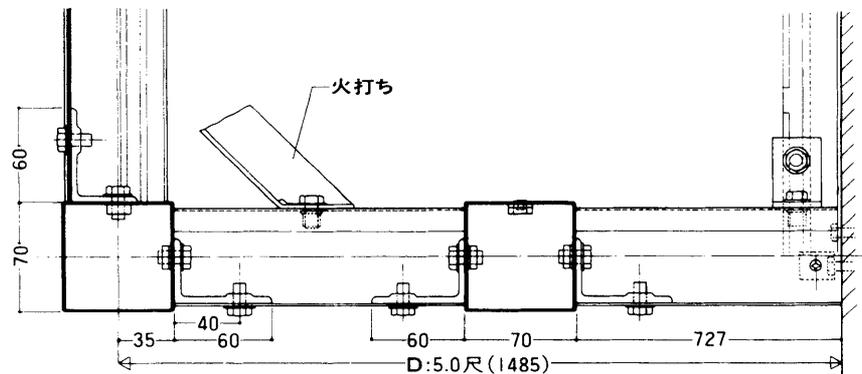
〈側面図〉



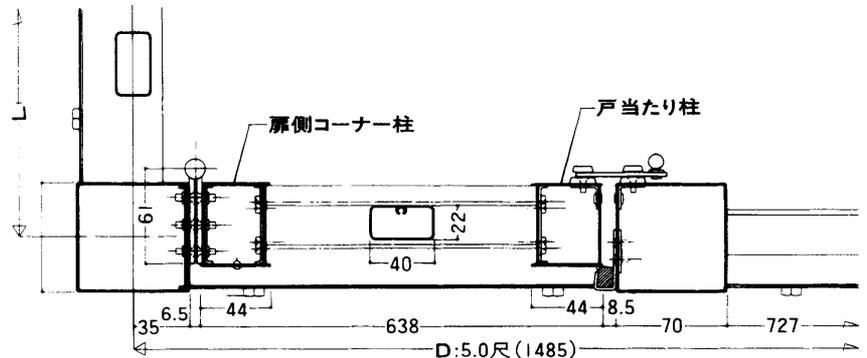
〈横断面〉 (扉部詳細)



〈横断面〉

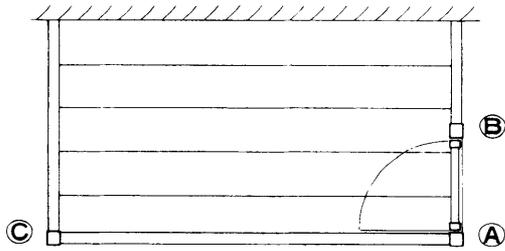


〈横断面〉 (扉部詳細)



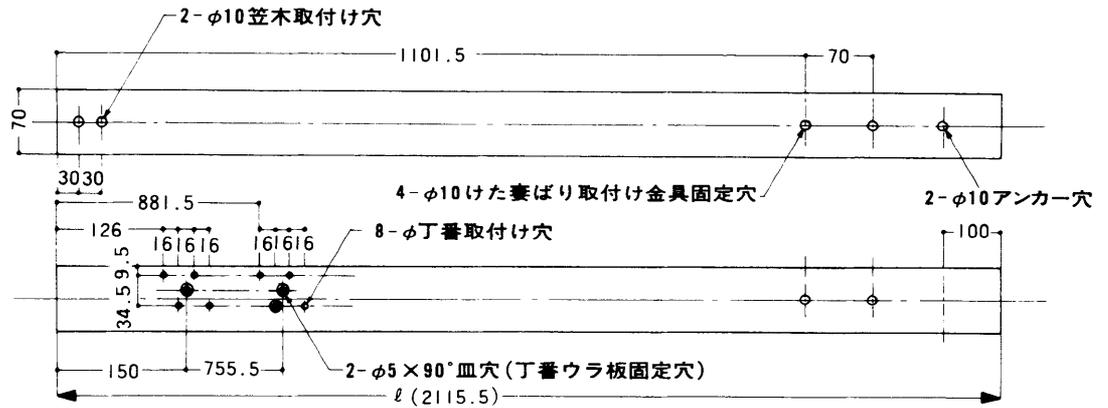
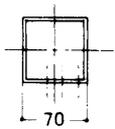
ガーデンタイプ (1階用バルコニー)

■柱の加工図 (左扉用)

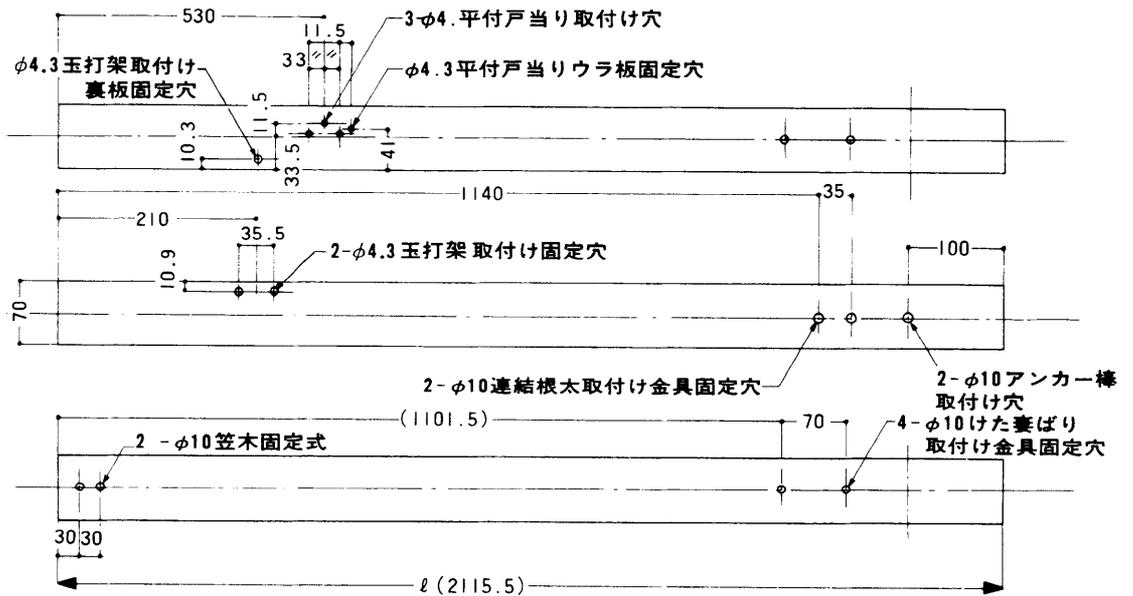
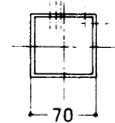


()内はH₁=1105の場合の参考寸法

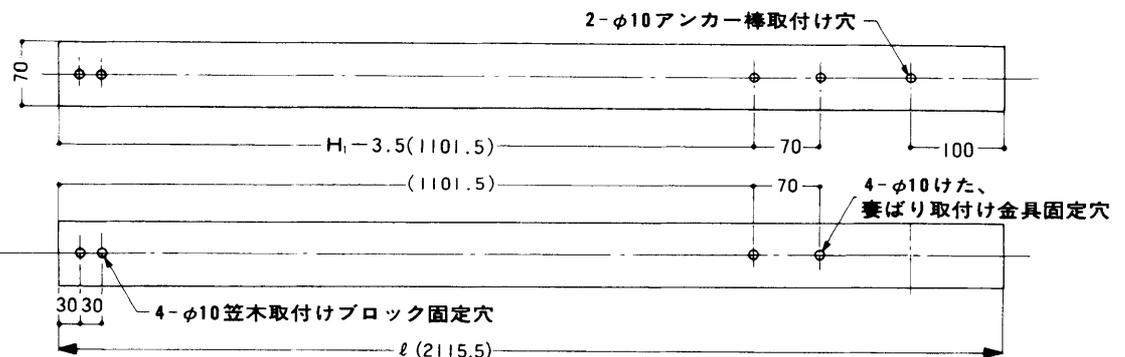
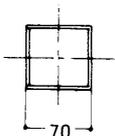
●A柱



●B柱

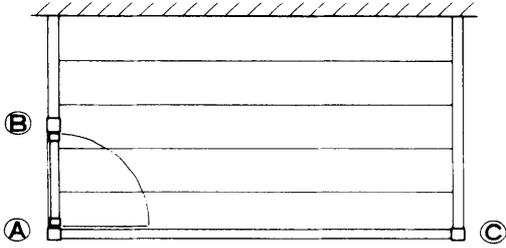


●C柱



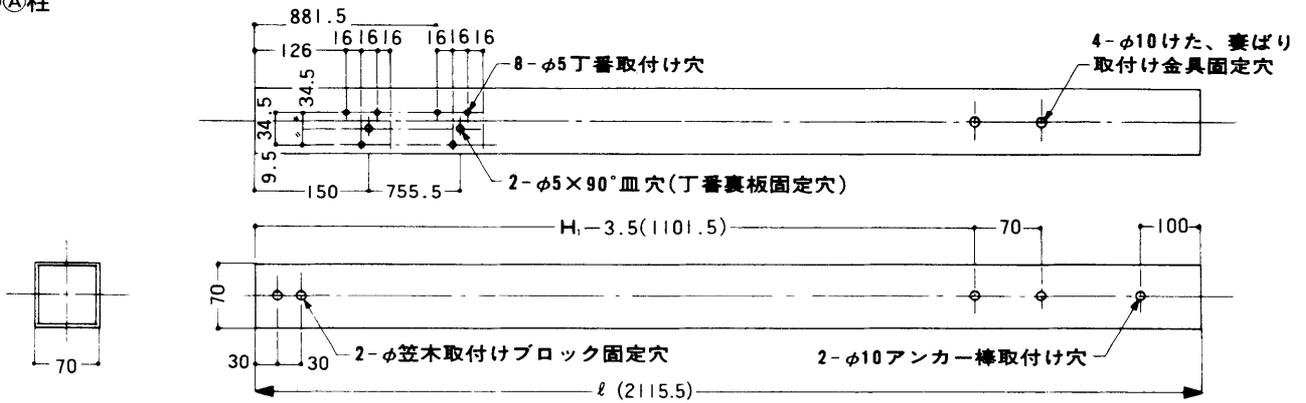
ガーデンタイプ (1階用バルコニー)

■柱の加工図 (右扉用)

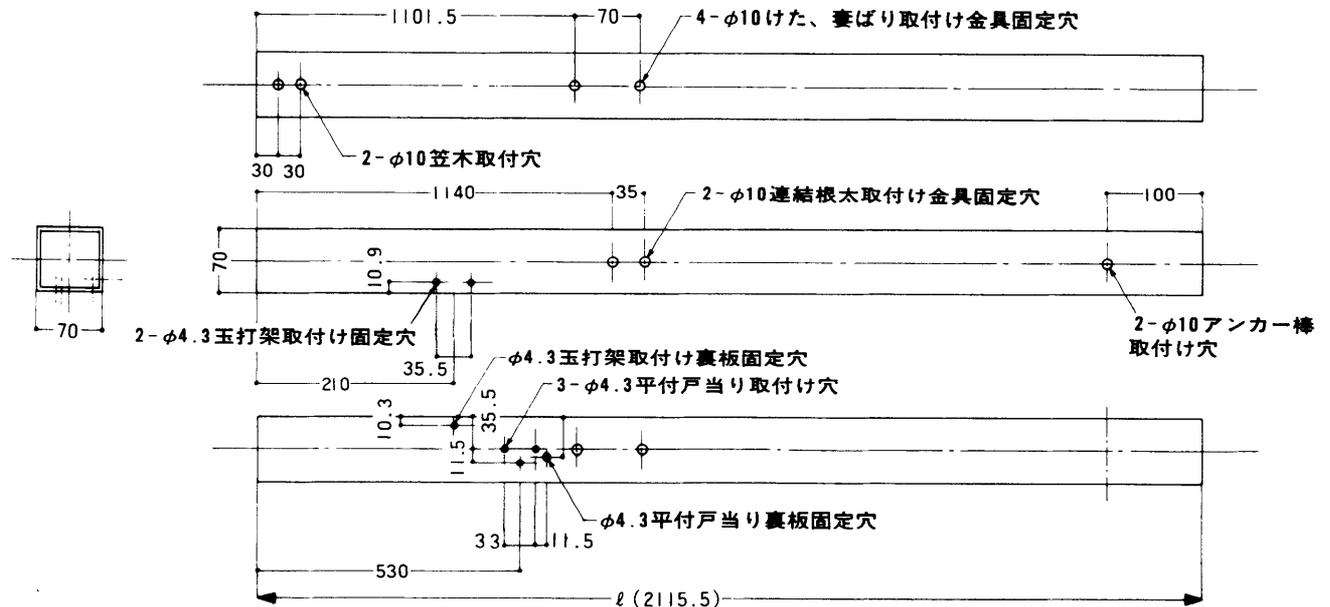


●①柱

()内はH₁=1105の場合の参考寸法



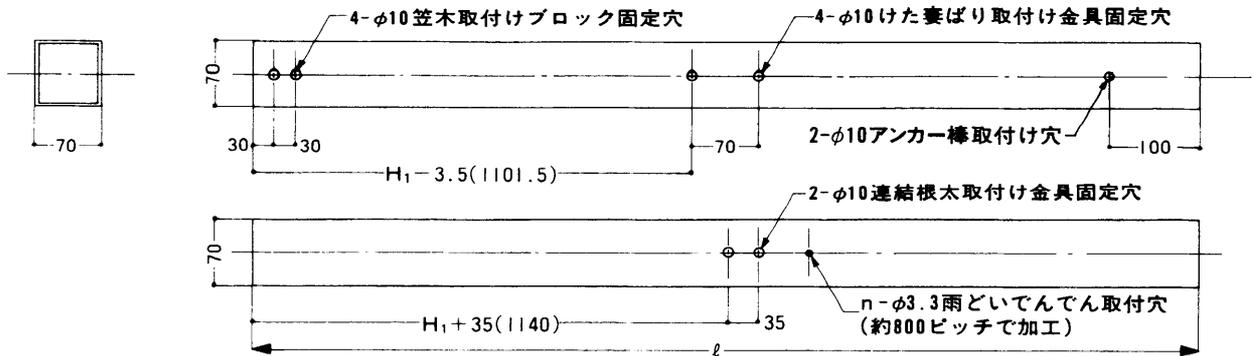
●②柱



ガーデンタイプ (1階用バルコニー)

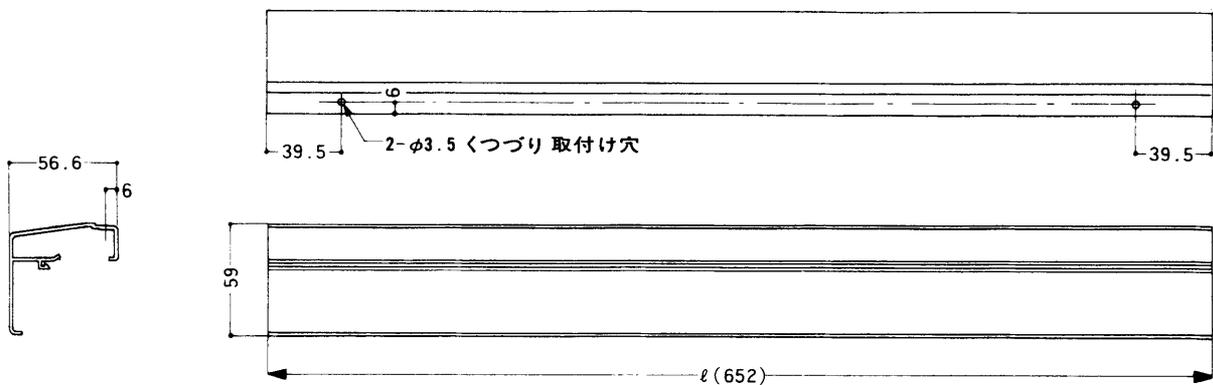
加工図

●主柱 (中間用) X6 (7) T01・02



※ ()内は $H_1 = 1105$ の場合の参考寸法

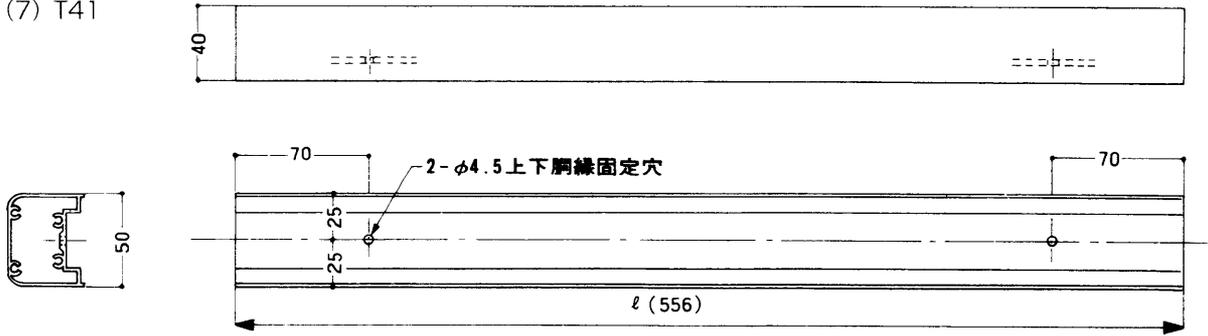
●くつづり X6 (7) T43



ガーデンタイプ (1階用バルコニー)

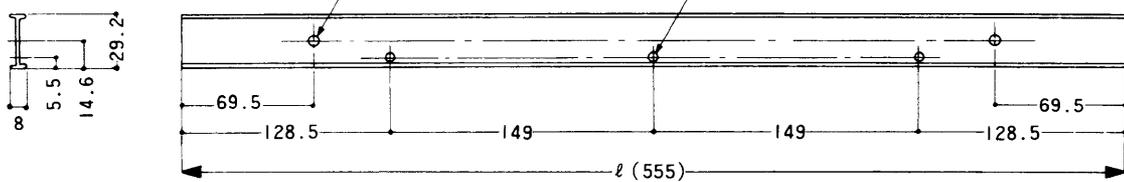
● 笠木

X6 (7) T41



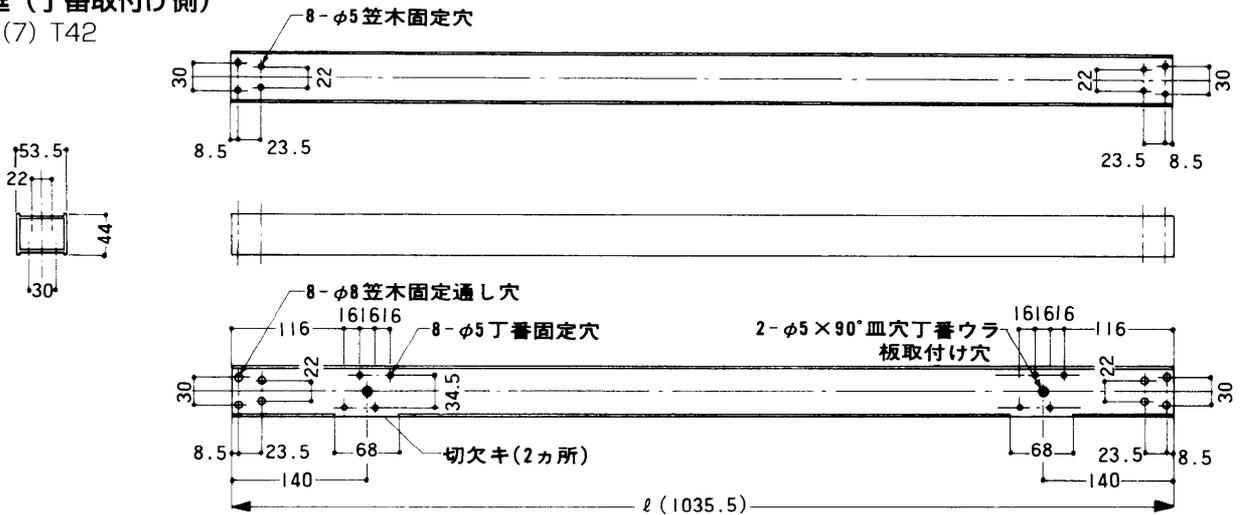
● 上・下胴縁

X6 (7) T41



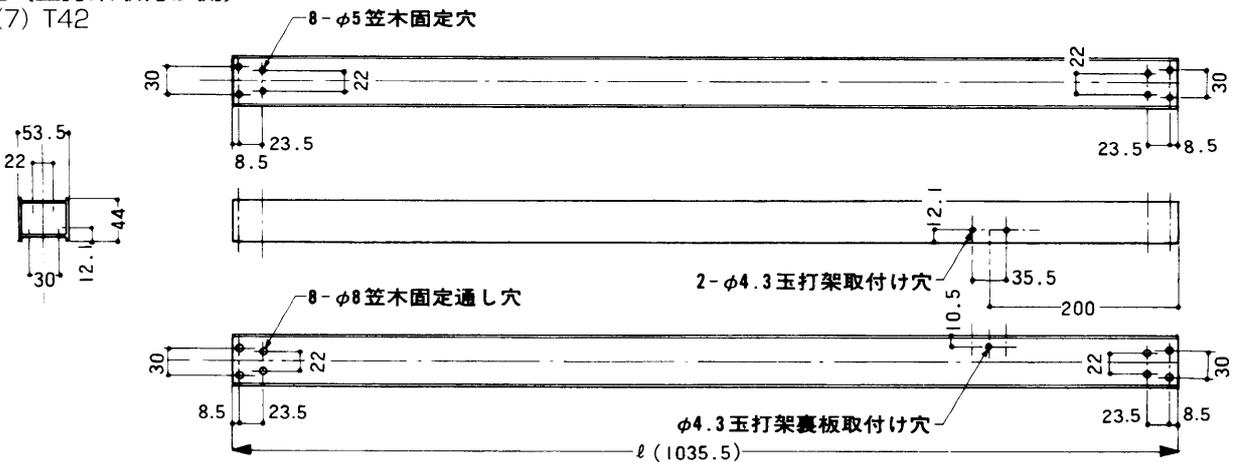
● 縦框 (丁番取付け側)

X6 (7) T42



● 縦框 (玉打架取付け側)

X6 (7) T42



材料使用数早見表(屋根置き式)

■屋根置き式

格子(ストレート40)、D=4.0尺(1185mm)を例として算出。

品名	コード	有効寸法 (mm)	入数	間口別必要数			
				1.5間	2.0間	2.5間	3.0間
				必要本数	必要本数	必要本数	必要本数
け た 3585	X6(7)T03 BLX7T03	3,585	2	-	1	-	-
け た 5390	X6(7)T04 BLX7T04	5,390	2	1	-	1	1
け た 5890	X6(7)T05 BLX7T05	5,890	2	-	-	-	-
妻 ば り	X6(7)T06 BLX7T06	5,275	2	1	1	1	1
笠 木 5920	X6(7)T07 BLX7T07	5,920	2	-	1	-	-
笠 木 5390	X6(7)T08 BLX7T08	5,390	2	1	-	2	2
上 胴 縁 5920	X6(7)T09 BLX7T09	5,920	4	-	1	-	-
上 胴 縁 5380	X6(7)T10 BLX7T10	5,380	4	1	-	2	2
下 胴 縁 5920	X6(7)T11 BLX7T11	5,920	4	-	1	-	-
下 胴 縁 5375	X6(7)T12 BLX7T12	5,375	4	1	-	2	2
格子(ストレート40)	X6(7)T13 BLX7T13	4,905	12	7	8	9	10
格子(ストレート10)	X6(7)T14	4,905	12	15	18	21	24
格子(ストレート22)	X6(7)T15	4,905	12	8	9	10	12
根太(3.0、4.0尺用)※	X6(7)T20 BLX7T20	4,835	8	2	2	2	3
根太(5.0、6.0尺用)※	X6(7)T21 BLX7T21	5,375	4	-	-	-	-
柱 5860	X6(7)T01 BLX7T01	5,860	2	-	-	-	-
柱 5005	X6(7)T02 BLX7T02	5,005	2	1	1	1	1
根 太 が け	X6(7)T18 BLX7T18	5,520	2	1	1	1	1
連結根太(カバー付き)	X6(7)T22 BLX7T22	5,255	2	-	-	1	1
調 整 脚	X6(7)T23 BLX7T23	5,640	2	1	1	1	1
つ か 台 受	X6(7)T24 BLX7T24	5,720	2	1	1	1	1
け た カ バ ー	X6(7)T19 BLX7T19	5,920	4	1	1	2	2
部品セット	つ か 台	X6(7)V06 BLX7V06	8	2	2	3	3
	けた妻ばり取付け裏板	W5V01	4	2	2	2	2
	妻ばり水止めゴム	X5V08	4	2	2	2	2
	妻ばり取付けアングル	X6(7)V05	4	2	2	4	4
	妻ばりフレ止めアングル	X5V07	4	2	2	2	2
	つ か 調 整 ボ ル ト	W5V06	10	2	2	3	3
	つか台すべり止め(ゴム)	W5V07	10	4	4	6	6
	笠木躯体側取付けアングル	X6(7)V13 BLX7V13	4	2	2	2	2
	笠木取付けブロック	X5V04	8	4	4	6	6
	控え棒取付け裏材	X5V10	2	-	-	1	1
	連結根太取付け金具裏板	W5V12	2	-	-	1	1
	連結根太カバー固定金具	X5V09	10	-	-	3	3
	連結根太取付け金具	W5V14	2	-	-	1	1
	主 柱 キ ャ ッ プ	X5(7)V14 BLX7V14	4	2	2	3	3
	けた取付け金具	X5V01	10	4	4	6	6
	火 打 ち 部 品 セ ッ ト	X6(7)V28 BLX7V28	1	1	1	1	1
		X6(7)V29 BLX7V29	1	1	1	1	1
	控え棒取付け裏板	W5V26	5	-	-	1	1
	根太固定あて板セット	X5V27	100	10	14	18	22
	控 え 棒 セ ッ ト	W6V28 BLW7V28	1	-	-	1	1
BRW7V28		1	-	-	1	1	
コ ー キ ン グ 材	X5(7)V43 BLX7V43	5	1	1	1	1	
連結根太水止めゴム	W5V15	2	-	-	1	1	

※印、X6(7)T20、BLX7T20は奥行寸法(D)1185mmまで使用できます。1185mmより大きい場合は、X6(7)T21、BLX7T21をご使用ください。

材料使用数早見表(屋根置き式)

■屋根置き式

格子(ストレート40)、D=4.0尺(1185mm)を例として算出。

品名	コード	有効寸法(mm)	入数(本)	間口別必要数			
				1.5間 必要本数	2.0間 必要本数	2.5間 必要本数	3.0間 必要本数
ネ ジ	M 8 六角 ナ ッ ト	W8(9)V22	200	8	8	12	12
	M 8 六角 袋 ナ ッ ト	W8(9)V23	50	2	2	3	3
	M8スプリングワッシャー	W8(9)V24	200	4	4	6	6
	M 8 平 ワ ッ シ ャ ー	W8(9)V25	200	4	4	6	6
	φ4×14ナベタッピン1種	W8(9)V27	200	36	44	70	78
	φ5×16トラスタッピン1種	X8(9)V02	100	12	12	20	24
	φ5×16ナベタッピン1種	W8(9)V28	200	14	14	19	19
	M 8 × 1 6 六角 ボ ル ト	W8(9)V32	50	2	2	4	14
	M 5 × 1 2 ト ラ ス 小 ネ ジ	X8(9)V03	50	8	8	18	18
	M 8 × 1 6 六角 ボ ル ト (セ ム ス)	X8(9)V01	100	20	20	30	30
	M 6 × 7 0 六角 タ ッ ピ ン ネ ジ	W8(9)V05	50	13	15	18	20
	φ4×20ナベタッピン2種	W8V09	1000	64	76	88	100
	M 8 × 1 6 六角 ボ ル ト 化粧 (セ ム ス)	X8(9)V04	50	8	8	12	12
デ ッキ ボ ード	デ ッ キ ボ ー ド 1 . 0 間 用	WBAZ102	2	-	-	-	-
	デ ッ キ ボ ー ド 1 . 5 間 用	WBAZ112	2	4枚	-	-	8枚
	デ ッ キ ボ ー ド 2 . 0 間 用	WBAZ122	2	-	4枚	-	-
	デ ッ キ ボ ー ト 2 . 5 間 用	WBAZ142	2	-	-	4枚	-

材料使用数早見表(柱建て式)

■柱建て式

格子(ストレート40)、D=4.0尺(1185mm)を例として算出。

品名	コード	有効寸法(mm)	入数	間口別必要数			
				1.5間	2.0間	2.5間	3.0間
				必要本数	必要本数	必要本数	必要本数
け た 3585	X6(7)T03 BLX7T03	3,585	2	—	1	—	—
け た 5390	X6(7)T04 BLX7T04	5,390	2	1	—	1	1
け た 5890	X6(7)T05 BLX7T05	5,890	2	—	—	—	—
妻 ば り	X6(7)T06 BLX7T06	5,275	2	1	1	1	1
笠 木 5920	X6(7)T07 BLX7T07	5,920	2	—	1	—	—
笠 木 5390	X6(7)T08 BLX7T08	5,390	2	1	—	2	2
上 胴 縁 5920	X6(7)T09 BLX7T09	5,920	4	—	1	—	—
上 胴 縁 5380	X6(7)T10 BLX7T10	5,380	4	1	—	2	2
下 胴 縁 5920	X6(7)T11 BLX7T11	5,920	4	—	1	—	—
下 胴 縁 5375	X6(7)T12 BLX7T12	5,375	4	1	—	2	2
格子(ストレート40)	X6(7)T13 BLX7T13	4,905	12	7	8	9	10
格子(ストレート10)	X6(7)T14	4,905	12	15	18	21	24
格子(ストレート22)	X6(7)T15	4,905	12	8	9	10	12
根太(3.0,4.0尺用)※	X6(7)T20 BLX7T20	4,835	8	2	2	2	3
根太(5.0,6.0尺用)※	X6(7)T21 BLX7T21	5,375	4	—	—	—	—
柱 5860	X6(7)T01 BLX7T01	5,860	2	—	—	—	—
柱 5005	X6(7)T02 BLX7T02	5,005	2	2	2	2	2
中間柱 5855	X6(7)T16 BLX7T16	5,855	1	—	—	—	—
中間柱 5015	X6(7)T17 BLX7T17	5,015	1	—	—	1	1
根太がけ	X6(7)T18 BLX7T18	5,520	2	1	1	1	1
連結根太(カバー付き)	X6(7)T22 BLX7T22	5,255	2	—	—	1	1
けたカバー	X6(7)T19 BLX7T19	5,920	4	1	1	2	2
部品及びセット品	けた妻ばり取付け裏板	W5V01	4	2	2	2	2
	妻ばり水止めゴム	X5V08	4	2	2	2	2
	妻ばり取付けアングル	X6(7)V05	4	2	2	4	4
	妻ばりフレ止めアングル	X5V07	4	2	2	2	2
	控え棒取付け裏材	X5V10	2	—	—	1	1
	笠木躯体側取付けアングル	X6(7)V13 BLX7V13	4	2	2	2	2
	笠木取付けブロック	X5V04	8	4	4	6	6
	連結根太カバー固定金具	X5V09	10	—	—	3	3
	連結根太取付け金具裏板	W5V13	2	—	—	1	1
	連結根太取付け金具	W5V14	2	—	—	1	1
	連結根太水止めゴム	W5V15	2	—	—	1	1
	主柱キャップ	X5(7)V14 BLX7V14	4	2	2	2	2
	ベースアンカー	X5V17	4	2	2	3	3
	中間柱キャップ	X6(7)V15 BLX7V15	2	—	—	1	1
	けた取付け金具	X5V01	10	4	4	6	6

※印、X6(7)T20,BLX7T20は奥行寸法(D)1185mmまで使用できます。1185mmより大きい場合は、X6(7)T21,BLX7T21をご使用ください。

材料使用数早見表(柱建て式)

品名	コード	有効寸法 (mm)	入数 (本)	間口別必要数			
				1.5間	2.0間	2.5間	3.0間
				必要本数	必要本数	必要本数	必要本数
部品及びセット品	火打ち部品セット	X6(7)V28 BLX7V28	1	1	1	1	1
		X6(7)V29 BLX7V29	1	1	1	1	1
	根太固定あて板セット	X5(6)V27	100	10	14	18	22
	雨どいアタッチメント	W6(7)V49 BLW7V49	5	2	2	3	3
	雨どいでんでん	YTA□524	4	8	8	12	12
	エールポ	YTA□523	3	2	2	3	3
	直線ジョイナー	YTA□522	2	-	-	-	-
縦どいセット	YTA□519	1	2	2	3	3	
部品	M8六角ナット	W8(9)V22	200	10	10	13	13
	M8スプリングワッシャー	W8(9)V24	200	6	6	7	7
	M8平ワッシャー	W8(9)V25	200	2	2	4	4
	φ4×14ナベタッピン1種	W8(9)V27	200	28	36	58	66
	φ5×16トラスタッピン1種	X8(9)V02	100	12	12	20	24
	φ5×16ナベタッピン1種	W8(9)V28	200	4	4	4	4
	φ4×14トラスタッピン1種	W8(9)V29	100	-	-	16	16
	M8×16六角ボルト	W8(9)V32	50	2	2	2	2
	M8×90六角ボルト	W8V35	20	2	2	3	3
	M8×16六角ボルト(セムス)	X8(9)V01	100	20	20	30	30
	φ6×70六角タッピンネジ	W8(9)V05	50	13	15	18	20
	φ4×20ナベタッピン2種	W8V09	1000	80	94	108	124
	M5×12トラス小ネジ	X8(9)V03	50	8	8	18	18
	コーキング材	X5(7)V43 BLX7V43	5	1	1	1	1
M8×16六角化粧ボルト(セムス)	X8(9)V04	50	8	8	12	12	
デッキボード	デッキボード1.0間用	WBAZ102	2	-	-	-	-
	デッキボード1.5間用	WBAZ112	2	4枚	-	-	8枚
	デッキボード2.0間用	WBAZ122	2	-	4枚	-	-
	デッキボード2.5間用	WBAZ142	2	-	-	4枚	-